

309

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

始



參謀本部編纂



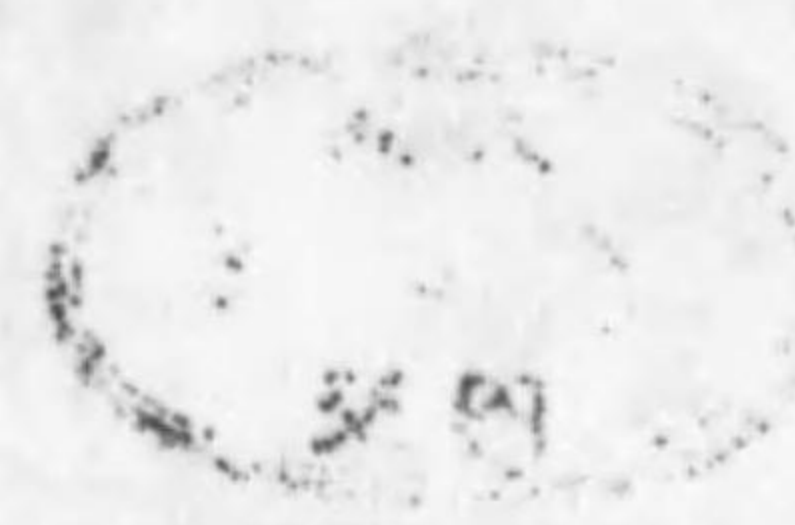
千八百七十七年
千八百七十八年

露土戰史

第二卷

大正
4. 3. 6
内交

東京偕行社發行





第十六號堡壘 第十四號堡壘 第十三號堡壘 第八號堡壘ノ斜面
Plevna 東正面ノ土軍陣地
(Grivica村南方高地上ヨリ望ム)



第十六號堡壘 第十一號堡壘
第十二號堡壘 第十四號堡壘
Plevna 南正面ノ土軍陣地
(Radiševó北方砲兵山ヨリ望ム)

千八百七十七年 露土戰史第二卷目次

第十二章

七月二十一日ヨリ 同三十一日ニ至ル 作戰

一 一般ノ情況

七月二十日露軍位置ノ概要(一)七月二十一日軍司令官ノ知り得タル敵情(二) ブレンナ 第一會戰失敗ノ報告(三) 先進兵團 ウシツカ 峠占領ノ報告(三)

七月二十一日軍司令官ノ情況判斷及部署(四) 「ルスチユツク」兵團ト「オスマンバザール」部隊トノ中間ニ一部隊ヲ派遣ス(八) ルスタツク 要塞攻圍ノ延期(八) 七月二十五日ノ情報竝ニ軍司令官第四軍團ノ先頭部隊ヲ更ニ西部兵團ニ増援ス(九) 「オスマンバザール」部隊ヲ第八軍團長ノ指揮ニ屬ス

(一〇) 七月下旬土軍ノ作戰方針及メヘメツトアリーバシアトスライマンバシアトノ意見ノ相違(一〇) 七月二十六日ノ情報、軍司令官ノ樂觀(一三) 七月二十六日先進兵團ヲ巴爾幹山南ニ出ス(一三) 七月二十七日 ロフヂヤ 敵情

(一四) 先進兵團ノ南進中止(一四) 先進兵團ノ南進(一五) 七月下旬各兵團行動概要(一五) 露國大本營ノ作戰軍増加計畫(一六) 步兵第二第三師團狙擊步兵第三旅團ノ作戰軍増加(一六) 露塞兩國軍ノ關係(一七) 露羅兩國軍ノ關係(二〇) 七月三十一日露軍ノ位置(二二) 七月三十一日羅馬尼亞軍ノ位置(二二) 七月三十一日

目

次

十一日土軍ノ位置(二三)

二 先進兵團ノ行動

其一 二十九日迄ノ情況

シムカ 嶺占領後先進兵團司令官ノ決心(二七) 先進兵團二十二日ノ移動(二八) 先進兵團司令官再度ノ意見具申(二八) 二十二日頃巴爾幹山南土軍ノ情況(二九) 先進兵團鐵道破壞ノ企圖(三〇) 二十五日混成騎兵旅團長ロイヒテンベルヒ Staruzhgoraノ諸隊ヲ指揮ス(三四) 二十六日乃至二十八日中將グルコノ得タル敵情(三八) 二十八日先進兵團ノ配置(三〇) 先進兵團司令官 NOVUZKOPETIヲ攻撃セントス(四二) 二十五日ヨリ二十九日ニ至ル「スライマン」軍ノ情況(四三) 二十九日 Karabnar 附近ノ戰鬪(四五)

其二 三十日ノ情況

右縱隊ノ行動(五一) NOVUZKOPETI 附近ノ戰鬪(五六)

其三 三十一日ノ情況

附近ノ戰鬪(四四) Staruzhgora 附近ノ戰鬪(七二)

三 東方面ノ作戰

其一 「オスマンバザール」部隊ノ行動

七月二十一日「オスマンバザール」部隊ノ位置(八四) 「オスマンバザール」部隊ノ一部増援ノ爲メ「Alyona」方面ニ向フ(八六) 歩兵第十一師團ノ約半部(八七) ニ到ル(九〇) 「オスマンバザール」部隊第八軍團長ノ隷下ニ入ル(九二) 第八軍團長敵ヲ「Zeremetia」ノ陣地ニ拒止セントス(九三) 七月末「オスマンバザール」部隊ノ概況(九六)

其二 「ルスチュック」兵團ノ行動

七月二十一日「ルスチュック」兵團ノ位置(九六) 七月二十一日「Strelkovo」附近ノ戰鬪(一〇〇) 騎兵團ノ企圖(一〇三) 「Ternitsa」附近ノ戰鬪(一〇五) 七月二十一日ヨリ二十五日頃迄ノ四角要塞内土軍ノ情況(一〇八) 「Krasnitsa」要塞攻圍計畫(一一〇) 「Krasnitsa」要塞攻圍ノ中止(一二五) 七月二十五日「ルスチュック」兵團ノ位置(一二六) 七月二十五日軍通報(一二〇) 七月二十六日兵團司令官ノ部署(一二二) 「Krasnitsa」附近ノ戰鬪(一二四) 七月二十七日兵團司令官前日ノ部署ヲ變更ス(一二三) 歩兵第一師團主力ノ南進(一二四) 第十三軍團主力ノ南進(一二六) 七月三十日第十三軍團一部ノ移動(一二九) 七月末「ルスチュック」兵團ノ位置(一三〇)

其三 下流「ドナウ」兵團及「アッレル」支隊ノ行動

七月二十一日下流「ドナウ」兵團ノ位置(一四二) 騎兵部隊ノ敵情偵察

(二四三)兵團司令官ノ敵情判斷(二四四) Constantia 附近守備兵ノ増加及敵艦來襲(二四七) Cernavoda 附近河岸砲臺ノ構築(二五〇) 少將アレクサンドロフ部隊ノ情況(二五〇) 下流 Donau 流域守備兵ノ交代(二五三) アッレル支隊ノ行動(二五三)

四 西方面ノ作戰

一五五

其一 Plevna 第一會戰前ノ情況

一五五

七月二十一日西部兵團ノ情況(二五五) 歩兵第三十師團半部ノ増加(二五五) 第十一軍團一部ノ増加(二五八) 歩兵第三十師團殘餘ノ増加(二五九) 軍事會議(二六二) Nikopoli ノ守備(二六四) 七月二十六日増加團隊ノ行動(二六四) 七月二十八日 Lovcha ニ對スル少將スコベレフ部隊ノ偵察(二六五) 河左岸ノ偵察(二六七) 七月二十八日西部兵團ノ行動(二六六) 七月二十九日西部兵團ノ位置(二七一)

其二 Plevna 第一會戰

一七五

兩軍ノ部署

一七五

附近地形ノ概要(二七五) Plevna 附近土軍防禦陣地(二七七) 土軍防禦配備(二七九) 七月三十日西部兵團ノ攻撃命令(二八三)

緒戰(午後二時迄)ノ情況

一八八

中將ウエルヤミノフ部隊ノ情況(二八八) 中將シアコウスコエ部隊ノ情況(二九二) 少將スコベレフ及少將ラシユカリエフ部隊ノ情況(三〇三)

戰鬪實行及終局

二〇五

午後三時ヨリ午後四時ニ至ル中將ウエルヤミノフ部隊ノ情況(三〇五) 午後三時ヨリ午後四時頃ニ至ル中將シアコウスコエ部隊ノ情況(三〇九) 中將ウエルヤミノフ部隊午後四時以後六時頃迄ノ情況(三一) 午後四時以後ニ於ケル中將シアコウスコエ部隊ノ情況(三四) シアコウスコエ部隊ノ退却(三三) 午後六時以後ウエルヤミノフ部隊方面ノ情況(步兵第百二十聯隊ノ戰鬪加入(三三) 午後三時以後少將スコベレフ部隊ノ情況(三三) ラシユカリエフ部隊ノ情況(三三))

露軍ノ退却

二二三

西部兵團司令官ノ退却ニ關スル決心及部署(三三) 收容隊ノ陣地占領(三三) 中將ウエルヤミノフ部隊ノ退却(三三) 中將シアコウスコエ部隊ノ退却(三三) 騎兵第十一師團第一旅團ノ退却(三四) 少將ラシユカリエフ部隊ノ退却(三三) 少將スコベレフ部隊ノ退却(三三) 七月三十一日西部兵團ノ位置(三三) 會戰ノ成績(三四)

第十三章

八月一日ヨリ
同十三日ニ至ル 作戰

二四三

一 一般ノ情況

二四三

第二會戰失敗ノ報告(二四三) 第二會戰直後軍司令官ノ決心及
處置(二四三) 御前會議(二四七) 八月一日軍司令官ノ決心(二四八) 再ヒ御前會議(二四九)
陸軍大臣ノ覺書(二五〇) 選拔兵第二第三師團ノ招致(二五五) 狙撃歩兵第三旅團
歩兵第二師團等ノ判著(二五五) 八月中旬露軍軍隊區分及一般配置(二五五) 八月
中旬ノ外交關係(二五七) 露羅兩國軍ノ關係及羅馬尼亞軍ノ情況(二五七) 八月一日
頃ヨリ中旬ニ至ル土軍ノ情況(二六二)

二 西部兵團ノ行動

二六九

八月一日西部兵團ノ位置(二六九) 西部兵團編組變更(二七〇) 第十一軍團軍ノ豫
備ト爲ル(二七二) 八月七日西部兵團ノ位置(二七三) 少將スコベレフ部隊ノ行動
(二七四) 八月七日ロフチニ對スル少將スコベレフノ威力偵察(二七六) 西部兵團主
力ノ左方移動(二八三) 八月十三日頃西部兵團ノ位置(二八三) 八月十三日羅馬尼
第四師團ノ位置(二八五)

三 南方面ノ作戰

二八六

其一

自七月三十一日 先進兵團ノ
至八月四日 先進兵團ノ Sipka, Hankioj へノ退却

二八七

七月三十一日先進兵團ノ位置(二八七) 八月一日ノ情況(二八九) 八月二日
ノ情況(二九〇) 八月三日ノ情況(二九六) 八月四日先進兵團ノ位置(二九七)

其二

南部兵團ノ情況

二九九

一般ノ情況

二九九

七月三十一日南方面諸隊ノ位置(二九七) 七月三十一日ノ軍命令(三〇三)
南部兵團ノ編成(三〇五) 八月一日ノ軍命令(三〇六) 八月一日中將ラデツ
キーノ情況判斷竝ニ處置(三〇七) 八月二日中將ラデツキーノ部署
(三〇九) 八月四日中將ラデツキー中將グルコノ意見具申ヲ却ク(三一二)
八月七日中將ラデツキー少將ストリエトフノ意見具申ヲ却ク
(三一三) 八月一日ノ中將ラデツキーノ決心變更(三一五)

先進兵團ノ解散及 Sipka, Hankioj 附近守備隊ノ情況

三二六

八月四日迄ニ中將グルコノ得タル命令(三二六) 中將グルコ Hankioj 峠
ノ出口ヲ守備セントシ増援ヲ請求ス(三二八) 八月五日ニ於ケル敵情
(三二九) 八月六日再ヒ増援ヲ請求ス(三三〇) 意見具申ノ不採用(三三〇) 先進
兵團主力ノ 歸還(三三二) 先進兵團ノ解散(三三三) 八月十一日以降
Hankioj 守備(三三三) 八月一日ヨリ十一日頃迄ノスライマン軍ノ情
況(三三三) Sipka 峠ノ守備(三三五)

「セルエビ」支隊ノ情況……………三二六

「セルエビ」支隊ノ編組及任務(三二六) 少將スコベレフノ部隊一時中將
ミルスキーニ屬ス(三二八)

「エレナ」支隊ノ情況……………三二八

七月下旬「エレナ」支隊ノ概況(三二八) 少將ボレエシア「エレナ」支隊ヲ指
揮ス(三二九)

「オスマンバザール」部隊ノ情況……………三二九

七月下旬「オスマンバザール」部隊ノ概況(三二九) 八月一日少將エルン
ロート部隊ノ移動(三三〇) 「エレナ」支隊「オスマンバザール」部隊長ノ隸
下ヲ脱ス(三三一) 八月十三日南部兵團ノ軍隊區分及配置(三三三) 八月
中旬ニ於ケル「スライマン」軍ノ情況(三三六)

四 東方面ノ作戰……………三三八

其一「ルスチユック」兵團ノ行動……………三三八

八月一日「ルスチユック」兵團ノ位置(三三八) 八月七日「ルスチユック」兵團ノ
位置(三四四) 八月中旬四角要塞西正面ニ在ル土軍ノ情況(三五〇)

其二 下流「ドナウ」兵團及「アッレル」支隊ノ行動……………三五二

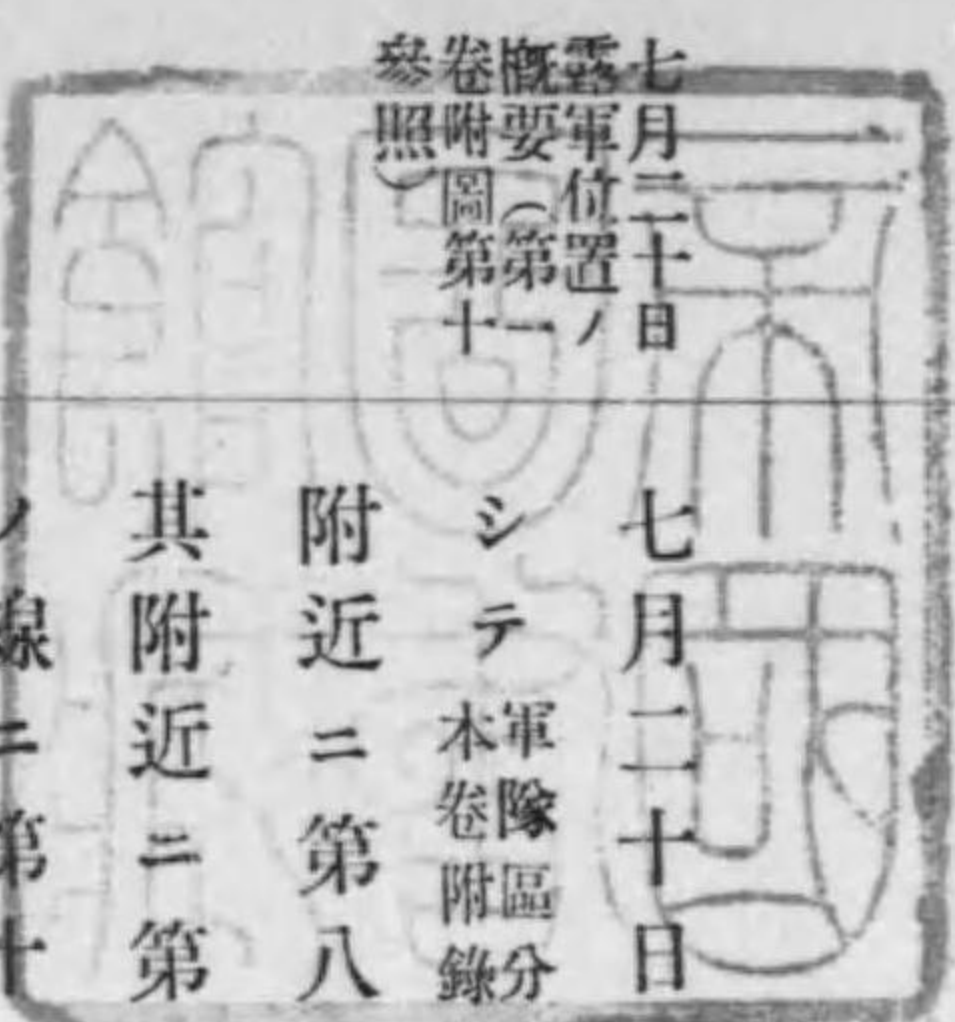
八月初メニ於ケル兵團司令官ノ決心(三五二) 八月十三日下流「ドナウ」
兵團ノ位置(三五二) 中將ウエレウキン師團ノ情況(三五三) 少將アレクサ
ンドロフ支隊ノ情況(三五四) 「アッレル」支隊ノ情況(三五四) 八月中旬四角
要塞東北部ニ在ル土軍ノ情況(三五四)

千八百七十七年 露土戰史第二卷

第十二章

七月二十一日ヨリ 同三十一日ニ至ル 作戰

一 一般ノ情況



七月二十日
露軍位置ノ
概要(第一
卷附圖第十
参照)

七月二十日 Donau 河南ニ在ル露軍ハ既記ノ如ク先進兵團ノ外約五軍團ニシテ本卷附録第一關シテハ南正面ニハ Kazanlik 附近ニ先進兵團アリ Gabrovo, Trunovo 附近ニ第八軍團アリ東正面ニハ Osmanbazar 附近ノ土軍ニ對シ Dzulunci 及其附近ニ第十一軍團アリ Razgrad, Kuscuk 附近ノ敵ニ對シテハ Kacelevo, Pirgoz ノ線ニ第十二第十三軍團アリ西正面ニハ Plevna ノ土軍ニ對シテ Brosjanica 附近ニ西部兵團第九軍團アリ四角要塞ノ北正面ニ對シテ Giurgevo, Olenita 附近ニハ「アッレル」支隊アリ Cernaboda, Kustendge ノ線ニハ下流「ドナウ」兵團アリ又軍ニ追及中ノ第四軍團ハ其先頭部隊タル歩兵第三十師團ノ主力ヲ以

テ *Систоп* 附近ニ達セリ而シテ是時ニ當リ *Систоп* 附近ニハ今尙一條ノ橋梁ヲ

有スルノミニシテ軍隊ノ不便素ヨリ大ナリ 附近第二橋梁上流橋架設用材料ハ

要塞前ヲ過キ *Donau* 河ヲ下リ十八日 *Zimnicea* ニ到着シ其架設ハ八月九日ニ於テ完成セリ

是時ニ當リテ軍司令官ノ知り得タル敵情ハ左ノ如シ

七月二十一日
軍司令官
ノ知り得
タル敵情

Plevna ニハ土軍ノ精銳ヲ盡シタルオスマンパシアノ軍在リ 其兵力ハ二萬

又東方四角要塞特ニ *Kanogrud* ヨリ敵兵來襲ノ模様アリ又南方ニ於テハ

スライマンパシアノ軍ハモンテネグロヨリ布爾牙利ノ戦地ニ招致セラ

レントシ スライマン軍ノ前進ニ關スル情報露軍司令官ニ達シタルハ七月十四日トス 其兵力ハ約歩兵四十大隊(三萬)ト

算セラレ次テ同月二十日ニ至リ同軍ハ海路ヲ經テ *Marica* 河口ノ *Enos* 多

島海沿岸ニ輸送セラレ其第一梯隊ハ同月下旬 *Adrianopol* ニ達セントセリ

實際スライマンパシアハ其二三大隊ヲ以

テ七月二十一日既ニ *Adrianopol* ニ達セリ

七月二十一日午前十時軍司令官大將ニコラエウイチ親王ハ西部兵團司令官中將クリエデネルヨリ *Plevna* 第一會戰ノ失敗ニ關スル電報ヲ受領ス即

Plevna 第一
會戰失敗
ノ報告

チ左ノ如シ 軍司令部ノ作戰日誌ニ據レハ *Plevna* 敗戰ノ報告ヲ得シハ二十日午後七時トアリ又

時ト記シアリト云フ當時西部兵團司令官軍司令部間ニハ直接電線ノ連絡無カリシヲ以テ *Turnu-Magde*

urele-Zimnicea-Sisov-Pavel-Bela-Trnovo 線ヲ利用セリ此電線ハ七月十一日ニ架設ヲ了セリ詳言スレ

ハ *Turnu-Magdele-Zimnicea* 線ハ六月二十八日頃ニ *Zimnicea-Sisov* 水底線ハ六月三十日ニ *Sisov-Pavel-*

Bela 線ハ七月七日ニ *Bela-Trnovo* 線ハ七月十一日迄ニ架設セラレタリ而シテ *Pavel-Bigarene* 線ハ八月

初旬ニ至リテ架設セララルニ至レ

リ故ニ二十日トアルハ誤リナラン

歩兵第五師團長中將シルデルシユルデネルハ惡戰苦闘ノ後歩兵第二十

聯隊ノ掩護ニ依リ *Plevna* ヨリ *Brosjanica* ニ向ヒ退却シ歩兵第十九聯隊及

高加士哥薩克騎兵旅團ハ *Bigarene* ニ退却ス損害ハ未タ詳ナラサルモ頗ル

大ナルカ如ク歩兵第一旅團ハ死傷最モ甚シ歩騎兵ノ増援ヲ要スルコト

急ナリ

是ヨリ先軍司令官ハ先進兵團司令官中將グルコヨリ左ノ要旨ノ報告ヲ受

領セリ

十九日先進兵團ハ *Пирга* 峠ヲ占領シ第一期ノ作戰ヲ終了セリ故ニ一部

先進兵團
ノ報告
ノ報告

ヲ Kazanlik ニ殘置シ主力ヲ以テ Adrianopol ニ進入セントス之カ爲「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊、騎兵第十三師團ノ一旅團及砲兵一中隊ノ増援ヲ待ツ

又軍司令官ハ是ヨリ先^{不詳}大本營ヨリ第四第十一軍團ノ全部^{ドナウ}河右岸ニ集合スル迄ハ前進ヲ見合ハスヘシトノ訓令ヲ受ケ居レリ

七月二十一日
軍司令官
ノ情況判斷
及部署

軍司令官ハ諸情況ヲ判斷シ先進兵團ヲシテ巴爾幹山ヲ守備セシメ「ルス」チユック兵團ヲシテ Kuzulic 要塞ヲ又西部兵團ニ第四第十一軍團ノ一部ヲ増加シテ Plevna ヲ攻略シ然ル後首都ニ向フ作戰ヲ繼續セントシ此間若シ敵兵^{オスマン} Osman bazar, Lovca 方面ヨリ前進セハ第八軍團ノ一部ヲシテ之ニ對抗セシメント欲シ同日左ノ部署ヲ爲セリ

一、第四軍團ノ先頭部隊タル歩兵第三十師團ノ第一旅團、砲兵第三十旅團ノ第一第五第六中隊^{此部隊ハ七月二十一日}ヲ西部兵團ニ増加シ同軍團殘餘ノ部隊ヲシテ渡河後一時^{ドナウ}河ヲ渡過セリ^{カレベツ} Carevec (Zistov) 南方約一里附近ニ集合セシ

ム

二、第十一軍團ノ内歩兵第三十二師團ノ第一旅團、砲兵第三十二旅團第二第五中隊欠及騎兵第十一師團(第二旅團欠)^{此等ノ諸隊ハ Plevna, Tinnovo 東北方}ヲ

以テ西部兵團ヲ増加シ軍團ノ殘餘(第十一師團^{カノボ} Kanoovo 附近ニ在リ)ヲシテ依然現在地附近ニ在リテ騎兵第十三師團^{主カヲ以テ Dzuljuni 一部ヲ以テ} Blana, Behtovo, Cajir 等ニ在リ

三、第一第二項ノ増加軍隊ハ第十一軍團長中將シ、コウスコエノ指揮ニ屬シ七月二十五日迄ニ^{ツルスキトレスチニク} Turski-Trostenik ノ東南方約一里ニ在ル^{アルガリスキ} Bigarski-karagac 附近ニ集合セシム

四、「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊長中佐バクラノフノ指揮スル四中隊半^{「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊第三第六中隊、同第三十聯隊ノ二中隊及「テレク」哥薩克騎兵聯隊ノ半中隊並ニ騎兵第十三師團附屬「ドン」哥薩克騎砲兵第六中隊ノ二門}高加士哥薩克騎兵旅團ニ増加シ同時ニ少將^{第十三軍團} スマベレフ^{司令部附}ヲ以テ此等騎兵ノ總指揮官ニ任シ^{プレナ} Plevna-Lovca-Seljvi (Sevljevo)-Irnovo 道ヲ掩護シ且^{プレ} Plevna

六、Vina ノ敵情ヲ偵察セシメ特ニ勉メテ第九軍團及第十一軍團ノ部隊ト
共同シテ動作セシム 同時在 Seviljevo 附近中佐バクラノフニハ Plevna 方向ニ前進スヘキコトヲ命セシカ如シ

五、工兵第三旅團長將官リヒテルノ令下ニ在リテ直接 DIZOV ノ橋梁掩護ニ
任セル第九軍團ノ歩兵第百二十四聯隊及砲兵第五旅團ノ一中隊ハ依
然 SISOV 附近ニ位置セシム

六、Gabrovo ニ在ル歩兵第三十五聯隊及砲兵第九旅團第三中隊 此砲兵中隊ハ當時 Trnovo
ニ在リシヤ或ハ Gabrovo 迄進メラレ在リシヤ不明ナリ 方向ヨリ敵ノ攻撃ヲ受クル場合ヲ顧慮
シ Seljvi (Seviljevo) ニ赴カシメ又曩ニ「ガブロボ」支隊増援ノ爲 Gabrovo ニ

派遣セシ第十四師團ノ歩兵第五十四聯隊及砲兵第十四旅團第四中隊
ヲ Osmanbazar 方向ヨリ土軍ノ攻撃ヲ受クル場合ヲ顧慮シ Trnovo ニ歸
還セシム 歩兵第五十四聯隊及砲兵第十四旅團第四中隊ハ七月十四日「ガブロボ」支隊ヲ増援センカ爲ニ Trnovo 出發十九日 Gabrovo ニ著シ更ニ此部署ニ依リ二十一日出發ニ歸著ス

七、先進兵團ノ兵力ヲ増加スヘキ中將グルコノ意見具申ヲ却下シ只騎兵

ヲ以テ Tundza 河谷及其以南ニ進出シテ敵情ヲ搜索シ且敵ヲ擾亂シ鐵
道及電線ノ破壊ニ勉メシメ其歩兵ヲシテ依然 Piska 附近ヲ守備セシム
八、ルスチニツク「兵團」ニ Ruzhick 要塞ノ攻略ヲ命ス即チ七月二十一日同兵團
ニ下セル軍訓令中ニ曰ク「攻城砲ノ招致ヲ迅速ニシ一舉ニ Ruscuk 要塞
ヲ攻略シ特ニ Zumbra ノ敵軍ニ注意スヘシ若シ此敵ニシテ Ruscuk ニ向
ハハ歩兵第十一師團ヲシテ其側面ヲ攻撃セシメン」ト

右軍司令官ノ部署ニ基ツキ二十二日第十一軍團中歩兵第三十二師團第一
旅團砲兵第三十二旅團第二第五中隊欠騎兵第十一師團第二旅團欠ハ Draz
ganovo 若シクハ Cajir ヨリ歩兵第三十師團第一旅團砲兵第三十旅團ノ三中
隊ハ Carevec ヨリ共ニ Plevna ノ東方ニ向ヘリ其結果オスマンバザール部隊
ト「ルスチニツク」兵團トノ中間ニ大間隙ヲ生シ四角要塞ノ敵兵 Zumbra, Razgrad
ヨリ Lom, Cerkovina, Cajir ヲ經テ Bela, Trnovo ニ前進スルヲ虞レシヲ以テ軍司
令官ハ第十一軍團ノ部隊 Plevna ヨリ歸還スル迄若シクハ第四軍團ノ到着

「ルスチユック」兵團ト「オスマン」部隊トノ中間ニ一部隊ヲ派遣ス

スル迄獨立部隊ヲ以テ該方面ヲ守備セシメントシ二十三日「オスマン」部隊長少將ラーデンニ步兵一旅團要スレハ之ニ騎兵一聯隊ヲ加ヘテ「Cahir」ニ出シ同地ヲ占領スヘキヲ命ス 步兵第十一師團第二旅團其任ニ膺リ二十四日 Dzialunoi 附近出發二十五日 Cahirニ著ス
同日軍司令官ハ「ルスチユック」兵團司令官ヨリ二十二日附報告ヲ受領ス曰ク「兵團ハ目下 Ruscukノ攻圍ニ全力ヲ傾注シ Sumla 方向ニ對スル警戒ノ爲歩騎兵各一旅團ヨリ成ル一隊ヲ Pisanic ルスチユック Ruscuk-Kazernad 街道上ニ在リ 大ニ配置シ在ルモ Ruscukノ攻圍ハ地形上南方ヨリ北方ニ向フヲ要スルヲ以テ Sumlaノ敵ニ對シ右側ヲ完全ニ掩護セント欲セハ第十一軍團竝ニ騎兵第十一第十三師團ヲ「ルスチユック」兵團ニ増加スルコト極メテ必要ナリト」
軍司令官ハ右ノ報告ニ接セシモ第四軍團ノ諸隊 Donau 河右岸ニ集合スル迄ハ豫備トシテ一兵ヲモ有セサリシヲ以テ其時期迄一時要塞ノ攻圍ヲ延期シ先 Plevnaヲ攻略セント欲シ二十四日「ルスチユック」兵團司令官ニ該攻略ノ延期ヲ命令ス

「ルスチユック」兵團要塞攻圍ノ延期

七月二十五日ノ情報竝ニ第四軍團司令官先頭部隊ヲ更ニ西部兵團ニ増援ス

此頃軍司令官ハ戰地東方面ノ土軍 Eski Dzumaja, Osanbazar 附近ニ集中シ其兵力約五萬ニ達シ殊ニ Osanbazarヨリ Shivenニ向ヒ一縱隊行進スルコトヲ知リ又西部兵團司令官ヨリ屢 Plevnaノ土軍兵力ニ關シテ頗ル誇大ノ報告ニ接セリ 約五萬人ト算セリ 是ニ於テ軍司令官ハ四角要塞ノ敵兵カ先進兵團ノ巴爾幹山南ニ進出セシヲ恐レテ Jambohiヲ經由シテ退却ヲ開始スルモハナラント信セシモ尙 Imovoニ前進シ來ルヘキ場合ヲ顧慮シ又 Plevnaノ土軍兵力ニ關シテハ既記ノ如ク步兵四十乃至五十大隊約二萬五千ニ過キサルモノト考量シ 此判斷ハ實際ニ近シ タリシモ西部兵團司令官中將クリユデネルノ請求ヲ容レ同二十四日二十五日ノ兩日ニ Donauヲ渡河セシ第四軍團ノ步兵第三十師團ノ第二旅團及砲兵三中隊 最初ノ決心ニ依レハ Ruscuk 攻圍ヲ二十五日同兵團ニ増加シ速ニ Plevnaヲ攻略セシメ又步兵第十一第十四師團ヲシテ Kozarevec (Dzjuna)ノ西方一里附近ヲ堅固ニ占領セシメ同時ニ其旨ヲ第八軍團長ニ傳ヘ且「オスマン」部隊步兵第十一師團騎兵第十三師團ヲ第八軍團

「オスマン」部隊

長ノ指揮ニ屬シ之ト同時ニルスチュック兵團司令官ニ訓令スルニ敵若シ
Tnovovoニ對シ攻撃ヲ企圖セハ第十三軍團ヲ以テ Lom Cerkovna (Cajir 東北方
約一里) Cajirノ線ヨリ敵ノ側面ニ進出シオスマンバザール部隊ヲ援助ス
ヘキコトヲ以テセリ

附記 當時土軍ハ三兵團ニ分離シ東方面要塞地域ニ東部ドナウ軍アリ

西方面 Plevnaニオスマンバシアノ西部ドナウ軍アリ南方面ニハスラ

イマンバシアノ軍アリ同軍ハ鐵道ニ由リテ逐次 Adrianopolニ向ヒ集中

セラレントセリ

七月十七日メヘメットアリアパシアハアブヅルパシアニ代リ土軍司

令官ニ任命セラレ塞爾維ノ南境 Novipazar (ノビエザルニツ)ノ西方ヨリ任地ニ向ヒ二

十一日 Sumlaニ著ス

メヘメットアリアハ相分離セル三軍ノ内スライマンバシア軍ヲ四角

要塞地區ニ招致シ次テ速ニ東西兩方面ヨリ Siscov, Tnovovo間ノ露軍ノ連

絡線ニ向ヒ攻勢ヲ取ラント欲シ之カ爲土國政府ニ向ヒ増援トシテ歩
兵五十大隊ヲ請求セリ政府ハ之ヲ容レ先歩兵十四大隊ヲ二十二日
Sumlaニ送ル可キ命令ヲ發シ同時ニメヘメットアリアパシアノ請求セ
シ殘餘三十六大隊ノ新編成ヲ爲スニ決セリ然レトモスライマンハ其
軍二十六日頃ニ至ラサレハ集結ヲ完了セサリシヲ以テ露軍ハ此間ヲ
利用シテ Adrianopolヲ脅威スルナラン故ニ刻下先メヘメットアリアパ
シアノ軍ヲ以テ露軍ノ側面ニ向ヒ攻勢ヲ取リテスライマンバシアノ
軍ノ集中ヲ援助スルヲ得策ナリト確信シメヘメットアリアパシアノ
意見ニ同意セス其理由ヲ彼ニ通報セリ依ツテメヘメットアリアパシ
アハ中庸ノ策ヲ講シスライマンバシアノ軍ヲシテ Sipka峠ヲ攻撃セ
シメ之ヲ援助スル爲東部ドナウ軍ノ一部ヲ以テ Osmanbazarヨリ Tnovovo
ニ對シ猛烈ニ陽攻セシメ之ト同時ニ露軍ノ背後連絡線ヲ突破セント
スル自己本來ノ作戰計畫ヲ實施センカ爲ニ兵力強大ナル野戰軍ヲ編

成セント欲シ Ruscuk, Razgrad, Silistria, Tutakan 等ノ要塞地ヨリ Razgrad ニ向ヒ兵力ヲ集中セリ然レトモ其得タル兵力ハ僅カニ約二萬人ニ過キサリシヲ以テメヘメットアリーパシアハ攻勢ヲ斷念シ單ニ Razgrad ヲ占領シ Zuma-Bela 道ヲ扼シ且 Ruscuk-Gunla ノ鐵道ヲ掩護シ露軍若シ Ruscuk ニ向ヒ前進セハ其側背ヲ脅威スルヲ以テ甘ンシ又特ニ Razgrad ヲヨリ Bela 方向ニ Osmanbazar ヲヨリ Tinovo 方向ニ對シテハ各有力ナル部隊ヲ派遣シ以テ敵情ノ偵察ニ勉メタリ 既記露軍司令部ニ於テ要塞地域内ノ土ヲ誤リ判斷セシモノナリ

七月二十六日ノ情報軍司令部ノ樂觀

二十六日ニ至リ前夜優勢ナル土軍 Plevna ヲヨリ Lovca ニ向ヒ前進セルノ情報軍司令部ニ達セリ之ニ對シ軍司令部ノ判斷ハ頗ル樂觀的ニシテオスマンパシアカ四角要塞内ノ土軍ト相連繫シテ退却ヲ試ムルナラント思惟シ 司令部ハ先進兵團ノ巴爾幹山南進出ニ依リ同山北ノ土軍ハ退路ノ關係上自然ニ退却スルモノナラント豫期セリ蓋シ敵ヲ暫蔑シ頗ル樂觀的ニ戰況ヲ觀察セシ一般ヲ窺知スルニ足ル 西部兵團ニ訓令スルニ敵若シ果シテ Plevna ヲ放棄シ同處ニハ僅カニ後衛ヲ止

ムルニ過キサルモノトセハ兵團ハ主力ヲ以テ之ヲ追撃シ殲滅ニ陥ラシムルコト絶對的必要ナル旨ヲ以テセリ

附記 オスマンパシアハ銳意 Plevna ノ陣地ヲ堅固ニシ之ト同時ニ Lovca

ヲ占領スルニ決シ 同地ハ Plevna ヲヨリ Trojan ヲ經テ巴爾幹山南ニ通シ又 二十五日

先騎兵ヲシテ Lovca ニ對シテ威力偵察ヲ行ハシム 中佐バクラノフノ部隊ハ

Aljevo ヲヨリ前進シ二十五日 Lovca ヲ占領シ同日土軍ノ威力偵察ニ任シタル騎兵ト衝突シ露軍

之ヲ驅逐ス前記軍司令部ニ達シタル優勢ナル敵兵 Plevna ヲヨリ前進セリトハ前哨ニ任シタル

露軍騎兵ノ報告ヲ其儘軍司令部ニ遞送シタルニ起因ス

是ヨリ先軍司令官ハ屢先進兵團司令官ヨリ巴爾幹山南ニ進出シ以テスライマンパシアノ未タ兵力ヲ集結セサルニ先タチ各個ニ之ヲ擊破スルヲ有利トスル旨ノ意見具申ヲ受ケ二十六日ニ至リ遂ニ之ヲ承認シ Hainkiuj ノ守備ニ任スル歩兵第九師團第一旅團「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊、砲兵第九旅團第四第六中隊「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ半中隊ハ是ヲ先進兵

七月二十六日先進兵團ヲ巴爾幹山南ニ出ス

七月二十七日
ロフチヤ
Lovcaノ
敵情

團司令官ノ指揮ニ屬セリ然ルニ二十七日軍司令官ハ敵兵 Lovcaヲ占領セ
ル報告ニ接ス

附記 オスマンパシアハ二十五日騎兵ヲ以テ Lovcaヲ偵察シタル後リ
フートパシアノ指揮スル歩兵六大隊ヲ基幹トスル一支隊ヲ Plevna
ヨリ派遣ス同支隊ハ二十七日露軍中佐バクラノフノ騎兵ヲ驅逐シテ
Lovcaヲ占領セリ

先進兵團ノ
南進中止

是ニ於テ軍司令官ハ前日先進兵團ニ下セシ命令ヲ取止メ同時ニ Tynovoニ
在ル歩兵第五十三聯隊、砲兵第九旅團第一中隊ヲ Devljevoニ派遣シ是ヨリ先
同地ニハ
歩兵第三十五聯隊及砲兵第九旅團第三中隊ヲ派遣シ在リ 又 Sipka峠ノ守備ニ任シ在ル歩兵第三十六聯隊ヲ
Gabrovoニ退カシメ Sipka峠ノ守備ハ先進兵團中ノ狙撃歩兵第四旅團ノ
部隊ヲ以テ之ニ代ラシメタリ然ルニ是日幾モ無ク Lovcaノ敵兵ハ餘リ強
大ノモノニ非ス敢ヘテ顧慮スルニ足ラサリシヲ知り直ニ先進兵團ノ Sipka
峠占領ノ任務ヲ解キテ前企圖ノ實行ヲ許シ又二十八日ニハ同兵團司令官

先進兵團ノ
南進

ノ請求ヲ容レ砲兵一中隊砲兵第九旅團第二中隊其
任ニ膺レルモノノ如シヲ Gabrovoヲ經テ Kazanlikニ
差遣シ 此中隊ハ三十一日
Sipkaニ著ス 布爾牙利兵ノ一部ト共ニ同地ヲ占領シテ萬一ニ備ヘシ
ム

七月下旬各
兵團行動概
要(附圖第
二十第二十
九参照)

先進兵團ハ二十九日三縱隊ト爲リテ Novazagoraニ向ヒ前進シ其右縱隊ハ
Starazagoraヲ經テ東進シ Karadunar附近ニ於テ敵ト戦闘ヲ交エ勝敗未タ決セ
サリシニ夜ニ入りテスライマンパシアノ軍隊南方ヨリ Starazagoraニ向ヒ
前進スルヲ知り退キテ同地ヲ守備ス爾餘ノ二縱隊ハ中將グルコ自ラ之ヲ
指揮シ Kazanlik及 Hankojヨリ前進シテ Novazagoraニ向ヒ二十日同地ニ
在ル土軍ロイフパシア軍ノ一部ヲ撃退シ三十一日 Starazagora方向ニ前進シ
途中 Lyurauli附近ニ於テ土軍ロイフパシアノ主力ヲ撃破シ Starazagoraノ
前面ニ到ル然ルニ是時右縱隊ハ既ニ土軍スライマンパシアノ攻撃ヲ受ケ
テ退却シ敵兵代リテ同地ヲ占領セシヲ以テ又 Dibokニ退却ス而シテ右縱
隊ハ是日敗戦ノ結果 Starazagoraヨリ Kazanlik方向ニ退却シ同夜 Tundza河左岸

ツロ^ホ 附近ニ宿營ス

附記 スライマンパシアハ二十八日迄ニ其軍隊ヲ Karabunur (Starazagora) ノ東南方約九里餘附近ニ集結セシヲ以テ Trnova ニ向ヒ前進セントスル作戦計畫ニ基キ先 Starazagora ニ向ヒ前進スルニ決シ Sipka ヨリ退避シ Cirpan 附近ニ到達セシフルシーパシアノ部隊及 Novazagora 附近ニ兵力ヲ集結セルロイフパシアノ部隊ト相呼應シテ二十九日 Starazagora ニ向ヒ前進シ三十一日 Starazagora ヲ守備セシ露軍ノ右縦隊ヲ驅逐シ同地ヲ占領セリ

プレ^ナ 方面ニ於テハ西部兵團ハ二十八日迄ニ步兵第三十二師團第一旅團砲兵第三十二旅團第二第五中隊欠歩兵第三十師團砲兵第三十旅團騎兵第十一師團第二旅團欠ノ増加ヲ得二十九日 Kojilovei, Turski-Prostenik, Pordim ノ線ニ兵力ヲ整頓シ三十日 Chivica, Radzevo ノ兩方面ヨリ Plevna 附近土軍陣地ヲ攻撃シ終日ニ互リシモ成効セス日没ノ頃ヨリ逐次退却シテ三十一

日 Turski-Prostenik, Pordim ノ線ニ退キ停止ス

是ヨリ先二十七日中佐バクラノフ部隊ハ土軍ノ一支隊ヨリ Lovca ヲ占領セラレシカ二十八日 Seviljevo ヨリ歩兵一大隊ノ増援ヲ得再ヒ同地ニ向フ是日高加士哥薩克騎兵旅團モ Plevna 東南方ヨリ同地ニ向ヘリ然レトモ兩部隊ハ遂ニ相連繫スル能ハス加フルニ有力ナル敵兵 Lovca ヲ占領セシニ依リ各南北ニ分レテ退却シ騎兵旅團ハ三十日 Plevna 第一會戦ニ參與セシモ中佐バクラノフノ部隊ハ同會戦ニ加ハラズ是日 Lovca ノ東北地區ヲ經テ北進シ三十一日 Pelisat 附近ニ於テ退却中ナル高加士騎兵旅團ト相會シ共ニ Pordim ニ退却ス

七月下旬迄要塞地區ニ對スル「ルスチニツク」兵團「アレ」支隊及下流「ドナウ」兵團ハ大ナル變化無シ此頃第四軍團ノ歩兵第十六師團「下流」Donau 地域ニ在ル少將アレクサンドロフ部隊ヲ缺クハ Sistolov ニテ Donau 河ヲ渡リ布爾牙利ニ進入セリ

當時露國大本營ハ四角要塞ト Plevna トノ中間地區ヲ經テ遠ク巴爾幹山南ニ
 作戰センニハ布爾牙利國內ニ在ル兵力充分ナラサルコトヲ覺リ兵力増加
 ノ爲 Donau 河ノ北岸ニ在リテ比較的重要ナラサル任務ニ服セル部隊ヲ招
 致スルコト、本國ヨリノ増援ヲ仰クコト及羅馬尼、塞爾維ノ兵ヲ籍ルコトノ
 三手段ヲ取ルニ決シ第一第一ノ手段トシテ七月二十日 (Plevna 第一會戰當
 日) Plavna 一戰ノ結果ニ依リテ此等ノ手段ヲ取ルニ至リシヤ否ヤ確ナラズト雖モ察スルニ兵力増
 加ノ計畫ハ一部ハ會戰前既ニ考案セラレタルモノノ如シ何トナレハ Plevna 敗戰ノ報告大本營
 ニ到達セシハ二十一日 下流 Donau 兵團ノ編組内ニ在ル少將アレクサンドロフ
 ナルカ如キヲ以テナリ

支隊第四軍團ノ内歩兵第六十一聯隊、ドン、哥薩克騎兵第四聯隊及砲兵第十
 六旅團第一中隊ニ招致ノ命令ヲ下シ從來同部隊ノ服シタル下流 Donau 河
 地域ノ守備ハ爾後オデッサ軍管區司令官ノ隷下ニ在ル中將ウエレウキン
 ノ部隊ヲシテ之ニ膺ラシメ又同日豫備隊トシテ本國內ニ在リシ歩兵第二
 第三師團、狙撃歩兵第三旅團及ドン、哥薩克騎兵第二師團ヲ作戰軍ニ増加セ
 リ而シテ軍司令官ハ直ニ之ニ關スル通報ヲ受領セシモ此等ノ部隊ハ八月

下旬ニアラサレハ其到着ヲ豫期スル能ハス又第三ノ手段タル他國軍ノ援
 助ヲ藉ル方法ニ就テハ以下記スル所ノ如シ

塞爾維軍ハ千八百七十六年土耳其トノ交戦ニ依リ蒙リタル敗績ニ因リ全
 然潰亂セシヲ以テ露國ハ最初塞爾維ヲシテ嚴正中立ノ態度ヲ取ラシメン
 トセリ然ルニ同國ノ人民ハ羅馬尼ノ土軍ニ對シテ子戈ヲ執ルヲ見テ好戰心
 鬱勃トシテ禁スル能ハス遂ニ一般ノ輿論ニ基ツキ露軍ニ加勢シテ土軍ト
 交戦セントスルニ決セリ依テ國王ミランハ六月中旬露國大本營 Proscchi 在
 ルノ頃露帝ヲ訪問シ土國トノ交戦ニ對シ協同ノ許諾ヲ得作戰方針ニ關ス
 ル覺書ニ調印シ塞爾維軍ハボスニア、ヘルツェゴビナノ交戦地ヨリ布爾牙利
 ニ至ル諸道路若シクハ Nis ヨリ Sofia ニ向フ道路ヲ扼シ特ニ Belogradzisk (Vidin
 ノ南方約十里)ヲ占領スルヲ約シ戰備ニ著手セシモ財政上ノ困難ニ因リ遲
 遲トシテ進抄セス 露相ゴルチヤコフハ飽ク迄モ塞爾維ヲ戰爭ノ渦外ニ置カントシ軍用金ヲ
 補助スルヲ速ケタリ蓋シ彼ハ同國ニ其補助ヲ與ヘサル限リハ到底起テ能
 ハサルモノト判断セリ 露軍モ此間布爾牙利ニ進入シ戰況日ニ有利ニシテ塞爾維軍ノ助

露羅兩國軍ノ關係

力ノ如キハ固ヨリ眼中ニ置カサリシモニ Plevna ノ敗戦後今ヤ兵力増加ノ
 一手段トシテ同軍ノ援助ヲ得ルノ必要ヲ感シ乃チ軍資金トシテ百萬ルー
 ブル〔約百萬圓〕ヲ塞爾維ニ與ヘ其協力ヲ請求セリ然レトモ直ニ軍ノ協力ヲ
 期待スルコト能ハサリキ 實際軍ハ戰役ノ末期即チ十二月中旬ニ至リ作戰ニ參加セリ
 露羅兩國軍ノ關係ニ就テハ既記ノ如ク兩國意見ノ相違ヨリシテ兩軍連合
 ノ協定ヲ見ルニ至ラサリシカ露軍布爾牙利内ニ進入シ其作戰漸次發展ス
 ルニ及ヒ羅馬尼ハ内心有利ノ條件ヲ以テ Donau 河右岸ニ作戰セントスル
 ノ意アリシモノノ如ク露軍ニ於テモ Plevna 第一會戰失敗後切ニ其協力ヲ
 望メリ即チ七月二十一日恰モ羅馬尼ノ使節 Bela ノ露國大本營ニ在ルノト
 キ露帝ハ羅馬尼軍カ捕虜搬送ヲ拒絕シ爲ニ中將クリエデネルハ全兵力ヲ
 Plevna ニ向ケ能ハサルヲ痛恨スルノ意ヲ漏シテ暗ニ其協力ヲ求メタリ是
 ニ於テカール王ハ其要求ヲ容レ七月二十四日將官マンノ率ユル羅馬尼第
 四師團ノ一部ヲシテ Nikopoli ニ向ハシメ二十五日ニハ同師團ヲシテ何時

七月三十一日露軍ノ位置

ニテモ出發シ得ヘキ準備ニ在ラシメタリ然レトモ此等ノ部隊ハ渡河材料
 ヲ有セサリシヲ以テ露軍ハ姑ク其増援ヲ期シ能ハサリキ 羅馬尼軍 Donau ノ渡河ヲ開始シタルハ七月二十九日 Plevna 第二會戰ノ前日トス

七月三十一日ニ於ケル露軍位置ノ概要左ノ如シ 附圖第十 六參照

西部兵團ハ Plevna 攻撃失敗後步兵第三十一師團及騎兵第九師團ノ各主
 カヲ以テ Prosenik ニ步兵第三十二師團〔アッレル〕支隊欠同第三十師團ノ
 半部及高加士哥薩克騎兵旅團中佐バクラノフノ部隊ヲ以テ Pordim ニ歩
 兵第五師團ノ主力及步兵第三十師團ノ半部ヲ以テ Bligrene ニ步兵第五
 師團ノ一部ハ Nikopoli ニ位置シ又步兵第二百二十四聯隊ノ約一大隊砲兵
 一中隊 第九軍團ノ所屬ハ Distrov 附近ノ軍橋守備ニ任シ同地ニ在リ
 先進兵團ハ Starazagora 附近ヨリ巴爾幹山ニ向ヒ退却中ニシテ其一部ハ
 Sipka, Hainkioj 峠ヲ守備ス
 「オスマンバザール」部隊ハ Elena, Bebrovo, Kesarevo, Cajir 附近ノ線ヲ警戒シ

其主力ハ *Dzuljunej, Cajir* 附近ニ在リ

第八軍團ハ一ニハ先進兵團及「オスマンバザール」部隊ノ後援ト爲リ一ニハ *Lovca* ニ對シ軍ノ側面ヲ警戒スヘキ任務ニ膺リ步兵第三十五聯隊、同第五十三聯隊、砲兵第九旅團第一第三中隊ヲ以テ *Sevljevo* 及其附近ニ、步兵第十四師團ノ主力ヲ以テ *Trnovo* 附近ニ在リ

「ルスチニツク」兵團ハ第十三軍團ヲ以テ *Vodica, Kazelevo* 間ヲ、又第十二軍團同軍團ノ一部ヲ以テ *Ivanovo, Prigoz* 間ヲ占領シ *Ruscuk, Razgrad* 方面ノ土軍トハ *Bela* ニ在リ

相對シ「アッレル」支隊ハ主力ヲ *Giurgevo, Olenija* ニ置キ兩地間ノ警戒ニ任シ *Carasi* ニハ下流「ドナウ」兵團ノ「ドン」哥薩克騎兵第四十聯隊ノ四中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第四中隊ノ二門在リテ *Silistria* ノ土軍ト相對セリ

下流「ドナウ」兵團ノ主力ハ *Cernavoda, Kistenge* ノ線ヲ占領シ其一部「アレクサンドロフ」支隊步兵第六十一聯隊、砲兵第十六旅團第一中隊「ドン」哥薩克騎兵第四聯隊ニシテ尙一時テレク山地騎兵聯隊在リハ下流 *Donau* 河畔ニ在リテ同處ノ守備ニ任セリ此部隊ハ二十日大本營ノ部署ニ依リ少將ウエレウキンノ部隊ト交代スヘキ筈ナリシモ未タ其實

七月三十一日
羅馬尼亞軍
ノ位置

七月三十一日
土軍ノ位
置

施ニ至ラ
サリキ

步兵第十六師團少將アレクサンドロフ支隊欠ハ *Donau* 河渡過後 *Trnovo* *Bela* 中間地區ニ在リ

當時羅馬尼亞軍ハ第四師團ノ步兵及騎兵各二聯隊ヲ以テ二十九日 *Donau* 河ヲ渡リ *Nikopoli* ニ位置シ同師團ノ殘餘並ニ軍團砲兵三中隊ヲ以テ *Jiu* 河口ヨリ *Turnu-Magurele* 間ノ地ヲ守備シ第三師團ハ步兵三聯隊、砲兵六中隊軍團砲兵三中隊ヲ含ムヲ以テ *Razi* 附近ヲ守備シ其他ハ *Mofatei, Băilesti* ニ位置シ第一軍團ハ第一師團及軍團砲兵ヲ以テ *Calafatu* 附近ニ、第二師團ハ一部步兵二大隊、砲兵一中隊ヲ以テ *Cinpereni* 附近、同師團ノ主力ハ *Gelenti, Salca* 間ノ地ヲ守備セリ

附記 七月下旬土軍位置ノ概要左ノ如シ

スライマン、パシアノ軍ノ主力步兵四十一大隊、騎兵二中隊、砲二十四門
ハ *Starazagora* ヲ占領シ、ロイフ、パシアノ指揮スル步兵十二中隊、騎兵七中

隊砲二十四門ハ *Dauranli* 附近ノ敗戦後東南方ニ退却中ニシテフルシ
 ーバシアノ指揮スル部隊ノ内歩兵七大隊砲六門ハ *Arabmahle*, *Starazagora*
 間ニ在リ此部隊カ此ノ如ク後レ而シテ他ノ二大隊ハ *Orpan*, *Philippopel* ニ留
 リ同地ヲ守備ス
 要塞地域中西方面ニ在ルモノハ *Osmanbazar* 附近ニ歩兵六大隊騎兵四
 中隊砲六門 *Sunla* ニ歩兵十七大隊騎兵六中隊砲四十八門 *Razgrad* ニ歩
 兵四十八大隊騎兵二十八中隊砲九十六門 *Kuzouk* 附近ニ歩兵二十大隊
 騎兵六中隊砲二十四門ニシテ *Siven*, *Kotei* 附近ニハ歩兵約三四大隊ア
 リ而シテ他正面ニ在ルモノ *Turakan* ニ騎兵二中隊 *Silistria* 附近ニ歩兵
 十大隊騎兵二中隊砲十八門 *Dobrie* ニ歩兵十四大隊騎兵六中隊砲十八
 門 *Varna* ニ歩兵十大隊騎兵六中隊砲四十二門トス
 オスマンパシアノ軍ハ *Plevna* 附近ニ歩兵三十三大隊騎兵七中隊砲五
 十八門 *Lovca* 附近ニ歩兵六大隊騎兵二中隊砲六門ニシテ其西方地域

ニ在ルモノハ *Orhanje*, *Sofia* 及其附近ニ歩兵二十五大隊騎兵四中隊砲
 二十四門 *Orehovo* ニ歩兵三大隊 *Lojn Palanka* ニ歩兵一大隊 *Vidna* ニ
 歩兵十五大隊砲六門 *Zvez* 附近ニ歩兵十六大隊騎兵六中隊砲十二門ト
 ス

二 先進兵團ノ行動

其一 七月二十九日迄ノ情況

先進兵團ハ七月十九日 *Sidka* 峠ノ占領ヲ以テ其主ナル目的ヲ達成セリ司
 令官中將 *グルコ* ハ此奏功ニ乘シ更ニ南方ニ向ヒテ作戰ヲ續行セント欲シ
 二十日之ニ關スル意見ヲ軍參謀長ニ具申セリ即チ左ノ如シ
 昨日第八軍團ノ一部隊ニ因リ實行セラレタル *Djika* 峠ノ占領ハ茲ニ先
 進兵團ノ第一期作戰ヲ終了セシメタリ *Tundza* 河谷ノ戰鬪ニ就キ閣下ヨ
 リ嘉賞セラレタルハ小官ノ感激ニ堪ヘサル所ナリ七月十四日ヨリ十八
 日迄ノ戰鬪ニ因リ此谷地ニ在リシ土軍ヲ殲滅シ得タルハ一ニ天祐ニ屬

シドカ峠
 嶺後先進兵
 團司令官ノ
 決心

ス今ヤ小官ノ俄然山南ニ現出シタルハ土軍ニ非常ナル志氣ノ沮喪ヲ與ヘタリ故ニ之ヲシテ挽回ノ暇無カラシメンカ爲速ニ作戰ヲ續行スルノ必要アリト信ス依テ *Kazanlik* ニハ砲八門ヲ有スル布爾牙利兵ノ一部ヲ殘置シ爾餘ノ軍隊ヲ以テ *Adrianopol* ニ向ヒ前進セントス

尙中將グルコハ爾後ノ作戰ヲ續行センカ爲兵力ノ不足ヲ感シ「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊及騎兵第十三師團ノ一旅團竝ニ野砲一中隊ノ増加ヲ請求シ次テ目下 *Hankioj* 附近ヲ守備セル歩兵第九師團第一旅團長少將ボレエシアニモ南進ノ意ヲ通シ其協力ヲ要求セリ然ルニ少將ボレエシアハ山路占領ノ必要ナルヲ理由トシ其要求ニ應セス同時ニ中將グルコハ軍司令部ヨリ左ノ要旨ノ訓令ヲ受領セリ

Plevna ノ敵兵攻勢ヲ取ルニ至ルヤ否ヤ判然セサル目下ノ情況ニ於テ先進兵團ハ其歩兵ヲ以テ *Tundza* 河谷以南ニ進出セサルヲ要スルノミナラス萬一ノ場合ニハ直ニ山路ノ占領ニ著手シ以テ歩兵第九師團ノ一部ヲ

他ノ目的ニ使用シ得セシメサル可カラス然レトモ騎兵ハ諸方面ニ互リテ搜索ヲ怠ルコト無ク獨リ *Tundza* 河谷ノミナラス成シ得ル限り遠ク潛行シ以テ敵ヲ擾亂セシメ且鐵道電線ヲ破壊スルコト必要ナリ

情報ニ據レハスライマンパシアノ軍ハ海路 *Enos* 多島海ニ向ヒ七月二十四日頃ニハ其先頭部隊同處ヨリ鐵道ニ由リテ *Adrianopol* ニ輸送セラルルカ如シ

因テ先進兵團司令官ハ *Novazagora* ニ在ルロイフパシアノ部隊ト *Sipka* 峠ヨリ *Philippopol* ニ向ヒ退却中ナルフルシーパシアノ部隊ト合一竝ニスライマンパシア軍ノ集中ヲ妨害スル爲 *Marica* 河谷ニ在ル鐵道ヲ破壊スルヲ急務ト爲シ二箇處ノ破壊點ヲ選定セリ即チ *Trik-Sejmen* 附近鐵道交叉路ノ北方約三里ニ在ル *Karabunar* 及同交叉點ノ西方約五里ニ在ル *Kajadzik* 是レナリ此兩地點ハ *Kazanlik* ヲ距ル甚タ遠クシテ *Novazagora* ニ在ル土軍ノ妨害ヲ受クルノ顧慮アルヲ以テ *Stranagora* 山脈ノ南側ニ在ル *Starazagora* 附近ニ

支隊ヲ派遣セントセシニ偶同地布爾牙利人ノ請願アリシヲ以テ *Novazagora* ヲ速ニ占領スルニ決ス乃チ三伏ノ炎暑ヲ冒シテ險惡ナル山路ヲ越ヘ且數回戰鬪ニ從事シ人馬共ニ大ニ疲勞セル兵團ノ諸隊ヲ二十三日迄休憩セシムル豫定ヲ變更シ二十二日大佐コルイエブオノ率ユル龍騎兵第九聯隊「*Down*」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊及騎砲兵第十六中隊ノ二門ハ *Staraza* *Boira* ヲ占領シ先進兵團爾餘ノ諸隊ハ依然 *Novazagora* 附近ニ止レリ但シ布爾牙利步兵第六大隊ハ負傷兵及俘虜ノ輸送ニ任シ二十一日以後 *Thovo* ニ赴ケリ

先進兵團司令官再度ノ意見具申

是時ニ當リ中將グルコハ勝利ノ結果ヲ利用セサルヲ甚タ遺憾トシ二十二日再ヒ軍司令官ニ意見ヲ具申セリ其要旨左ノ如シ
現ニ獲得セル有利ナル情況ヲスライマン軍ノ來著ト共ニ空シク逸セシムルハ實ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ因テ目下 *Hankioj* ニ在ル少將ボレエシアノ旅團ヲ *Kazablak* ニ進出セシムルノ必要ナキヤ斯ノ如クスルモ決

先進兵團二十一日ノ移動(附圖第十七參照)

シテ兵力ヲ分割スルノ不利ニ陥ルコト無ク却テ *Zipka* 峠ニ在ル步兵第三十六聯隊(此聯隊ハ「ガブロボ」支隊ニ屬ス)ヲ他ノ目的ニ使用スルヲ得ヘシ且之カ爲 *Hankioj* 一時土軍ニ占領セラルヘキコトアルモ之ヲ突破スルハ極メテ容易ナリ

少將ボレエシアノ部隊 步兵第九師團第一旅團砲兵第九旅團ノ第四第六中隊及「*Down*」ハ依然 *Hankioj* 附近ノ陣地ニ在リ此部隊ヨリ是日 *Novazagora* ヲ偵察セシ結果ニ依レハ同地ニハ土軍ノ步兵六大隊砲六門及多數ノ不正規騎兵在リ且同地停車場ニテ軍隊若シクハ輜重ノ如キモノヲ搭載セル列車ヲ認メリ

二十二日頃巴爾幹山南土軍ノ情況

附記 七月二十二日頃巴爾幹山南ノ土軍ハ二兵團ニ分離セリ即チ一兵團ハ *Zipka* 峠ヨリ *Philippopol* ニ退却セシフルシアノ指揮スル約歩兵八大隊砲兵一中隊ニシテ他ノ一兵團ハ *Novazagora* ニ位置セルロイフパシアノ指揮スル步兵十二大隊騎兵三中队砲兵四中队(二十四門)其他不正規騎兵約千五百騎ニシテ尙 *Sivno* (Sivno) 及其北方巴爾幹山

地區ニモ歩兵六大隊アリ

スライマンパシアハ七月二十日頃 Marica ノ河口ニ上陸後巴爾幹山南ノ軍司令官ト爲リ優勢ナル敵ノ巴爾幹山ニ集合スルヲ妨害シ且オスマンパシア若シクハメヘメットアリパーシア軍ノ作戰ニ協力ス可キ任務ヲ受ケ二十一日鐵道ニ由リ歩兵二三大隊ト共ニ Adrianopol ニ到着セリ是時ニ當リロイフパシアハ部下軍隊ノ教育訓練竝ニ裝備不完全ニシテ作戰ニ適セサルヲ口實トシテ Turk-Sejmen ニ退却セントシ既ニ輜重ノ一部ヲ南方ニ輸送シ少將ボレエシアノ偵察隊カ輜重ヲ搭タルモスライマンパシアハ深ク之ヲ非トシ嚴命ヲ下シテ NOVAGORA ヲ固守シ以テスライマンパシア軍ノ集中ヲ掩護セシメ同時ニ Karabunar 停車場附近ニ其軍ヲ集中スルニ決シ直ニ同地ニ其先頭部隊ヲ進メタリ

二十三日鐵道破壊ノ爲中將グルコハ左ノ要旨ノ命令ヲ下セリ

一、龍騎兵第九聯隊「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊騎砲兵第十六

先准兵團鐵道破壞ノ企圖(附圖第十八參照)

中隊ノ二門ハ二十三日 Starazagora 出發 Starazagora-Gjujuri 道上 Sjujutijka 河ノ右岸ニ夜ヲ徹シ二十四日 Akbunar ヲ經テ Gjujuri ニ向ヒテ前進シ其附近ノ鐵道橋竝ニ電信機ヲ破壊ス可シ

二、龍騎兵第八聯隊「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門ハ二十三日午前四時 Kazanik 出發同日 Arabadzijevo 附近ニ宿營シ二十四日午前四時半(未明)出發 Karabunar (Irk Sejmen 北方約三里)ニ前進シ同地附近ノ鐵道橋及電信機ヲ破壊ス可シ

右兩聯隊ハ其任務ヲ遂行シタル後成ルヘク速ニ Starazagora ニ歸著ス可シ

三、驃騎兵第九聯隊及騎砲兵第十六中隊(二門欠)ハ二十三日午前四時又布爾牙利歩兵四大隊「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊及山砲四門ハ午前五時 Kazanik 出發 Starazagora ニ到ル可シ

此諸隊ハ鐵道破壊ニ從事セル兩聯隊ノ Starazagora 歸著迄 Starazagora ヲ

占領シ後 Kazanlik カザンリック ニ歸著スルモノトス

四、爾餘ノ Kazanlik カザンリック ニ在ル諸隊ハ現在ノ位置ニ停止ス可シ

五、予ハ驃騎兵第九聯隊ト共ニ Starazagora スタラザゴラ ニ到ル

龍騎兵第九聯隊「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊、騎砲兵第十六中隊ノ二門ハ二十三日午前四時 Starazagora スタラザゴラ 出發 Skenderli スケンデルリ ニ向ヒテ行進シ其地ニ休憩シ翌二十四日午前三時出發 Kajadzik カヤヂク ニ向ヒテ前進シ其前衛タリシ

「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊ハ同地停車場ヲ距ル約三吉米ノ地點ニ於テ鐵道及電線ヲ破壊シ龍騎兵第九聯隊第四中隊及第三中隊ノ半部並ニ破壊班ハ停車場ニ急進シ午前十一時十五分第一回ノ爆發ヲ實施シ午後零時三十分迄ニ停車場ヲ根本的ニ破壊燒却シ金庫書類ヲ押收シ驛員ヲ拘禁シ直ニ退却シテ同日夜半 Starazagora スタラザゴラ ニ歸著セリ

龍騎兵第八聯隊「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門ハ二十三日 Arabadzijevo アラバヂェヴォ ニ宿營シ二十四日出發 是時「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ一中隊同騎兵第三十聯隊 Azapli アザプリ 一小隊モ亦之ニ合セシコト確實ナルモ其顛末明カナラス

ヲ經テ Karabunar カラブナナル ニ向ヒテ前進シ途中二個ノ破壊班ヲ同地停車場ノ兩側地區ニ分遣ス

右側破壊班(龍騎兵一中隊)ハ Karabunar カラブナナル 停車場ノ南方 スルト 附近ニ到リ同地附近ノ鐵道及 ツルノゴ 附近ノ鐵道橋ヲ破壊セント欲セシモ敵兵アリテ目的ヲ果サスシテ本隊ニ歸著ス左側破壊班龍騎兵及哥薩克騎兵各半中隊(ハ Karabunar カラブナナル 停車場ノ北方 カラ Kara, アリ Alli, ベリ Beli-Breg ブレグ ノ間ニ前進シ敵ニ遭ハスシテ橋梁道路及電信ヲ破壊シ附近ノ停車場ニ放火シテ退却ス本隊龍騎兵二中隊半、哥薩克騎兵半中隊、砲二門)ハ午前九時 Karabunar カラブナナル 附近ニ到リシニ敵ノ步騎兵之ヲ占領セシニ因リ鐵道ヲ破壊スル能ハス 當時 Karabunar カラブナナル 附近ニハ土軍不正、乃チ規騎兵ヲ混セシ約二三大隊アリ 本隊ハ左側破壊班ノ作業ヲ容易ナラシメンカ爲敵ヲシテ露軍騎兵ノ寡弱ヲ知ラシムルコト無ク其注意ヲ牽制スルニ努メ駐マルコト約二時間ナリ此間敵兵漸次其右側ニ迫ラントスルノ狀アリ偶、北方遠ク爆發ヲ聞ク乃チ左側破壊班ノ作業實施略疑無キヲ信シ午後二時退却ニ就ク斯クテ諸隊ハ

夕刻迄ニ悉ク *Staruzagora* ニ歸著ス

布爾牙利歩兵四大隊、驃騎兵第九聯隊、ドン哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊、騎砲兵第十六中隊ノ四門及山砲四門ハ二十三日既ニ *Kazanlik* ヨリ *Staruzagora* ニ到著シ在リシヲ以テ鐵道破壞隊ノ歸還ト共ニ同地ニハ今ヤ歩兵四大隊、騎兵約十五中隊、砲十門ノ兵力集合ス。是時以後所在不明ナルモ蓋シ先進兵團ト行動ヲ共ニ又中佐スタケルベルヒノ指揮スル「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ第二第五中隊、同第二十六聯隊ノ半中隊ハ *Philippopol* 方向ノ搜索ニ任シ二十三日 *Kazanlik* ヨリ其西方巴爾幹山麓ニ沿ヒ前進シ *Kalofel* 附近ニ到リ爾後二十六日頃迄同地附近ニ在リテ搜索ヲ續行ス

二十五日中將グルコハ在 *Staruzagora* 部隊ヲ同地ヨリ退却セシムルコト無ク之ヲ混成騎兵旅團長少將公爵ニコラウス、マキシミアノウィッチ、フョーン、ロイヒテンベルヒニ指揮セシメ躬ラ哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ一中隊ヲ率キテ *Kazanlik* ニ歸著セリ蓋シ中將グルコハ當時既ニ先進兵團ノ根據地

二十五日混成騎兵旅團長ロイヒテンベルヒ *Staruzagora* ノ諸隊ヲ指揮ス

ヲ *Simeghora* 山脈ノ南方ニ移シ以テ「スライマン」軍ノ集合ヲ畢ラサルニ先タチ之ヲ擊破セントノ意アリシカ如シ

二十六日迄ニ中將グルコノ知り得タル敵情左ノ如シ

- 一、二十三日ヨリ二十六日ニ至ル間 *Kalofel* ニ前進シタル中佐スタケルベルヒノ部隊「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ二中隊第五中隊 同第二十六聯隊ノ半中隊ノ報告ニ據レハ *Sipka* 峠ヨリ退却セシ千五百乃至二千ノ敵ハ *Karlovo* ノ東方ニ於テ山ヲ下リ南方ニ退却セシコト確實ナリ
- 二、*Qurpan* ニハ目下約千五百ノ國民軍アリ *Philippopol* ノ敵及 *Sipka* 峠ヨリ退却セシ敵モ亦逐次同地ニ集合スルモノノ如シ
- 三、「スライマン」軍ノ一部ハ *Sejmen* 附近ニ其主力ハ *Adrianopol* ニ集合シ七月月中ニハ其集合完結セサルカ如シ

四、*Novazagora* ニハ歩兵六乃至八大隊及不正規騎兵ノ多數アリシカ二十一日、二十四及二十六ノ三日ニ於テ將官ボレエシアノ施行セシ偵察ノ結

果ニ據レハ同地ニハ目下多數ノ敵兵無キカ如シ

右ノ情況ニ於テ中將グルコハ「スライイマン」軍ノ集合ヲ畢ラサルニ先タチ速ニ進ンテ攻撃セント欲シ二十六日左ノ報告ヲ軍參謀長ニ呈セリ
目下ノ形勢ニ於テ續テ攻勢ヲ採ランカ大ナル効果ヲ得ンコト何人モ疑ハサル所ナリ而モ之カ爲決シテ多大ノ兵力ヲ要セス此機ニ乘セハ「スライイマン」軍ヲ其集合ノ畢ラサルニ先タチ各個ニ擊破スルコトヲ得ヘシ將官ボレエシアノ部隊ヲ小官ノ使用ニ供シ且九斤砲一中隊ノ増加ヲ得ハ七月三十日若シクハ三十一日ニハ「Turk-Semen」附近ニ於テ最モ有望ナル攻撃ヲ企圖スルヲ得ン該地ノ防禦工事ノ悉ク北面セルハ實ニ我軍ノ利益ニシテ小官ハ工事ノ施行セラレサル西側ニ向ヒ攻撃ヲ爲サントス小官ハ此意圖ヲ閣下ニ稟告シ閣下ノ判斷ニ委スルト共ニ此攻撃ノ躊躇遷延ハ却テ自ラ不利ノ結果ニ陥ルモノナルコトヲ切言ス要スルニ目下ノ情況ハ巴爾幹山脈以南ニ在ル全部隊ヲ以テ急速ナル攻撃ヲ爲シ以テ全勝

ヲ收メ得ヘシ躊躇遷延ハ其長キニ隨ヒ愈不利ナル結果ヲ招クヘキコト
燎然火ヲ觀ルカ如クナラン

右ノ計畫ニシテ若シ採用セラレサレハ先進兵團ヲ以テ「Starazagora」ヲ少將ボレエシアノ部隊ヲ以テ「Navazagora」ヲ占領スルコト最モ必要ナリ今先進兵團ニシテ「Zitka」峠ニ退却センカ是レ明ラカニ意氣ノ沮喪ヲ敵ニ示スノミナラス將來多大ノ犠牲ヲ供シ之ヲ再行スルノ時機ニ遭遇セン之ニ反シ「Starazagora」ニシテ我有ニ歸セハ「Morica」河谷ノ全地域ハ我勢力範圍ニ入り永ク敵ノ死命ヲ制シ得ヘク尙兩「Nagora」ニシテ占領セラルルニ至レハ「Sipka」及「Hankioj」ノ兩峠我軍ノ有ニ歸スヘキコト當然ナリ

尙中將グルコハ露軍「Starazagora」ヲ撤退センカ氷炭相容レサル土耳其人、布爾牙利人間ニ爭鬪ヲ生シ「Starazagora」及「Tundza」河谷ニ於ケル諸村落ノ全布爾牙利人ヲシテ悲惨ノ境遇ニ陥ラシムヘキヲ説ケリ

中將グルコハ是日右意見具申ニ對シ軍司令官ノ承認ヲ得且少將ボレエシ

アノ部隊ヲ其指揮ニ屬セシメラレシカ土軍 Plevna ヨリ Lovca ヲ占領セシトノ報告二十七日軍司令官ニ達セシヲ以テ 本卷第一四頁參照 先進兵團ハ同日歩兵第三十六聯隊ニ代リ ウツカ 峠ヲ占領スヘキ命令ヲ受ケ直ニ狙撃歩兵及布爾牙利歩兵各一大隊、山砲二門ヲ同峠ニ差遣セリ此部隊ハ二十八日 ウツカ 峠ニ達シ歩兵第九師團長中將ミルスキー公ノ隸下ニ入り同地ノ守備ニ任セシカ是ヨリ先二十七日 Plevna ヨリ Lovca ニ向ヒタル土軍ハ全力ニ非サルコト判明シ軍訓令ニ基ツキ同日狙撃歩兵大隊及山砲二門ニ召還ヲ命セリ尋テ中將グルコハ二十八日其請求ニ係ル九斤砲一中隊ノ カプロボ ヲ經テ カザンツク Kazanlik ニ差遣セラレタル旨ノ通報ヲ受ク斯クシテ中將グルコノ巴爾幹山南ニ於ケル作戰ハ一時遲滯ヲ生セシト雖モ二十九日ヨリ再ヒ其開始ヲ見ルニ至レリ 以下附圖第十九參照

二十六日ヨリ二十八日迄ニ中將グルコノ得タル諸情報ハ大ニ局面ヲ一變セリ即チ左ノ如シ

二十六日乃
至二十八日
中將グルコ
ノ得タル敵

情

一 Starazagora ノ西南及南方約十里ニハ土軍ノ不正規騎兵徘徊スルノミ
ニシテ部隊ヲ見ス Qirpan ニハ依然 Philippopol ヨリ前進セシ敵兵アリ
二 Haskovo 方面ニ派遣セラレタル騎兵一中隊 參謀大尉チルヤエフ之ヲ指揮シ二十五日 Starazagora 出發二十七日
タラズゴラ Tarazgora ハ カヤジク Kajadzik 附近ニ前進セシモ強大ナル敵ニ壓迫セラレ マリカ Marica 河以南ニ進出スル能ハス又土民ノ言ニ依レハ グジュリ Gjujuri 附近ニハ約千五百ノ土軍屯集シ トルクセメン Turk-Sejmen, カラブナ Karabunar 間ニハ土軍ノ大部隊アルモノノ如シ

三 Karabunar (Turk-Sejmen 北方約三里)ニ派遣セラレタル少佐ツラトフノ偵察隊騎兵約二中队ハ二十八日同地ニ歩兵六乃至七大隊及砲六門竝ニ多數ノ騎兵アルヲ探知シ尙土人ノ言ニ依レハ トルクセメン Turk-Sejmen 停車場附近ニ多數ノ土軍アルモノノ如シ

四 NOVAGORA 方面ニ派遣セラレタル大佐ブエログドルフノ偵察隊騎兵約一中隊半ハ二十七日同地ニ達シ土軍ノ騎兵ト小鬪ヲ交ヘ同處ニハ

步兵約二聯隊、騎兵一三二中隊、砲四門フルコトヲ探知シ尙同市南方 Enfide Kiojニハ他ノ部隊現在セルモノノ如シ

五、Karabunarヨリ來レル布爾牙利人ノ言ニ依レハ二萬ノ兵力ヲ有スル土軍ハ Adrianopol ヲ經テ Karabunar 停車場ニ集中シツツ在リ

二十八日先
進兵團ノ配
置

七月二十八日先進兵團ハ少將ニコラウス、フオン、ロイヒテンベルヒノ指揮ニ屬スル布爾牙利步兵四大隊、龍騎兵第八聯隊、同第九聯隊、驃騎兵第九聯隊、「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ二中隊、「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門、騎砲兵第十六中隊、山砲四門ヲ以テ Gharzagora ニ「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊ヲ以テ Kalofen ニ 中佐スタケルベルヒノ指揮ニ屬セシ「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ二中隊ハ二十六日既ニ Kazanlik ニ歸著セリ
布爾牙利步兵第四大隊ヲ以テ Sipka ニ、先進兵團司令部、狙擊步兵第四旅團、哥薩克步兵二中隊、「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊、同第二十六聯隊ノ二中隊、烏拉爾哥薩克騎兵中隊、「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門、「ドン」哥薩克騎砲兵第十五中隊、山砲十門ヲ以テ Kazanlik ニ位置シ少將ボレエシアノ指揮ス

ル部隊ハ依然 Hankioj ニ在リ

當時「ガブロボ」支隊步兵第三十六聯隊、「ドン」哥薩克騎兵第三十聯隊二中砲兵第九旅團第五中隊、「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門當時ガブロボ支隊ナル名稱ヲ用ユハ Gabrovo 附近ニ駐留シ先進兵團ノ後援タリ

先進兵團司
令官 Novazagora
セントス
ヲ攻撃

同日中將 グルコハ Novazagora ヲ攻撃スルニ決ス其理由ノ大要左ノ如シ
一、兵團刻下ノ任務ハ「スライマン」軍ヲ Sipka, Hankioj 間巴爾幹山脈以南ニ拒止シ以テ軍主力ノ進出時機即チ Plevna ヲ攻撃スル迄時間ノ餘裕ヲ得ルニ在リ之カ爲最モ有効ナル方法ハ進ンテ Novazagora 附近ノ土軍ヲ「スライマン」軍ト合一セサルニ先タチ各個ニ擊破スルニ在リ蓋シ同軍ハ輸送材料其他ノ關係ニ因リ其集中ヲ完結スルニハ今後尙五六日ヲ要スルナラン

二、兵團若シ Novazagora ニ位置スルトキハ Karabunar ヲリ Sipka 峠ニ向フ敵ノ運動ニ對シテ側面ヨリ應シ得ヘク敵若シ四角要塞ニ在ル敵軍ニ

合スルノ企圖ヲ有スルトキハ兵團ハ恰モ其交通線ヲ扼スルヲ得ン若シ失敗スルトキハ Hankioj ニ退却スルヲ得ヘシ

三、兵團 Sipka 峠ニ向ヒ退却スルトキハ「スライマン」軍ノ到著ト共ニ巴爾幹山南ノ地ヲ過早ニ敵ノ有ニ歸セシムルニ過キス

因テ中將「グルコ」ハ同日左ノ要旨ノ命令ヲ下セリ

一、右縱隊 長混成騎兵旅團長少將公爵ニコラウス、フオン、ロイヒテンベルヒ、布爾牙利步兵四大隊、龍騎兵第八聯隊同第九聯隊、驃騎兵第九聯隊、ドン、哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ二中隊、
「ドン」哥薩克騎兵第十中隊ノ二門、騎砲兵第十六中隊、ハ布爾牙利步兵及哥薩克騎兵ノ
隊、山砲四門、計步兵四大隊、騎兵十四中隊、砲十二門
一部ヲ Sarizagora ニ殘置シ主力ヲ以テ二十九日 Dibok トラニ通スル道路ノ北側

附近ニ前進ス可シ

二、中央縱隊 長狙擊步兵第四旅團長ツウエチンスキ、狙擊步兵第四旅團、哥薩克步兵二中隊、
「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ三中隊、同第二十六聯隊ノ二中隊、山砲八門、
「ドン」哥薩克騎兵第十中隊ノ二門、騎砲兵第十五中隊、
ハ Hankioj ニ殘留シテ同地ヲ守備ス可シ
四爾餘ノ諸隊ハ左ノ如ク位置ス可シ

三、左縱隊 長少將ボレエシア、步兵第九師團第一旅團四中隊、
「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊、砲兵第九旅團ノ第四第六中隊、
ハ Hankioj ニ殘留シテ同地ヲ守備ス可シ

ヲ經テ Banja (Yidza) ニ前進ス可シ

步兵第三十四聯隊ノ四中隊及「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ半中隊
ハ Hankioj ニ殘留シテ同地ヲ守備ス可シ

四爾餘ノ諸隊ハ左ノ如ク位置ス可シ
布爾牙利步兵第四大隊ノ一中隊

「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ三中隊

Kazanlik

烏拉爾哥薩克騎兵中隊
山砲二門

Sipka 峠

布爾牙利步兵第四大隊ノ三中隊

Kalofar

「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊

附記 スライマンパシアハ二十五日 Karabunar ニ赴キ二十七日ニ Radne

Manje 停車場ニ於テロイフパシアト會見シ爾後ノ運動ニ關スル命令
ヲ與フ此間軍ノ集中ハ好景況ニシテ二十八日ニハ Karabunar 附近ニ

二十五日ヨ
リ二十九日
ニ至ル「ス
ライマン」
軍ノ情況

歩兵四十一大隊ハ乃至九大隊ヨリ成ル五旅團ニ編成騎兵二中隊砲兵四中隊ヲ
 集結セリ又 *Novazagora* ニハロイフバシアノ麾下ニ歩兵十五大隊六大隊ヨ
 旅團ニ編成シ殘餘ノ三
 大隊ハ旅團ニ編入セス騎兵一中隊不正規騎兵ハ
 尙數多アリ砲兵四中隊存在シ「ロイフバシ
 ニ屢異動アルハ正確ニ知り得サルモ新編
 成又ハ編成換等ノ結果ニ因ルモノナラン*Cirpan* ニハ *Philippopol* ヨリ前進シ來レ
 ルフルシーバシアノ歩兵八大隊一旅團ニ編成ス騎兵若干砲兵一中隊
 アリ此等歩兵諸隊ノ銃器ハ區々ニシテ就中ロイフバシアノ軍隊ニハ
 尙口裝銃ヲ携帯セルモノ四個大隊アリ砲兵彈藥ハ極メテ不足ニシテ
 一門ニ付平均七十發ニ上ラス輜重ノ編成ハ不完全ニシテ到底迅速ナ
 ル作戰行動ヲ爲スニ適セサリキ

スライマンバシアハ三十日 *Starazagora* ヲ攻撃スル目的ヲ以テ二十九日
 左ノ如ク前進ヲ開始セリ

一、フルシーバシアハ歩兵一大隊ヲ *Cirpan* ニ殘シ殘餘ノ歩兵七大隊
 不正規騎兵百五十人及砲兵一中隊ヲ以テ左縱隊ト爲リ *Arbanahle*

ニ向ヒ前進ス

二、中央縱隊歩兵四十一大隊騎兵二中隊不正規騎兵五百人及砲兵四
 中隊四門ハスライマンバシアノ直接指揮ノ下ニ *Karabunar* 附近ヨ
 リ *Zjuputijka* 河畔ニ向ヒ前進ス

三、ロイフバシアハ *Novazagora* ニ歩兵三大隊砲二門及不正規騎兵若
 干ヲ殘置シ殘餘歩兵十二大隊騎兵一中隊不正規騎兵六百人及砲
 兵四中隊四門ヲ以テ右縱隊ト爲リ *Arabadzijevo* 東南方約四里ニ前進ス

在 *Starazagora* ノ右縱隊長少將ニコラウス、フォン、ロイヒテンベルヒハ中將ダ
 ルコノ二十九日ニ關スル命令到著ニ先タチ二十八日大佐ブエログドルフ
 ノ率キル龍騎兵第九聯隊ノ二中隊ヲ *Novazagora* 方向ニ又少佐カレイエイ
 エフノ率キル驃騎兵一中隊ヲ南方 *Karabunar* 方向ニ派遣シ各當面ノ敵情ヲ
 搜索セシメ二十九日午前四時中將ダグルコヨリ前命令ヲ受領スルヤ大佐ブ
 エログドルフニ更ニ *Dibok-Ehovo* 道竝ニ *Cerkovo-Balabanli* 道ノ偵察ヲ命セ

二十九日
 ラブナル
 近ノ戰團
 附
 (附圖第一
 十参照)

リ乃チ大佐ブエログドルフハ龍騎兵第九聯隊ノ二中隊ヲ率キテ未明 Starazagora 出發 Novazagora ニ向フ

右縱隊ノ主力ハ布爾牙利歩兵三大隊半「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊、山砲四門ヲ以テ正午十二時又騎兵ノ主力 龍騎兵第八聯隊同第九聯隊「二中隊」騎砲兵第十中隊ノ二中隊ヲ以テ午後二時半 Starazagora ヲ出發セリ而シテ Starazagora ニハ布爾牙利歩兵二中隊「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊ヲ殘シ Orpan 及南方 Tynovo 方向ニ對シテ左縱隊ノ背後ヲ掩護セシム

大佐ブエログドルフハ Starazagora-Novazagora 街道上 Diboki ト齊頭面ノ地ニ到リ三組ノ將校斥候ヲ Novazagora ニ派遣シ半中隊ヲ後援トシテ Karabunar 迄之ニ跟随セシメ自ラ殘餘ヲ率キテ街道ノ北方 Orehovica ニ通スル山脚ヲ前進シ午後一時頃四乃至五中隊ノ土軍騎兵 Novazagora ヨリ西方 Karabunar ニ向ヒ前進中ナリトノ斥候ノ報告ニ接シ Cerkovo ニ急進シ直ニ部下兩中隊ヲ徒歩セシメ前進シ來レル土軍ヲ拒止ス幾モ無ク敵ノ歩兵展開シテ右

側ニ迫リシヲ以テ森林地ニ掩蔽シテ逐次兩中隊ヲ退却セシメシカ適本隊ノ騎兵一中隊來リ會セシヲ以テ更ニ前進シテ Orehovica 附近ヲ占領シ本隊ノ進出ヲ待テリ

右縱隊長少將公爵ニコラウス、フォン、ロイヒテンベルヒハ午後二時半頃 Starazagora ノ東方 Karabunar ニ向ヒ前進中大佐ブエログドルフヨリ騎兵及砲兵ヲ有スル歩兵二乃至三大隊 Starazagora ニ向ヒ前進中ナリトノ報告ニ接シ歩兵ノ後方ニ在ル龍騎兵第八聯隊騎砲兵第十六中隊ノ二門ニ急進ヲ命セリ 行軍序列等ヲ明ラカニセス故ニ以下 該聯隊ハ歩兵部隊ヲ追越シ Karabunar ノ西方ニ於テ土軍ト會シ其騎砲二門ハ直ニ砲火ヲ開ク此間土軍逐次増加シテ Karabunar 村縁ニ展開シ其砲五乃至八門モ亦射撃ヲ開始ス暫クシテ布爾牙利歩兵諸大隊及騎砲兵第十六中隊二門欠ハ増加ノ命令ヲ受ケテ戰線ノ南方ニ出テ微弱ナル土軍ヲ驅逐シテ前進ヲ續行セシモ忽チ優勢ナル敵ニ會シ前進スルヲ得ス爾後戰鬪ハ日沒頃迄續キシモ勝敗決セスシテ兩軍交綏

シ是夜露軍ハ Diboiki 附近ニ宿營ス露軍ノ損害死傷者十四名馬三頭トス

附記 土軍 ロイフパシアハ是日歩兵三大隊不正規騎兵若干及砲二門ヲ

Novazagora ノ守備ニ留メ歩兵十二大隊騎兵一中隊砲二十四門ヲ率キ

午前十時 Novazagora ヲ出發シ Novazagora-Starazagora 道ヲ西進シ

Arabadzijevo ニ前進スヘキ管ナルニ如何ニシ Karabunar 附近ニ於テ敵ト遭遇シ是

夜同地附近ニ宿營ス

右縦隊長少將公爵ニコラウス、フォン、ロイヒテンベルヒハ是日比較的強大

ナル敵ニ遭遇シタルニ一驚ヲ喫セシモ明三十日ニ至レハ中將グルコ Novazagora

ヲ攻撃スルニ因リ情況有利ニ至ルヘキヲ信セリ然ルニ同夜一時迄

ニ少將ニコラウス、フォン、ロイヒテンベルヒノ許ニ重大ナル情報到著セリ

即チ左ノ如シ

午後六時 Glin. Kadjevo 發少佐カルイェイェフ 南方 Karabunar 方向ノ搜索ニノ第一

報ニ依レハ「驃騎兵中隊ハ土軍ノ砲火ヲ蒙リ 其位置不明ナルモ Arabadzijevo, Karabunar

(Trk-Sejmen) 北方約三哩間ナルカ如シ

且土軍騎兵ノ追撃ヲ受ケツツ Starazagora ニ向ヒ退却セリ而シテ土軍騎

兵ノ後方ニハ歩兵約三大隊ヲ認ム又午後八時十五分 Starazagora 發第二

報ニ依レハ「該中隊ハ Starazagora ニ退却シ敵ノ砲兵ハ Arabadzijevo ニ達シ

其騎兵ハ Kadjevo 附近ヲ徘徊ス」ト

Starazagora 守備隊長ノ報告ニ依レハ「Murati 南方三吉米 ニ向ヒ優勢ナル敵

兵前進中ニシテ守備隊ハ應援ヲ要スルコト切ナリ」ト 時刻地 等明

大佐ブレログドルフノ報告ニ依レハ「Diboiki 東方ノ 東方ノ

北方ニ通スル道路ハ險惡ニシテ殆ト車輛ヲ通セス又 Cerkovo 東方ノ

ニ通スル道路ハ敵ニ妨ケラレテ偵察ヲ爲ス能ハス且中將グルコノ本縦

隊ニ未タ連絡ヲ通スル能ハス」ト

右縦隊長少將ニコラウス、フォン、ロイヒテンベルヒハ前述ノ情況ト Starazagora

ゴラニ在ル布爾牙利人ノ救援必要ナルトニ省ミ直ニ Starazagora ニ向ヒ退

却スルニ決ス乃チ布爾牙利歩兵三大隊半、驃騎兵一中隊、山砲中隊及「ドン」哥

薩克騎砲兵第十中隊ノ二門ハ三十日午前四時 Diliboz 附近ノ露營地ヲ發シ退却ニ就クヘク殘餘ノ騎兵全部及騎砲兵第十六中隊ヲ龍騎兵旅團長大佐公爵オイゲン、マキシミリアノウイツチ、フォン、ロイヒテンベルヒノ指揮ニ屬シ前面ノ敵情ニ應シ適宜進退スヘク且明日中將グルコ山地ヲ進出スル場合ニハ爲シ得レハ之ヲ援助スヘク命令セリ

是日露軍ノ他ノ縱隊ハ豫定ノ部署ニ基ツキ前進シ中央縱隊ハ Canakoi ニ左縱隊ハ Banja ニ到著シ先進兵團司令部ハ Jelhovo ニ達シ各其地點ニ宿營ス

中將グルコハ是夜右縱隊ニ情況ヲ通報スヘク要求セシモ同縱隊ノ情況ハ遂ニ知ルヲ得ス

翌三十日中將グルコハ NOVYAZAGORA ヲ攻撃セントシ之ニ關スル命令ヲ下セリ其大要左ノ如シ 中將グルコハ既ニ二十八日 Kazanik 於テ本命令ヲ起草セリ

一、右縱隊ハ三十日午前四時半出發 NOVYAZAGORA ニ通スル街道ヲ前進シ其騎

兵ハ前衛ニ屬スルモノヲ除キ後命アル迄歩兵ノ右側後ニ行進セシム

可シ 中將グルコハ右縱隊ト中央縱隊トハ STANISLAVA 山脈ニ因リテ分離セラレ聯絡困難ナルハ三十日夕迄全ク連絡絶ヘシヲ以テナリ(後文三十日發少將ニコラウス、フォン、ロイヒテンベルヒノ報告參照)

- 一、中央縱隊ハ三十日午前三時半 Canakoi 附近ヲ出發シ Avijene ニ前進シ右縱隊ト連絡ス可シ
- 二、左縱隊ハ三十日午前四時半 Banja ヲ發シ Korten ニ前進シ中央縱隊ニ連絡ス可シ
- 三、全輜重ハ各其露營地ニ殘置ス可シ
- 四、予ハ舊ノ如ク中央縱隊ニ在リ

附記 二十九日スライマンパシアノ指揮スル中央縱隊ハ輜重編成ノ遷延ニ伴ナヒ午前十一時 Karadunar 停車場附近ヲ出發セシモ其後ノ行動亦著シク緩慢ニシテ夕刻其先頭ヲ以テ纜カニ Arbadzijevo ニ達シタルニ過キスフルシーパシアノ左縱隊モ豫定ノ如ク行進ヲ始メシカ豫定

目標タル *Arbmanale* ニ達スル能ハスシテ其以南ニ停止セリ是日土軍ニ於テモロイフパシアトスライマンパシアトハ連絡絶エ相互ノ情況全ク不明ナリ

其二 三十日ノ情況

三十日午前四時布爾牙利步兵三大隊半、驃騎兵一中隊、山砲一中隊(四門)及「ド」
ン「哥薩克騎砲兵第十中隊」ノ二門ハ前記ノ部署ニ基ツキ *Diboki* 出發 *Starazagora*
ニ向ヒ退却ヲ始ム

同日拂曉龍騎兵旅團長大佐オイゲン、フオン、ロイヒテンベルヒハ龍騎兵第八第九聯隊、驃騎兵第九聯隊ノ三中隊「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊、騎砲兵第十六中隊ヲ指揮シテ *Diboki* 附近ニ殘留シ其前面ニ土軍不正規騎兵ノ歩哨相聯ナリテ位置セシヲ見シモ敵兵夜暗ニ乘シ *Novazagora* ニ退却セシモノト臆測シ午前五時三十分搜索ノ爲龍騎兵第九聯隊附大佐「グエロ」グドルフノ指揮下ニ先同聯隊ノ二中隊及砲二門ヲ遣ハシ續テ殘餘ノ主力

右縱隊ノ行
動(附圖第
二十一參
照)

ヲ以テ前進ヲ始メタリ大佐「グエロ」グドルフノ騎兵ハ *Cavlakoj* 附近ニ達シ
Karabunar ト *Bajashi* ノ間ニ在ル土軍ノ砲撃ヲ受ケ敵兵依然昨日ノ陣地ニ現
在セルコトヲ確認シ幾モ無ク土軍ハ *Karabunar* ヨリ西南ニ向ヒ前進シ其
歩兵ハ漸次戦闘展開ニ移ラントスルヲ知リ ロイフパシアハ是日午前七時頃 *Karabunar*
附近ノ陣地ヲ發シ先 *Cavlakoj* ニ前進セリ
大佐「グエロ」グドルフハ露軍ノ右翼警戒ニ任シ在リシ「ドン」哥薩克騎兵一中
隊同第二十六聯隊ヲ招致シ敵ノ左翼ヲ迂回セント試ミ騎砲二門ヲ以テ砲火ヲ
開始シ土軍砲兵(十二門)之ニ應射ス然ルニ土軍ハ午前十一時頃全ク前進運
動ヲ中止シ 此頃露軍中央縱隊ハ *Novazagora* ニ向ヒ攻撃ヲ開始シロイフパシア
軍ノ後方ニ砲聲起レリ故ニ一時前進ヲ躊躇セシモノナラン 午後一時頃ニ
至リ再ヒ活氣ヲ呈シ其左翼ハ著シク増援ヲ得漸次大佐「グエロ」グドルフノ
騎兵ヲ包圍セントシ *Karabunar*, *Starazagora* 街道方面ニ於テモ亦其不正規騎
兵ハ逐次露軍ノ騎兵ヲ西方ニ壓迫セリ
是ヨリ先 *Starazagora* ニ向ヒ退却セシ右縱隊長少將ニコラウス、フオン、ロイ
ヒテンベルヒハ曩ニ *Diboki* 附近ヨリ退却セシ布爾牙利步兵三大隊半、驃騎

兵一中隊、山砲四門、騎砲兵第十中隊ノ二門ト共ニ Ajdanli 附近ニ達シ休憩中ナリシカ南方ノ搜索ニ從事セシ騎兵ヨリ Arabadzijevo 附近ノ敵ハ南方ニ退却セシトノ報告ニ接シ スタラザゴラ Starazagora 附近ニ向フ退却ヲ止メ午前十時頃反轉シテロイフパシアノ軍ニ向ヒ前進セシモ時機後レ露軍騎兵ハ既ニ土軍ノ壓迫ヲ受ケテ退却中ナリシヲ以テ右縱隊長少將ニコラウス、フォン、ロイヒテンベルヒハ一部ヲ以テ之ヲ收容シ全力ヲ スタラザゴラ Starazagora 附近ニ向ヒ退却セシムルニ決シ午後四時中將グルコニ左ノ報告ヲ呈セリ

敵ハ著シク優勢ニシテ且遠達ノ砲ヲ有ス斯カル優勢ノ敵ニ對シ我軍ノ人馬ハ全ク疲勞シ彈藥モ亦盡キントス且予ハ最モ主要ナル中央縱隊ノ所在ニ就キ何等知ル所無ク僅カニ東方ニ於テ二三ノ砲聲ヲ聞クノミ故ニ予ハ敵ヲ攻撃スルコト無ク スタラザゴラ Starazagora ノ陣地ニ退却セントス目下前面ニ在ル敵ハ歩兵八乃至十大隊、騎兵六七中隊、砲十二門ナリ右縱隊ノ諸隊ハ右ノ決心ニ基ツキ夕刻先 Ajdanli 附近ニ退キ同地ニ停止ス

是夜右縱隊長少將ニコラウス、フォン、ロイヒテンベルヒハ Arabadzijevo 附近ニハ更ニ南方ヨリ土軍ノ大部隊到着シ ノズキヨラ Nozkiyora ハ我軍ノ有ニ歸シ又中將グルコハ翌三十一日 スタラザゴラ Starazagora 附近ニ向ヒ前進スルコトヲ知り更ニ スタラザゴラ Starazagora ヲ固守スルノ意ヲ堅クシ直ニ布爾牙利歩兵第二五大隊(二中隊欠)山砲四門[ドン]哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊ヲ Ajdanli ヨリ スタラザゴラ Starazagora 附近ニ移シ殘餘(布爾牙利歩兵二大隊、龍騎兵第八第九聯隊、驃騎兵第九聯隊)[ドン]哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門、騎砲兵第十六中隊)ハ依然 Ajdanli 附近ニ位置セリ カラボナ Karabona 方向ノ搜索ニ任シ二十九日出發シタル驃騎兵第九聯隊ノ一中隊ハ同 スタラザゴラ Starazagora 附近ニ退キシモ是日原聯隊ニ復歸セシモノノ如シ

附記 三十日ロイフパシアハ Cavlakoj 附近ノ戰鬪後退却スル露軍ヲ追撃シ ディラン Dirlan 附近ニ達シ宿營ス

同日スライマンパシアハ前日ノ如ク極メテ緩慢ナル行軍ヲ爲シ午後三時半頃漸ク Arabadzijevo 附近ニ達シ其先頭部隊ハ直ニ スチタリカ Stjutiljika 河ヲ渡過シ其北方ニ前哨ヲ配置セリスライマンパシアハ行進間北方ニ於テ砲

聲ヲ聞キシモロイフパシアノ右縱隊ハ NOVAGORA ヨリ西南ニ向ヒ行進セルモノト思惟セシカ故ニ其砲聲ヲ甚タ奇怪ニ感セシカ單ニ斥候ヲ派遣セシノミ然ルニ斥候ハ途中露軍ノ騎兵ニ衝突シ何等ノ情報ヲ得スシテ空シク歸來セリスライマンパシアトロイフパシアトノ連絡ハ是日ノミナラス三十一日モ亦互ニ相通シ得サリシモノノ如シ近距離ニ在ル兩縱隊互ニ友軍ノ情況ヲ相知ラサリシハ甚タ不可思議ノ現象ナルモ其一原因ハ兩縱隊長個人的不和ニ在リ初メスライマンパシアノ巴爾幹軍司令官ニ任セララルヤロイフパシアハ其敵視スル人ノ令下ニ立ツヲ憤リメヘメツトアリニ請フテ布爾牙利東軍ニ於ケル一司令官ノ職ヲ得シモスライマンパシアハ未タ地形ヲ熟知セサル爲ロイフパシアノ補助ヲ必要トシ目下實施中ノ作戰結了マテ其交迭ヲ延期セシメタリ故ニロイフパシアハ常ニ反抗ヲ事トシ兩パシアノ協同動作カ全ク誠意ヲ缺キタルコトノ偶然ナラサルヲ理解シ得ヘシ

露軍ノ左縱隊ハ前進命令ニ基ツキテ三十日早朝 Danica ヲ出發ス步兵第三十三聯隊第二大隊先頭ト爲リ次ニ砲兵第四第六中隊步兵第三十三聯隊第一第三大隊及步兵第三十四聯隊四中隊欠續行ス

附記 三十日ロイフパシアノ Sarazagora ニ向ヒ進發スルニ當リ NOVAGORA

ノムザゴラ
NOVAGORA
附近ノ戰闘
(附圖第二十
二參照)

守備ノ爲ニ殘置セシメラレタル步兵三大隊不正規騎兵六百及砲二門ハ市ノ南方鐵道線路附近ニ構築セル陣地ヲ占領セリ此陣地ハ多角形經始ノ野戰築城ヨリ成リ胸墻ニハ總ヘテ銃眼ヲ設ケ本陣地ノ後方五十乃至七十歩ノ地ニ數多ノ小掩體アリテ第二ノ防禦線ニ使用スルヲ得ヘク陣地ノ兩翼ニハ鐵道堤アリテ自然ニ掩體ヲ形成セリ

午前八時半頃左縱隊ハ Korten ニ達ス是時未タ土軍ノ NOVAGORA 南方ニ陣地ヲ占領シ在ルヲ知ラス步兵第三十三聯隊砲兵二中隊ヲ第一線トシ步兵第三十四聯隊四中隊欠ヲ第二線トシ騎兵半中隊ヲ左側ノ警戒ニ任シ NOVAGORA ニ向ヒテ前進シ午前九時頃左縱隊ハ NOVAGORA ノ北方約二吉米ニ於テ始メテ NOVAGORA ノ村緣ニ敵ノ騎兵ヲ見次テ其砲二門ヨリ射撃ヲ受ケタリ左縱隊ハ直ニ此敵ヲ攻撃セント欲シ當時尙敵情及中央縱隊ノ情況ヲ知ラサリシモノノ如シ先砲兵二中隊ヲシテ敵砲兵ニ向ヒ應射セシム露軍砲兵ノ射撃ヲ開始スルヤ村緣ノ土軍ハ忽チ陣地ヲ撤退シ南方ニ隱匿セリ暫クニシテ露軍左縱隊長ハ土軍

ノ同村南方停車場附近ニ陣地ヲ占領セルコトヲ知り之ニ向ヒ諸隊ニ攻撃ヲ命セリ乃チ歩兵第三十三聯隊第一第三大隊ハ NOVAGORA ニ向ヒ直進シ同第二大隊及砲兵二中隊ハ同地ノ東方ニ迂回シ其砲兵ハ初メ千七百米突ノ距離ヲ以テ射撃シ在リシカ東北方ヨリ停車場附近ニ向ヒ逐次躍進シ NOVAGORA ノ東方敵陣地ヲ距ル約千米突以内ニ前進シ停車場建築物及車輛ヲ破壊シ且掩蔽物ニ據ル敵兵ノ制壓ニ勉ム此間歩兵モ敵ニ向ヒテ前進シ午前十一時頃 NOVAGORA ノ南端ニ進出セシ歩兵第三十三聯隊第一第三大隊ハ其右翼ニ歩兵第三十四聯隊第一大隊ノ増加ヲ得テ三大隊ト爲リ歩兵第三十三聯隊第二大隊ハ砲兵陣地ノ東南方ヨリ土軍陣地ノ右翼ニ向ヒ歩兵第三十四聯隊第二大隊ハ豫備隊ト爲リ NOVAGORA 北端ニ位置セリ撤兵第三中隊モ同此頃左縱隊ハ中將グルコヨリ狙撃歩兵第四旅團ノ到著スル處ニ在リシナラン迄戰鬪ヲ中止スヘキ命令ニ接シ諸隊ヲシテ現在ノ線ニ停止セシム

中央縱隊ハ三十日 CANIKI 出發ニ際シ先大佐グルナコフノ率ユル「ドン哥」

薩克騎兵第二十一聯隊ノ三中隊及同第二十六聯隊ノ一中隊ヲ NOVAGORA ニ向ヒ派遣ス同隊ハ味爽 CANIKI ヲ發シ AVIJENE ニ達シ騎兵一小隊ヲ左縱隊ニ遣ハシ之ト連絡ヲ求メシメ爾餘ハ依然行進ヲ繼續シテ NOVAGORA ニ向ヒ前進シ同地附近ニ在リテ狙撃歩兵第四旅團ノ進出ヲ待テリ

狙撃歩兵第四旅團第十三大隊欠 同大隊ハ輜重ノ掩護ニ任シ CANIKI ニ殘留セリ

大隊グルナコフノ部隊ニ繼進シ午前八時頃 AVIJENE ニ達シ同地ニ休憩セリ中將グルコフハ之ト同行シ諸報告ニ據リ NOVAGORA ニ在ル敵ハ同地南方停車場附近ニ本陣地ヲ占領セルヲ知リ又右縱隊ハ Karahunar 附近ニ於テ土軍ノ拒止スル所ト爲リ NOVAGORA 附近ノ戰鬪ニ參加シ得サルヘキヲ豫想シ狙撃歩兵第四旅團第十三大隊欠及騎砲兵「ドン哥」薩克騎砲兵第十五中隊ヲシテ市ノ西方ヨリ攻撃セシメ同時ニ大佐グルナコフヲシテ騎兵一中隊ヲ Karahunar 方向ニ派遣シ右縱隊ノ情況ヲ偵察セシム是ニ於テ午前九時頃狙撃歩兵第四旅團及騎砲兵ハ AVIJENE ヨリ前進ヲ始メ左縱隊ノ右翼ニ連ナリ第十四第十六大隊ヲ

第一線トシテ展開シ第十五大隊豫備隊ト爲リ其後方ニ位置シ「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門ハ第十六大隊ノ展開正面ニ陣地ヲ占領シ同騎砲兵第十五中隊ハ第十四大隊ノ一中隊ノ掩護ヲ受ケ停車場ノ西方ニ於テ同地附近ノ敵ヲ縱射シ得ヘキ陣地ヲ占領シ左縱隊ト共ニ殆ト土軍ヲ包圍セリ此頃ニ至リ中將「グルコ」ハ右縱隊ノ今尙「Karabunar」附近ニ於テ戰鬪中ナルヲ知リ「Novazagora」占領後ハ狙撃兵第四旅團ト哥薩克騎兵一中隊ヲ殘シ殘餘ヲ以テ可成速ニ「Karabunar」方向ニ前進シ敵ノ背後ヲ攻撃セント決心シ其意ヲ左縱隊ニ通報シ次テ午前十一時三十分頃左縱隊長及狙撃兵第四旅團長ニ直ニ攻撃前進ヲ始ム可キヲ命令セリ

山砲八門ハ「Novazagora」附近ノ戰鬪ニ參與セシ察スルニ「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊ノ護衛ヲ以テ「Hankov」ニ向ヒ退却セシメタルカ如シ又哥薩克歩兵二中隊ノ是日ニ於ケル所在不明ナリ

是ニ於テ正午十二時頃露軍ハ決戰的攻撃ヲ開始シ遂ニ土軍ヲ東南及南方ニ擊退ス是ヨリ先「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ一中隊指揮官中尉「ロゼン」ハ遠ク敵ノ背後ヲ迂回シテ「Korodzi」ニ達シ東方ヨリ敵ノ退却部隊ヲ

襲撃シ中佐「スタケルベルヒ」ノ騎兵五小隊モ亦之ニ應援ス土軍ハ隊伍全ク潰亂シ南方「Karabunar」停車場ノ方向ニ遁走セリ

午後二時中將「グルコ」ハ諸隊敵陣地ヲ占領スルヤ否ヤ直ニ左縱隊長及大佐「グルナコフ」ニ「Starazagora」ニ通スル大街道ヲ「Karabunar」ニ前進ス可ク又殘餘ノ諸隊ヲ「Avijene」附近ニ集合スヘキ命令ヲ發セリ然ルニ少將「ボレエシア」ノ旅團ハ疲勞其極ニ達シ歩兵第三十三聯隊ノ第一第三大隊ハ「Jurlemis」ニ又同聯隊ノ第二大隊ハ追撃ヲ續行シテ其以南ニ前進シ砲兵第四中隊ノ二門モ亦追撃ニ參加セシヲ以テ部隊ノ集結ニ長時間ヲ要シ「Karabunar」ニ到著セシハ午後十時乃至十一時ナリ又是ヨリ先大佐「グルナコフ」ノ率キル「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ三中隊同第二十六聯隊ノ一中隊及同騎砲兵第十五中隊ノ二門ハ午後五時「Karabunar」ヲ經テ西方ニ前進セシモ途中馬匹疲勞シ日没ト爲リ「Diboki」附近ニ停止シ其斥候ハ右縱隊ノ龍騎兵ニ遭遇シ「Starazagora」カ是日尙露軍ノ手中ニ在ルコトヲ知ルヲ得タリ「Novazagora」ノ戰

鬪ニ於テ露軍ハ死傷百六十名ヲ生シ土軍ハ砲二門ヲ鹵獲セラレ其損害モ頗ル大ナルカ如ク中將グルコノ報告ニ據レハ土軍陣地内及退却線上ニ遺棄セラレタル屍體優ニ八百ヲ算セリト云フ

斯クテ三十日夜先進兵團ハ少將ニコラウス、フイン、ロイヒテンベルヒノ指揮スル部隊ノ内布爾牙利步兵二大隊「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ二中隊、山砲四門ヲ以テ「TARAZAGORA」ヲ守備シ布爾牙利步兵二大隊、龍騎兵第八第九聯隊、驃騎兵第九聯隊「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門、騎砲兵第十六中隊ヲ以テ「Aylanti」附近ニ於テ東方ニ向ヒ土軍ト相對シ「NOVIZAGORA」附近ノ戰鬪ニ從事セル舊中央及左縱隊ノ内大佐グルナコフノ指揮スル「ドン」哥薩克騎兵第二十一聯隊ノ三中隊同第二十六聯隊ノ一中隊、同騎砲兵第十五中隊ノ二門ヲ以テ「IHOZNI」ニ少將ボレエシアノ指揮スル步兵第九師團第一旅團「四中隊」欠「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊、砲兵第九旅團第四第六中隊ヲ以テ「Karabunar」ニ狙撃步兵第四旅團哥薩克步兵二中隊騎砲六門ヲ以

テ「Avijene」ニ宿營セリ

是日中將グルコハ右縱隊長ヨリ何等ノ報告ニ接セスト雖モ二十九、三十日「Karabunar」附近ニ於ケル兩軍ノ衝突及「TARAZAGORA」今尙露軍ノ手裡ニ在ルコトヲ知レリ然レトモスライマンパシアカ全兵力ヲ以テ前進シタルコトニ就テハ絶エテ聞知スルコト無ク又縱隊ニ對セシ土軍ハ「Dzurani」附近ニ在リ其兵力未詳ナリト雖モ「NOVIZAGORA」附近ニ在リシモノノ一部ナリト想像シ翌日此敵ヲ東西兩方面ヨリ攻撃スルニ決セリ夜ニ入り「Sjuntjike」河迄敵ノ隻影ヲ見ストノ報告ニ接シ益前面ノ敵ヲ孤立ノモノト思ヒ前決心ヲ堅メ翌日ノ爲步兵第九師團第一旅團ハ午前六時「Karabunar」ヲ狙撃步兵第四旅團ハ午前五時半「Avijene」ヲ出發シ「NOVIZAGORA-TARAZAGORA」道ヲ「Dzurani」方向ニ前進スヘク命令セリ

附記 三十日夜土軍ハフルシーバシアノ左縱隊ヲ以テ「Chupan」街道上「Arbamale」附近不明ニ中央縱隊ハ「Kadjevo, Arabadzjevo」附近ニ其右縱隊ハ

Dzurani 附近ニ宿營ススライマンパシアハ同日右縦隊ノ一部 Novazagora 附近ヨリ撃退セラレタルヲ知リシモ前決心ニ基ツキ三十一日 Starazagora ヲ攻撃スルニ決シ所要ノ部署ヲ定ム

斯クテ三十一日露土兩軍ハ Dzurani, Starazagora ニ於テ相衝突スルニ至レリ

其三 三十一日ノ情況

中將グルコノ直接指揮セル諸隊ハ三十一日各命令ニ基ツキ前進ヲ始メタリ即チドン哥薩克騎兵第二十一聯隊長大佐グルナコフノ率キル騎兵四隊ハ早朝 Diboliz ヲ出發シテ大街道ヲ前進シ午前七時 Dzurani 東北方約一里本街道上附近ニ達シ大街道ノ南方 Dzurani 東北方林縁附近ニ在ル土軍砲兵ノ射撃ヲ受ク是時ヨリ土軍ノ歩兵ハ逐次 Dzurani 東北方森林ノ東縁ニ展開シ尋テ射撃ヲ開始ス之カ爲露軍ノ騎兵ハ現在地附近ニ止リ之ト相對シテ本隊ノ到着ヲ待テリ

附記 三十一日 Dzurani 附近ニ在リシロイフパシアノ縦隊ハ Starazagora

Dzurani 附近ノ戰鬥(附圖第二十三参照)

ニ向ヒ前進セントシ午前六時既ニ出發準備ヲ畢リシモスライマンパシアヘ派遣セシ副官ノ報告ヲ待チシ爲出發後レ午前七時頃其先頭ハ Dzurani ノ森林ヨリ進出セリ時ニ後方及北方ヨリ露軍ノ騎兵現出セシニ因リロイフパシアハ本隊ニ在リシ砲兵一中隊ヲ以テ先之ニ向ヒ射撃ヲ開始セシメ次テ諸隊ヲシテ Starazagora ニ向フ前進ヲ止メ東方ニ向ヒ展開セシム土軍ノ占領セシ陣地ハ Dzurani ノ東北方ニ在ル森林ノ東端ニシテ前地ハ平坦ナレトモ丈高キ小麥及玉蜀黍繁茂シ加フルニ小森林處々ニ散在シ概シテ隱蔽地ヲ成形セリ

少將ボレエシアノ指揮スル部隊ハ三十一日豫定ノ如ク前進ヲ始メ狙撃歩兵第四旅團ハ Avijene ヲ出發シ遠ク其後方ニ跟隨ス中將グルコハ行進中土軍ノ Dzurani 附近ニ陣地ヲ占領セルヲ知リ馬ヲ驅リテ歩兵第九師團第一旅團ニ追及シ同旅團長ニ行進途上ニ於テ其旅團ハ街道ヨリ左折シ Samli 西北方約二吉米半ノ小林ヲ經由シタル後戰鬥隊形ヲ取り Dzurani 東方小

林及其北方地區ニ向ヒ攻撃スヘキヲ命セリ少將ボレエシアハ中將グルコ
 ノ命令ニ接スルヤ直ニ街道ヨリ南方ニ移リ諸隊ヲ前記 クシムヤ クシムヤ ノ西北方三
 吉米ノ小林ノ東側ニ開進シ 午前八時半乃至九時頃ナラン 步兵第三十四聯隊第九第十第十
 一第十二中隊欠 第九乃至第十二中隊ハ Hanko (ハインキョウ) ヲ第一線トシテ步兵第三十三聯隊
 及第三十四聯隊ノ第八中隊ヲ第二線トシ カトラン カトラン 東方森林及其北方林間
 ノ空地ニ向ヒ展開シ幾モ無ク步兵第三十三聯隊ノ二大隊ヲ第一線ニ増加
 ス乃チ同第三大隊ハ其最右翼ニ同第一大隊ハ第一線ノ最左翼ニ延伸増加
 ヲ爲ス此間砲兵第四中隊ハ步兵第三十四聯隊撤兵第三中隊ノ左方ニ陣地
 ヲ占領ス次テ 此間約三十分 步兵第三十四聯隊第八中隊砲兵第六中隊モ其南方ニ
 進出シテ戦闘ニ加入シ步兵第三十三聯隊第二大隊ハ中央後ニ在リテ豫備
 隊ト爲レリ露軍ノ攻撃地區ニハ玉蜀黍及叢林アリ各部隊ノ連繫ヲ妨ケ且
 殆ト敵陣地ヲ遮蔽セリ然ルニ土軍ノ小部隊ハ巧ニ遮蔽ヲ利用シ處々ニ出
 没セシヲ以テ森林内戦闘ノ情況ヲ呈シ前進頗ル困難ナリ殊ニ砲兵ハ隱蔽

地ニ於テ敵ノ小部隊ノ脅威ヲ受ケツツ屢陣地ヲ變換セサルヘカラサリキ
 砲兵第四中隊ハ數回陣地變換ノ後土軍ノ陣地前千五百米突ノ位置ニ達シ土軍ノ砲兵及林縁ニ據ル
 歩兵ヲ射撃シ得ヘキ陣地ヲ索メ砲兵第六中隊ハ初メ約千五百米突ノ距離ニ於テ間接射撃ヲ以テ土
 軍砲兵竝ニ林縁附近ノ歩兵ニ向ヒ射撃セシモ其效果ヲ認ムル能ハス其半中隊ハ約千五百米突附近ニ近
 進シテ辛ウシテ射撃ヲ開キシカ尙他ノ半部ハ更ニ前進セサレハ良好ナル射撃ヲ爲シ能ハサリキ
 情況此ノ如クナリシヲ以テ諸隊ノ連繫及秩序モ十分整齊ナル能ハサリシ
 ヤ明ラカナリ此時ニ當リ土軍猛烈ニ射撃ヲ始メ有力ナル歩兵ハ林縁ヲ離
 レテ砲兵第四中隊ニ向ヒ攻撃シ來レリ歩兵第三十四聯隊ノ一部及撤兵第
 三中隊ハ孤立挺進シ在リシヲ以テ其攻撃ヲ受ケ一時危殆ニ瀕セシカ幾モ
 無ク隣接歩兵ノ來援ニ依リ土軍ヲ林縁ニ擊退セリ
 中將グルコハ是ヨリ先右縱隊カ敵ノ背後ニ出ツヘキヲ期待シ狙撃歩兵第
 四旅團ヲ以テ全ク土軍ノ右翼ヲ包圍セント欲シ少將ボレエシアニ一時戰
 鬪ヲ持久ス可ク命セシカ大佐グルナコフノ戦闘ヲ開始セシヨリ既ニ約二
 時間ヲ經過セシニモ拘ラス未タ右縱隊ノ進出スヘキ情況毫モ見ヘサルヲ
 以テ中將ハ右縱隊ニ對シ他ニ土軍ノ一部隊アルモノト判斷シ猶豫スルコ

ト無ク前面ノ敵兵ヲ擊退シテ *Starazagora* ニ向ヒ右縦隊ヲ救援スルニ決シ
狙撃歩兵第四旅團ニ速ニ土軍ノ左翼ヲ攻撃スヘク又同旅團ニ屬セシ騎砲
兵第十五中隊ニ迅速ナル歩度ヲ以テ街道ヲ疾驅シ歩兵第九師團第一旅團
ノ右翼ニ放列ヲ布置スヘキヲ命令ス時ニ午前九時過キニシテ中將グルコ
ハ *Starazagora* 方向ニ砲烟ノ揚カルヲ目撃セリ

狙撃歩兵第四旅團ハ三十一日午前五時 *Aviljane* 出發狙撃兵第十四大隊ヲ
前衛トシ同第十五大隊「ドン」哥薩克騎砲兵第十五中隊「二門」欠、狙撃兵第十三
大隊「ドン」哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門、狙撃兵第十六大隊ノ二中隊、哥薩克
歩兵二中隊ノ順序 第十六大隊ノ二中隊ハ輻重ノ掩護ニ任シ *Starazagora* 續行シ
道ヲ西進シ途中休憩中中將グルコヨリ急進ノ命令ヲ受領シ 當時縦隊ハ二日以前ヨリ温食ヲ取り得サリシヲ以テ小笠ヲ以テ炊爨中ナリシト云フ 直ニ前進シテ午前十一時頃 *Manili* ノ西北一里大街道
南側ノ地ニ開進シ第十五第十三大隊第一線ト爲リテ歩兵第九師團第一旅
團ノ右方ニ展開シ第十四大隊ハ豫備隊ト爲リ中央後ニ位置シ騎砲兵ハ狙

撃兵第四旅團ニ先行シ同旅團展開正面ニ陣地ヲ占領シ狙撃兵第十六大隊
（二）中隊ヲ缺キ哥薩克歩兵二中隊ヲ屬ス）ハ中將グルコノ總豫備隊ト爲リ後
方ニ位置ス

正午稍過キ狙撃歩兵第四旅團ハ展開ヲ畢リ敵ノ左翼ニ向ヒ前進ヲ始ム此
時ニ當リ歩兵第一旅團正面前ノ土軍ハ猛烈ナル砲火ニ續テ勇敢ニ前進ヲ
開始セリ乃チ同旅團ハ全力ヲ展開シ防戦相努メシモ優勢ナル土軍ノ壓迫
ニ堪ユルコト能ハス砲兵第四中隊及其附近ニ在リシ歩兵ノ一部ハ遂ニ退
却ノ已ム無キニ至レリ

中將グルコハ此危機ヲ救ハンカ爲退却スル砲兵ヲ激勵シ友軍ノ犠牲タル
ヘキヲ嚴命シ同時ニ狙撃歩兵第四旅團ヲシテ敵ノ左側ニ向ヒ前進セシム
騎砲兵第十五中隊及砲兵第六中隊ハ此情況ヲ知り直ニ敵ノ兩側ヨリ猛烈
ナル砲火ヲ集注シ其攻撃ヲ拒止セシモ土軍歩兵ハ近ク露軍ノ前面ニ在リ
テ攻撃ノ再興ヲ企圖スルモノノ如シ因テ少將ボレエシアハ機ヲ失セス右

翼ニ位置セシ步兵第三十四聯隊第一大隊及步兵第三十三聯隊第三大隊ヲ以テ逆襲ニ轉シ彼我激戰ノ後遂ニ當面ノ土軍ヲ擊退セリ

附記

ロイフパシアハ戰鬪ノ初期スライマン軍ノ増援ヲ豫期セリ

ニ向フスライマン軍ノ右側衛ヲ認メ増援隊來ルモノト誤報セシモノアリ 然ルニ其後増援隊ノ隻影タモ見ス加

フルニ砲兵ノ彈藥缺乏シ午前十時頃ニハ決戰ノ爲其使用ヲ節セサル可カラサルニ至レリ是ニ於テロイフパシアハムーリスパシアノ率

ユル第二旅團全部ヲシテ攻勢ニ轉セシム乃チ旅團ハ猛烈ニ敵ヲ攻撃

シ其一部ヲ擊退セシモ後兩側面ニ露軍ノ攻撃ヲ受ケ遂ニ退却セリ此

戰鬪ニ於テ第二旅團長ムーリスパシア負傷セリ

狙擊步兵第四旅團ハ此間敵ノ左翼ニ向ヒ前進シ漸次步兵第九師團第一旅

團ト離隔シ爲ニ露軍ノ中央部ニ出擊セル土軍ヨリ左側及背後ヲ攻撃セラ

レ多大ノ損傷アリ乃チ同第十三大隊ノ二中隊左方ニ旋回シテ之ニ當リ主

力ハ依然敵ノ左翼ニ向ヒ前進ヲ續行ス是時舊右縱隊ニ屬スル龍騎兵第八

聯隊、驃騎兵第九聯隊及騎砲兵第十六中隊ハ

シ大街道ノ北側狙擊步兵第四旅團ノ北側ニ來リ會シ其騎砲兵中隊ハ直ニ

陣地ヲ占領シテ同旅團ノ戰鬪ニ協力シ敵ノ左翼ヲ包圍シ戰況大ニ發展シ

遂ニ土軍ヲシテ其右翼ヨリ動搖ヲ始メシムルニ至レリ

是ヨリ先露軍ノ中央ニテ彼我戰鬪酣ナルノ時露軍ノ最左翼ニ位置セシ步

兵第三十三聯隊長大佐ジルシンスキノ率キル七中隊

撤兵第_{二中隊}ハ土軍陣地ノ右翼ニ向ヒ攻撃シ多大ノ死傷ヲ生シテ擊退セラレシカ

土軍ノ動搖ニ乘シ砲兵第六中隊ノ援助ヲ受ケ此機ヲ失セス攻撃ニ轉シ敵

ニ大打撃ヲ加ヘントセシモ兵力寡少ニシテ其目的ヲ達セス此間土軍ハ南

方ニ退却セリ時ニ午後二時トス

中將グルコハ敵兵ノ退却ヲ確認シ同時ニ

右縱隊ノ情況不利ナルモノト察シ直ニ之ヲ赴援スルニ決シ先驃騎兵第九

聯隊長大佐コルフノ騎兵及豫備隊タリシ狙擊兵第十六大隊

中將グルコハ敵兵ノ退却ヲ確認シ同時ニ

右縱隊ノ情況不利ナルモノト察シ直ニ之ヲ赴援スルニ決シ先驃騎兵第九

聯隊長大佐コルフノ騎兵及豫備隊タリシ狙擊兵第十六大隊

方ニ退却セリ時ニ午後二時トス

中將グルコハ敵兵ノ退却ヲ確認シ同時ニ

右縱隊ノ情況不利ナルモノト察シ直ニ之ヲ赴援スルニ決シ先驃騎兵第九

聯隊長大佐コルフノ騎兵及豫備隊タリシ狙擊兵第十六大隊

方ニ退却セリ時ニ午後二時トス

ムヲ *Starazagora* ニ向ハシメ狙撃歩兵第四旅團及歩兵第九師團第一旅團ニハ追撃ヲ中止シ之ニ續行スヘキヲ命シ自ラ大佐コルフノ部隊ト共ニ西進シ午後三時三十分 *Ajdani* 西方一里ニ達シ *Starazagora* カ炎々タル火中ニ包マレ在ルヲ目撃シ既ニ土軍ノ有ニ歸セシヲ知り同地ニ留マリ後續部隊ノ到著ヲ待テリ然ルニ豫期ニ後レテ狙撃歩兵第四旅團ハ午後六時歩兵第九師團第一旅團ハ午後七時ニ到著セシヲ以テ攻撃ヲ實行スルモ既ニ夜ニ入ル可キニ因リ中將グルコハ諸隊ヲ以テ *Dibok*ニ退却シ同地ニ宿營セリ是日 *Dzurani*附近ノ戦闘ニ於ケル露軍ノ損害ハ將校二十二名下士卒三百八十二名ナリ

附記 土軍ノ損害ハ約千二百名ニシテ全ク南方ニ潰亂セリ各指揮官ハ

Starazagora 署取ノ情報ニ接スルモ尙部下ヲ集收スル能ハス辛フシテ

Karabunar 停車場ニ於テ集合スルヲ得タリ

Starazagora ハ二十九日少將ニコラウス、フオン、ロイヒテンベルヒノ東進後

スカラサハラ
Starazagora
附近ノ戦闘

(附圖第二
十一第二十四
三第二十四
参照)

大佐クラスノフ 第二十六聯隊長 指揮下ニ布爾牙利歩兵第二大隊ノ二中隊及「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊第二中隊ヲ以テ守備セリ大佐クラスノフハ三十日騎兵ノ報告ニ因リ同地ノ前方約二里半ノ地點ニ土軍ノ歩兵三大隊及砲兵ヲ有スル多數ノ不正規騎兵近接セシヲ知り救援ノ必要ナルヲ少將ニコラウス、フオン、ロイヒテンベルヒニ報告シ之カ爲先ニ述ヘタル如ク三十日ノ夜半 *Ajdani* ヨリ布爾牙利歩兵第二大隊(二中隊欠)同第五大隊「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ一中隊第六中隊及山砲四門ノ増援ヲ得テ歩兵二大隊騎兵二中隊及山砲四門ヲ以テ三十一日朝 *Starazagora* ノ南端ヲ占領ス即チ布爾牙利歩兵第二大隊及山砲二門ハ其西南地區ヲ同第五大隊及山砲二門ハ其東方大街道ノ兩側地區ヲ守備シ「ドン」哥薩克騎兵第二十六聯隊ノ二中隊(第二第六中隊)ハ前記兩地區ノ中間ニ位置ス露軍ノ陣地ハ前地ニ葡葡及玉蜀黍畑アリテ視界十分ナラス 及玉蜀黍ヲ以テ掩ハレタリ 其延長約一里ニ達シ防禦工事ハ七月二十六日以後土民ヲ使役シ先 *Murati* ニ對スル正

前七時頃砲聲ノ起ルヲ聞キ直ニ大佐コルフノ率キル驃騎兵第九聯隊二中隊及ドン哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門ヲ其方面ニ派遣セリ
 大佐コルフハ命令ニ接スルヤ直ニ主力ヲ以テ街道ヲ前進シ半中隊ヲ中將グルコニ連絡スル爲メ Hirteni ヲ經テ派遣ス主力ノ Dzhurani 西北約二吉米ニ達スルヤ同地東南方千五百米突附近ノ土軍砲兵ヨリ射撃ヲ受ケ騎砲兵小隊ハ直ニ射撃ヲ開始シ交戰約一時間半ニ互レリ此間 Hirteni ヲ經テ前進セシ半中隊ハ同地ノ東方ニ於テ優勢ナル土軍ノ騎兵ニ遭遇シ射撃ヲ開ク大佐コルフ之ヲ知り直ニ支援ノ爲メ半中隊ヲ増遣シタルモ同隊ハ忽チ卒十一名馬十頭ノ損傷ヲ蒙レリ因テ更ニ一中隊ヲ派遣セシカ十分ナル結果ヲ得ル能ハス是時主力方向ニ在リテモ既ニ砲兵ハ彈藥ヲ消盡セシヲ以テ大佐コルフハ遂ニ諸隊ヲ集合シ Ajdanihニ退ケリ
 是ヨリ先少將ニコラウス、フオン、ロイヒテンベルヒハ土軍 Starazagoraニ向ヒ前進スルヲ知り午前七時三十分頃龍騎兵第九聯隊ヲ陣地ノ右翼ニ派遣

ス同聯隊ハ速歩ヲ以テ Starazagoraノ市街ヲ過キ第二大隊ノ陣地ヲ通過シテ同大隊ニ對セシ敵ノチエルキオス兵ヲ驅逐シ後大佐ブレラドウィッチノ請求ニ依リ布爾牙利步兵第二大隊ノ占領地區内ニ止リテ陣地ヲ守備ス
Starazagora 守備隊ノ指揮ハ初メ大佐クラスノフ執リシモ戰鬪開始後民政長官大佐ブレラドウィッチハ布爾牙利歩兵軍司令官少將ストリエトフノ命ニ依リ之ニ代リタリ 即チ同聯隊第四中隊欠ハ徒歩シテ Chipan 街道上ニ在ル第二大隊第一中隊ノ左翼ニ陣地ヲ占領シ同第四中隊ハ豫備ト爲リテ其後方ニ位置ス
 午前八時頃ニ至リ少將ニコラウス、フオン、ロイヒテンベルヒハ陣地ノ左翼ニ龍騎兵第八聯隊、騎砲兵第十六中隊ノ二門ヲ派遣シ Starazagoraニ向ヒ前進セル土軍ノ右側面ヲ攻撃セシモ同聯隊ハ Murai 東南方約二吉米ノ林縁ニ達シ同地ヲ占領ス忽チニシテ土軍騎兵現出シ苦戰ノ後之ヲ擊退セシモ其後土軍歩砲兵前進シ來リ砲火ヲ開クニ至リ(位置不明)再ヒ Ajdanihニ退却セリ

附記 是ヨリ稍前午前十時頃土軍ノ攻撃部隊ハ第一ノ發砲ト共ニ漸次

露軍ノ陣地ニ近接ヲ始ムスライマンパシアハ砲兵ノ大部分ヲ露軍ノ中央及左翼方面ニ使用シ同時ニ第二線部隊タル第一第五旅團ノ一部ヲ第二旅團ニ増加シ其右翼ノ擴張ニ勉メリ

此頃少將ニコラウス、フオン、ロイヒテンベルヒハ土軍ノ攻撃ニ對シ陣地ノ左翼薄弱ナルヲ感シ布爾牙利步兵第三大隊及第一大隊第一第二中隊欠ヲ大佐トルストイ同軍第三旅團長ノ指揮ノ下ニ布爾牙利步兵第五大隊ノ左翼ニ陣地ヲ擴張セシム乃チ同第三大隊ハ土軍ノ猛射ヲ蒙リツツ第五大隊ノ左翼ニ陣地ヲ占領シ第一第二中隊第一線ト爲リ他ノ二中隊第二線タリ同第一大隊(二中隊欠)ハ其左方ニ連ナリ第三中隊第一線、第四中隊第二線タリ

午前十一時十五分先進兵團司令部附少將ラウフ アイマン Ajdani ニ到著シ少將ニコラウス、フオン、ロイヒテンベルヒニ代リ指揮ヲ執レリ 少將ラウフハ午前九時頃中將グルココヨリ命令ヲ受ケ直ニ中將ノ許ヨリ Starazgora ニ向ヘルモノトス蓋シ是ヨリ先ニコラウス、フオン、ロイヒテンベルヒハ健康勝レサリシ爲司令權ヲ辭スル意ヲ中將グルココニ致セシニ因レリ 少將ラウフハ大體ノ情況ヲ聞知シ中將グルココノ來著迄殊ニ陣地ノ左翼ヲ鞏固ニ

守 セントセリ當時 アイマン Ajdani 高地上ニハ龍騎兵第八聯隊、驃騎兵第九聯隊、騎砲兵第十六中隊、ドン Don 哥薩克騎砲兵第十中隊ノ一小隊及布爾牙利步兵第一大隊ノ第一第二中隊集合セリ乃チ同少將ハ直ニ布爾牙利步兵二中隊、ドン Don 哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門ヲ更ニ左翼地區ニ増加シ同時ニ既記ノ如ク 本卷第七頁參照 龍騎兵第八聯隊、驃騎兵第九聯隊、騎砲兵第十六中隊ヲ Starazgora-No-Vazigora Starazgora-No-Vazigora 道ヲ經テ中將グルココニ應援セシメタリ

布爾牙利步兵第一大隊ノ二中隊及 ドン Don 哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門ハ正午稍前陣地ノ左翼ニ達シ其砲兵ハ布爾牙利步兵第三大隊ノ後方村緣ニ陣地ヲ占領シ步兵二中隊ハ其左方ニ在リテ一時豫備隊ト爲リ第一大隊ノ第四中隊ハ同第三中隊ノ左翼ニ延伸シ陣地ヲ占ム正午頃土軍ハ全ク展開ヲ畢リ其濃密ナル散兵線ト密集部隊トハ布爾牙利步兵第二第三大隊ノ正面ニ向ヒ猛烈ニ射撃シ次テ陣地ニ肉薄シ來レリ露軍步兵竝ニ山砲四門ハ同シク猛烈ニ射撃シテ之ヲ卻ク幾モ無ク第五大隊正面ノ土軍ハ再ヒ同大隊

ニ向ヒ攻撃シ來レリ是時同大隊ノ左翼ニ在リシ第三大隊ハ豫備隊ニ在リシ第三第四中隊ヲ其右翼ニ増加シ土軍ノ右翼ニ向ヒ攻撃セシム乃チ兩中隊ハ進撃ノ譜ヲ奏シテ敵前約七十歩ノ距離ヨリ喊聲ヲ發シ土軍ヲ突撃シテ再ヒ之ヲ卻ク

斯クテ午後一時頃ニ及ヒ戰鬪ハ今ヤ正面ニ於テ三時間繼續セラレタリ此間露軍ノ右翼ニ向ヒシ土軍ハ *Starazgora* 西方高地ニ達シ其砲兵ハ直ニ陣地ヲ占領シ露軍ノ陣地ヲ全ク側面ヨリ射撃シ將ニ其退路ヲモ遮斷セントセリ是ニ於テ大佐ブレラドウィッチハ最早陣地ヲ支持スル能ハスト爲シテ先第二大隊ニ退却ヲ命セリ同大隊ニ次テ第五大隊モ亦退却ニ就ケリ露軍ノ左翼地區ニ於テハ布爾牙利步兵第三大隊ノ逆襲ニ依リ土軍ノ攻撃一時挫折セシト雖モ土軍ハ更ニ新銳ノ増加隊ヲ得テ漸次右方ニ戰線ヲ擴張シテ壓迫シ第五大隊ノ退却後ハ第三大隊ノ兩翼ヲ包圍セリ第三大隊長中佐カンチン勇ヲ鼓シ奮戰能ク勉メタルモ大勢如何トモスル能ハス多數

ノ死傷者ヲ生シ遂ニ退却セリ最左翼ニ位置セル第一大隊ハ敵兵陣地前約四百歩ニ前進シ來レル爲樹林ニ遮蔽セラレテ射撃シ得サリシカ敵ハ是ヨリ先陣地ニ向ヒ盲射シ露軍ニ損害アリ其後同大隊ハ漸次接近シ來レル敵ヲ猛射シ一時之ヲ拒止セシモ優勢ナル敵兵ヨリ其左翼ヲ包圍セラレルニ至レリ^ドン哥薩克騎砲兵第十中隊ノ二門ハ市ノ縁端ニ位置セシモ前方ニ在ル森林ノ爲射界ヲ妨ケラレ火力ヲ發揚スルヲ得ス斯クテ同大隊ハ戰況益不利ニ陥リ遂ニ土軍ノ攻撃ニ堪ヘス退却ヲ開始セリ是時第三旅團長大佐トルストイノ嚴命ニ依リ同大隊ハ嚙喰タル喇叭ノ號音ニ誘ハレ決死ノ勢ヲ以テ逆襲ニ轉シ敵前五十歩ノ地ヨリ喊聲ヲ發シテ突撃シ一時正面ノ土軍ヲ撃退セシモ土軍益右翼ヲ擴張シ露軍ハ遂ニ其縱射ヲ受ケ再ヒ舊陣地ニ退却ス今ヤ同大隊ハ全ク豫備隊ヲ使用シ加フルニ騎砲兵小隊モ此際敵ノ十字火ニ陥リ危殆ニ瀕セシヲ以テ同砲兵小隊ハ *Starazgora* 東方ノ收容陣地ニ向ヒ退却ヲ開始シ次テ第一大隊モ亦同市街ノ東方ヲ經テ北方ニ退

却ス乃チ露軍ノ全線ハ潰亂シテ北方 *Sarrazgora* ノ市街及其東側地區ヲ經テ *Kazanlik* ニ通スル谷地ニ向ヒテ連リニ退却ス獨リ「ドン」哥薩克騎兵第二十
 六聯隊ノ二中隊及騎砲兵第十中隊ノ二門ハ市街ヲ經テ東北方ニ退却シ後
 中將「グルコ」ノ兵團ニ合セリ露軍ノ退却ニ當リ山砲四門ハ泰然トシテ陣地
 ニ止リ以テ歩兵ノ退却ヲ掩護セリ即チ同山砲兵ハ敵兵約百米突ニ近接シ
 タルトキ猛進シ來レル歩兵及騎兵ヲ急射シ之ヲシテ敗走セシム又第五大
 隊ハ市街ヲ退却中車輛ヲ以テ阻絶ヲ作り土軍騎兵ノ追撃ヲ扼セントセリ
 少將「ラウフ」ハ諸隊退却ニ就クヤ馳セテ市街ノ北端ニ赴キ先到著シタル第
 二第五大隊ニ *Barazgora* ノ北方一吉米ノ高地ニ陣地ヲ占領シテ後續シ來
 レル退却部隊ノ收容ニ任セシム暫クニシテ第三第一大隊龍騎兵第九聯隊、
 山砲四門等來リ合セリ土軍ノ追撃ハ各方面共緩慢ナリキ

附記 土軍ハ露軍ノ退却後第一第二第四第五旅團ヲ以テ *Sarrazgora* ノ
 南端ニ停止シ其一部ハ「チエルキ」ス兵ト共ニ市内ニ進入シ第三旅團

ハ同地西北方高地ニ止リ敢テ追撃セス其市街ニ入りシ者ハ布爾牙利
 人ノ家屋ニ放火シ殺戮至ラサル無ク爲ニ殘留セシ布爾牙利住民ハ殆
 ト其兇手ニ斃レタリ

Starazgora ノ戰鬪ニ於ケル露軍ノ損害ハ布爾牙利諸大隊ニ於テ死傷將校
 二十名下士以下五百五十二名ニシテ就中第三大隊ノ死傷最モ多シ百分ノ三
 十七ニ相
 當ス其他騎兵諸聯隊ニ於テ將校六名、下士以下少クモ二十三名ノ死傷アリ砲
 兵ノ損害ハ詳ナラス

附記 土軍ノ損害ハスライマンパシアノ報告ニ依レハ二百名ニ過キス
 トセルモ他ノ調査ニ依レハ千五百名ヲ計上セリ兎ニ角戰鬪ノ經過ヨ
 リ判斷スルモスライマンノ報告ヨリ遙ニ多數ナルコト疑フ可カラス
Starazgora ヨリ退却セシ露軍主力ハ午後五時 *Derwent* 附近ニ集合シ是夜
 退却ヲ續行シ *Tunduk* 河右岸 *Tulnovo* 附近ニ宿營セリ

附記 スライマンパシア軍ハ是日全力ヲ以テ *Sarrazgora* 附近ニ宿營シ

敢テ露軍ヲ追撃セス

敢テ露軍ヲ追撃セス
Cirman 街道上ヲ前進セシフルシーパシア軍ハ Starazagora 附近ノ戦闘
ニ参加セス其行動未詳ナリ

三 東方面ノ作戦

其一 「オスマンバザール」部隊ノ行動

七月二十一日「オスマンバザール」部隊歩兵十八大隊、騎兵二十一中隊、砲百門ハ左翼ヲ進メテ左ノ如ク位置セリ

一、騎兵第十三師團長少將ラーデンノ指揮スル部隊歩兵七大隊、騎兵十三中隊、砲二十四門

歩兵第十一師團第一旅團第四十一聯隊欠、砲兵第十一旅團第四中隊ハ Ksarovo 附近ニ、歩兵第四十一聯隊第一大隊欠、砲兵第十一旅團第一中隊ノ四門ハ Starazagora ニ、歩兵第四十三聯隊第一大隊欠、砲兵第十

一旅團第一中隊ノ四門、驃騎兵第十三聯隊「ドン」哥薩克騎兵第十三聯隊（一中隊欠）、騎砲兵第二十中隊ノ四門「ドン」哥薩克騎砲兵第六中隊ノ

七月二十一日
オスマンバザール
部隊ノ位置
（附圖
第二十五
照）

四門ハ Dzuljunci ニ、槍騎兵第十三聯隊（第二中隊欠）ハ Kalocclari ニ、槍騎兵第十三聯隊第二中隊ハ Vodica ニ在リ龍騎兵第十三聯隊、騎砲兵第二十中隊ノ二門ハ中將ラデツキ（第八軍團長）ノ部下ニ屬セシモノノ如シ

二、歩兵第十一師團ノ主力歩兵五大隊、砲三十二門

歩兵第四十一聯隊第一大隊、同第四十三聯隊第一大隊、同第四十四聯隊、砲兵第十一旅團（第一第四中隊欠）ハ Kozarevec ニ在リ

三、歩兵第三十二師團ノ主力歩兵六大隊、砲三十二門

歩兵第三十三師團第一旅團、砲兵第三十二旅團第二第五中隊欠ハ Trembes ニ在リ

四、騎兵部隊騎兵八中隊、砲十二門

騎兵第十一師團第一旅團、騎砲兵第十八中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第八中隊ハ Cair 二在リ

附記 當時「オスマンバザール」部隊ニ對セシ土軍（歩兵六大隊、騎兵四中隊

此外不正規騎砲六門オスマンズガール及其西方 Dzumaliköj 附近ニ在リ其不
兵若干アリ 正規騎兵ヨリ成ル警戒線ハ Bebrovo ノ東方 Tilkileri ヨリ Araköj-Ind-
zeköj, Ivanca, Arabular ノ線ニ互リシモノノ如シ

二十一日夕第十一軍團長中將シァコウスコエハ軍參謀長ヨリ左ノ要旨ノ
通報ニ接セリ

Nikopol ヨリ Plevna ニ向ヒ前進シタル步兵第五師團ハ同地ニ於テ著
シク優勢ナル敵ト衝突シ苦戦ノ後步兵三聯隊ヲ以テ Nikopol 方面ニ、又
一聯隊及騎兵一旅團ヲ以テ Bigarane ニ退却スルノ已ム無キニ至レリ之
カ爲軍司令官殿下ハ第十一軍團長ニ訓令スルニ直ニ步兵第三十二師團
ノ第一旅團砲兵第三十二旅團ノ第一第三第四及第六中隊竝ニ騎兵第十
一師團ノ第一旅團騎砲兵第十八中隊ドン哥薩克騎砲兵第八中隊ヲ率キ
Nikjup, Grn-Studena ヲ經テ Big-Karagao ニ到リ同地ニ於テ步兵第三十師團
ノ第一旅團ト合シタル後爾後ノ命令ヲ待ツヘキ旨ヲ以テセラレタリ

「オスマン
部隊ノ一部
増援ノ爲
Plevna方面
ニ向フ(附
圖第二十八
参照)

第十一軍團長ハ此訓令ニ基ツキ同日其步兵第十一師團ヲ騎兵第十三師團
長少將ラーデンニ屬シ騎兵第八師團ト龍騎兵第十三聯隊トノ中間地區ニ
在リテ互ニ接觸ヲ保チテ Osmanbazar 方向ヲ警戒セシメ其重要ナル報告ハ
直接軍司令部ニ送達セシメ二十二日早朝軍團長ハ步兵第三十二師團第一
旅團砲兵第三十二旅團第一第三第四及第六中隊騎兵第十一師團第一旅團
騎砲兵第十八中隊ドン哥薩克騎砲兵第八中隊ト共ニ Big-Kara no 向ヘリ

本卷第一五
七頁参照

騎兵第十三師團長少將ラーデンハ第十一軍團長ノ命令ニ接シ步兵第十一
師團ヲ併セ指揮シ二十二日步兵第四十二聯隊ヲ Kesarevo 東方ニ派シテオス
マンズガール
mandzar 道ヲ修理セシメ二十三日龍騎兵第十三聯隊騎兵第八師團間ノ連
絡ヲ確保センカ爲步兵第十一師團第一旅團第四十一
第四十二聯隊砲兵第十一旅團第一
第四中隊ヲ以テ Kesarevo 東方高地及 Stranica ヲ占領シ同隊ハ步兵第四十二聯隊
砲兵第十一旅團第四中隊
ヲ以テ Kesarevo 東方高地ヲ、步兵第四十一聯隊第一大隊缺砲兵第十一旅團第一中隊ノ四門ヲ以テ Stranica
ヲ占領シ殘餘步兵第四十一聯隊第一大隊、砲兵第十一旅團第一中隊ノ四門ヲ豫備隊トシテ Kesarevo

ニ置ケリ 步兵第四十三聯隊騎兵第十三師團龍騎兵第十三聯隊槍騎兵第十三聯隊ノ一中隊及騎砲二門砲兵第十一旅團第二中隊ヲ カウチハナチ Dzuljanci ニ步兵第四十四聯隊砲兵第十一旅團第三第五第六中隊ヲ コザレベグ Kozarevec ニ置キ槍騎兵第十三聯隊ヲシテ前日來ノ位置ニ在ラシム

同日午後七時步兵第四十二聯隊長ハ步兵一大隊二中隊欠砲二門及驃騎兵二中隊ヲ以テ ツムニマクケイ Dzumaliköj ヲ占領セル武裝ノ住民ヲ攻撃シテ之ヲ占領セシモ夜暗ニ至リ舊陣地ニ退却スルヤ敵兵再ヒ之ヲ回復セリ

二十三日少將ラーデンハ軍參謀長ヨリ左ノ通報ヲ得タリ
 步兵第三十二師團第一旅團騎兵第十一師團第一旅團 プレブナ Plevna 方面ニ前進スルニ至ラハ サムラ Sumla, ラズグラド Razgrad ヨリ ロム Lom チヘルコンナ Cerkovna, カヂル Cajir ヲ經テ ベラ Bela 及 イプオボ Ipnovo ニ通スル連絡線ハ敵ニ暴露スヘキカ故ニ前記部隊ノ歸還スル迄若シクハ第四軍團ノ到着スル迄獨立部隊ヲ以テ該連絡線ヲ守備スルコト必要ナリ故ニ軍司令官殿下ハ步兵第十一師團ノ第一旅團及貴官ノ意見ニ依

リテハ更ニ槍騎兵第十三聯隊若シクハ驃騎兵第十三聯隊ヲ加ヘテ カヂル Cajir ヲ占領スヘキコトヲ命令セラル

前記ノ部隊ハ步兵第十一師團長少將エルンロート之ヲ指揮スヘシ カヂル Cajir 占領後前記部隊ハ騎兵ノ警戒部隊ヲ騎兵第八及第十三師團ノ前方部隊ト齊頭面ニ派遣シ騎兵第八及第十三師團間ノ連絡ヲ確實ニ維持セシムルヲ以テ兩師團ノ絶對的義務トセシムヘシ且背後連絡線ハ ドラガノ Dragano-ovo, クルヌセト Kruseto ノ北ヲ 經由セシムルヲ要ス

ドラガノ Draganoovo 附近ニハ橋梁ヲ架設スヘシ一時的ノ増水又ハ ヤントラ Janina 渡河ノ困難ナル場合ニ軍橋ヲ架設シ得ンカ爲ニ架橋廠ノ一部ヲ配屬セシム
 尙龍騎兵第十三聯隊ノ三中隊ト砲二門ハ ベドボ Bedovo ニ同騎兵聯隊ノ一中隊ハ エレナ Elena ニ留マリ貴官ニ隸屬セシム同聯隊ニハ貴官ニ隸屬シ貴官ニ屬スル部隊ト絶ヘス連絡ヲ維持シ殊ニ スリヴンイヴヂカ Sliven-Ivdica ニ至ル道路ヲ掩護スルコトハ主要ナル任務タルコトヲ命令セリ

又歩兵第十一師團長少將エルンロートノ部隊ハ依然貴官ニ隸屬セシム
 此訓令ニ基ツキ少將ラーデンハ歩兵第十一師團長少將エルンロートノ指
 揮スル同師團第二旅團軍命令ニハ第一旅團ト規定セシモ少將エルンロートハ第二旅團ヲシテ之ニ膺ラシム砲兵第十一旅團
 第二第五中隊及驃騎兵第十三聯隊ヲシテCajirニ到ラシメ龍騎兵第十三聯
 隊騎砲兵第二十中隊ノ二門槍騎兵第十三聯隊並ニ歩兵第四十二聯隊砲兵
 第十一旅團第四中隊ドン哥薩克騎兵第一中隊ヲ附スヲシテ依然現在ノ地
 ヲ守備セシメ Strazica ノ守備兵ヲ歩兵第四十一聯隊ノ第二大隊ドン哥薩
 克騎兵第十三聯隊ノ一中隊半騎砲兵第二十中隊ノ二門トシ爾餘歩兵第四十一聯隊
(第二大隊)ドン哥薩克騎兵第十三聯隊三中隊半ドン哥薩克騎砲兵第六中隊ノ四門砲兵第十一旅團第一中隊軍團砲兵砲兵第十一旅團第三第六中隊
 附近ニ位置セシム
 少將エルンロートノ指揮スル部隊歩兵六大隊騎兵四中隊及砲十六門ハ二
 十四日二縱隊ト爲リ其右縱隊歩兵第十一師團司令部歩兵第四十三聯隊驃
 騎兵第十三聯隊ハ Dzuljunci 出發 Strazica ヲ經其左縱隊歩兵第四十四聯隊

歩兵第十一師團ノ約半部
 判部 Cajirニ

砲兵第十一旅團第二第五中隊及輜重ハ Kozarovec 附近出發 Draganovo ヲ經
 テ右縱隊ハ同日中ニ Cajir ニ著シ左縱隊ハ途中ニ一泊シ二十五日戰鬪部
 隊ノミヲ以テ輜重ハ尙後レテ同地ニ著ス
 同日歩兵第四十二聯隊長大佐クラゾウスキーハ同聯隊第一大隊砲兵第四
 中隊ノ四門ヲ指揮シ Kozarovo 東方一吉米半ノ高地上ニ陣地ヲ占領シ又
 Strazica ヲリ Dzuljunci ニ復歸スヘキ歩兵第四十一聯隊第三大隊砲兵第十一
 旅團第一中隊ノ半部ハ Strazica ニ宿營シ二十五日出發其地ニ到レリ
 二十五日大佐クラゾウスキーハ Kozarovo 東方高地上ノ陣地ニ在リテ午前
 四時三十分ドン哥薩克騎兵中隊ノ報告ニ依リ陣地ノ東南方ニ向ヒ土軍歩
 兵ノ前進中ナルコトヲ知り尋テ午前七時頃ニハ敵歩兵ハ既ニ進ミテ陣地
 ノ右翼部隊ニ對シ射撃ヲ開ケリ大佐ハ Kozarovo ヲリ歩兵第二大隊砲兵第
 四中隊ノ四門ノ増援ヲ待チ直ニ攻勢ニ轉シ約一大隊ノ敵歩兵ヲ驅逐シ砲
 二門ヲ奪取シ其後方 Indakoj ニ約六大隊砲四門ノ敵兵アルヲ知り之ニ向

ヒ前進セリ

「オスマン
バザール」
部隊第八軍
團長ノ部下
ニ入ル

是ヨリ先少將ラーデンハ歩兵第四十二聯隊第三大隊ト共ニ Kesarovo 附近ニ在リ銃聲ニ因リテ大佐クラゾウスキーノ有利ナル戦況ヲ推知セシモ優勢ナル土軍ト衝突センコトヲ虞レ其前進ヲ中止シ舊陣地ニ復歸スヘキコトヲ命セシカハ大佐クラゾウスキーハ將ニ Indzekoj 附近ノ土軍ニ向ヒ攻撃セントセシモ之ヲ中止シ午前十一時頃舊陣地ニ退却ス土軍ハ急追セサリシカ午後三時頃再ヒ露軍陣地ノ前方高地ニ前進シ來レリ因リテ少將ラーデンハ大佐クラゾウスキーニ命令シ其部隊ヲ Karadere 河ノ右岸ニ近ク撰定シタル新陣地ニ退却セシメ同部隊ハ薄暮之ヲ實施セリ

二十五日夕「オスマンバザール」部隊長少將フオン、ラーデンハ其指揮スル歩兵第十一師團及騎兵第十三師團ト共ニ在 Tinovo ノ第八軍團長中將ラデツキーニ隷屬スヘキ軍訓令ヲ得尋テ翌二十六日朝中將ラデツキーヨリ左ノ要旨ノ命令ヲ受領ス

第八軍團長
敵ヲ
Seremetzha
ノ陣地ニ拒
止セントス

少將フオン、ラーデンノ騎兵ハ現在ノ舍營地ニ歩兵第十一師團第一旅團ハ Kozarevec ニ位置シ若シ多數ノ敵兵 Osmanbazar 方向ヨリ攻撃シ來ラハ歩兵第十一師團第一旅團ハ歩兵第十四師團 第八軍團ノ占領スヘキ Tinovo 東方 Seremetzha 陣地ニ退クヘシ又此際少將エルンロートノ部隊ハ Cajir 止リ敵兵多大ノ兵力ヲ以テ攻撃シ來ラハ同官ノ意圖ニ從ツテ行動スヘシ然レトモ此際 Tinovo 東方陣地ニ在ル歩兵第十四師團トノ連繫ヲ維持スルヲ要ス

續テ二十七日夕第八軍團長ヨリ左ノ要旨ノ訓令ヲ受領セリ

歩兵第十一師團ノ第一旅團ヲ Kozarevec ニ轉移スヘキ昨日ノ命令ハ素ヨリ多大ナル敵兵 Osmanbazar ヨリ攻撃スルナラントノ豫想ヨリ發セラレタルモノニシテ刻下該方面ノ敵ノ兵力ニ關シテ明確ナル報告ヲ得サルヲ以テ軍司令官殿下ハ歩兵第十一師團第一旅團(軍團砲兵共)ヲ Dzuljunci 附近ニ轉移スヘキヲ命セラレタリ其意蓋シ該旅團ヲシテ再ヒ前方ニ進

マシメ尙同地ニ於テ有利ナル陣地ヲ撰定シ之ヲ前衛陣地トシ之ニ築城ヲ施シ若シ多大ノ敵兵 オスマンズ Osmanbazar ヨリ トリノ Trivo ニ向ヒ攻撃シ來ル場合ニハ築城ヲ利用シテ之ヲ阻止シ其兵力ヲ展開スルノ止ムヲ得サルニ至ラシメ然ル後決戦ヲ避ケテ歩兵第十四師團ノ占領セル セレメチア Seremetja ノ陣地ニ退却セシメントスルニ在ルヘシ

エレナ Elena 附近ニ在ル大佐レルマントフ 龍騎兵第十ノ部隊及 Zlatarica 附近ニ在ル布爾牙利歩兵第六大隊ヲ爾今貴官ノ隸下ニ屬ス

是ヨリ先大佐レルマントフハ龍騎兵第十三聯隊騎砲兵第二十中隊ノ二門ヲ指揮シ 第八軍團長中將ラデツキ ノ隸下ニ在リシモノノ如シ 主力ヲ以テ Bebrovo ヲ一部ヲ以テ エレナ Elena ヲ占領シ二十五日 オスマンズ Osmanbazar 街道上オスマンバザール部隊ト連絡ヲ確保セント欲シ少佐コロントスエブスキーノ指揮スル騎兵半小隊ヲ エレナ Elena ヨリ ズラタリツァ Zlatarica ニ派遣シ同半小隊ハ同日 ズラタリツァ Zlatarica ニ著ス當時 エレナ Elena, ドズルジュンチ Dzuljunci 間ノ地區ニハ敵ノ斥候出沒シ敵兵進入ノ虞アリシカ故ニ二十五日歩兵第五十

五聯隊第三大隊ハ ルスコヴツァ Luskovec ノ第十四師團ノ陣地ヨリ偵察ノ爲 ズラタリツァ Zlatarica ニ派遣セラレ二十六日 レズコフヤ Leskovec ニ歸著シ近衛騎兵一小隊ハ軍司令部ヨリ ズラタリツァ Zlatarica ニ派遣セラレ此頃同處ニ著シ又布爾牙利歩兵第六大隊モ第八軍團長中將ラデツキヨリ派遣セラレテ二十七日同處ニ著シ同日同處ハ歩兵一大隊騎兵一小隊半ニ依リテ守備セラレタリ

「オスマンバザール」部隊長少將ラーデンハ前記第八軍團訓令ヲ受領シ ベセー Becearevo ストラツァ Strazica 附近ニ在ル歩兵第十一師團第一旅團砲兵二中隊「ドン」哥薩克騎兵半中隊ヲ ドズルジュンチ Dzuljunci 附近ニ集合シ大佐レルマントフノ部隊ヲシテ エレナ Elena 附近ヲ少將エルンロートノ部隊ヲシテ ストラツァ Strazica 附近ヲ占領セシメ又 ズラタリツァ Zlatarica 附近ノ布爾牙利歩兵第六大隊ヲシテ同地ニ堅固ナル陣地ヲ構成セシム龍騎兵第十三聯隊長レルマントフハ二十七日 ベブロ Bebrovo ノ陣地ハ ズラレカ Zlaracka ヨリ ツルノ Tuzulalan ヲ經テ ユルケレ Juruklen 方面ヨリ迂回セラルルノ顧慮アリシヲ以テ騎兵一小隊ヲ ベブロ Bebrovo ニ殘シ同地住民ノ保護ニ任シ殘餘 二中隊ト一 小隊砲二門ヲ率キ

テ Grn-Marian 附近ニ陣地ヲ變換セリ然レトモ地形大ニ騎兵ノ活動ヲ制限シ且住民土軍ニ内應スルモノアリテ偵察甚タ困難ナリシヲ以テ二十八日少將ラーデンニ步兵一大隊ノ増援ヲ請フ是ニ於テ少將ラーデンハ Zatarica ニ在ル布爾牙利步兵第六大隊ヲ大佐レルマントフニ増加シ 布爾牙利步兵第六大隊ハ三十一日 Zatarica ニ達シ大佐レルマントフニ隷下ニ入レリ 新ニドン哥薩克騎兵第十三聯隊ノ一中隊ヲ Zatarica ニ派遣シ 同中隊ハ三十一日 Kesalevo 出 又近衛騎兵一小隊ハ Polikrajze ノ軍司令部ニ歸來セリ

七月末「オスマン」部隊ノ概況

是ニ於テ七月末「オスマン」部隊ハ大佐レルマントフノ部隊 龍騎兵第十三聯隊(二小隊缺騎砲兵第二十中隊)ヲ以テ Elena, Belovo 間ノ地ヲ守備シ步兵第十一師團長少將エルンロートノ部隊 步兵第二旅團(砲兵第二中隊)ヲ以テ Cajinニ其他(主力)ヲ以テ Dauljunci 附近ニ在リ

其二「ルス」兵團ノ行動

七月二十一日「ルス」

七月二十一日「ルス」兵團ノ諸隊 步兵四十三大隊(騎兵四十一中隊)砲二百八門 ハ概ネ前日ノ位

ユツク兵團ノ位置(附圖第二十五参照)

置ニ駐止ス即チ左ノ如シ

第十二軍團(長ウラヂミール、アレクサンドロウ)チ親王(皇太子ノ弟ニシテ「ルス」兵團參謀長)ト爲リ其後任トシテ就職ス 步兵二十四大隊(騎兵十四中隊)砲百八門

一、騎兵第十二師團長中將ドリーゼンノ指揮スル部隊 步兵六大隊(騎兵七中隊)砲二十八門
步兵第三十三師團第一旅團(騎兵第十二師團第一旅團)槍騎兵第十二聯隊ノ一中隊(欠)砲兵第三十三旅團第一第二中隊(騎砲兵第十九中隊)及「ドン」哥薩克騎砲兵第五中隊ハ Gur Cosme 前方陣地ニ在リ

二、第十二軍團ノ主力 步兵十二大隊(騎兵一中隊)砲四十八門

步兵第十二師團第一旅團(槍騎兵第十二聯隊ノ一中隊)砲兵第十二旅團ノ第一第四中隊ハ Prgoz 東方高地ニ步兵第三十三師團第二旅團砲兵第三十三旅團(第一第二中隊)ハ Cerven-Ivanovo 附近 步兵第百三

一大隊ハ Cerven 步兵第百三十一聯隊(第一大隊)ハ Cerna-Iom 河右岸(對岸ニ步兵第百三十一聯隊第三大隊)砲兵第六中隊ハ KosoV 北方(Bel, Cerna-Iom 河ノ合流點左岸ニ步兵第百三十一聯隊ノ第一大隊)步兵第百三十二聯隊ノ二大隊 砲兵第三十三旅團(第一第二中隊)ハ KosoVニ位置スニ在リ

第十二章 七月二十一日ヨリ同三十一日ニ至ル作戦

二軍團豫備砲兵六大隊

步兵第十二師團第二旅團砲兵第十二旅團(第一第四中隊欠)ハ *Gur Ob*

smo ニ在リ

四軍團司令部ハ「ドン」哥薩克騎兵第三十七聯隊ト共ニ *Trostenik* ニ在リ

第十三軍團長中將「ハーン」步兵十八大隊、騎兵五中隊、砲八十八門

一、步兵第三十五師團步兵三十二大隊、砲三十二門

步兵第三十五師團(第四百聯隊ノ一大隊欠)及砲兵第三十五旅團第

三第六中隊欠)ハ *Karan, Vrbovka, Kacelovo, Sirokovo, Cihov* ニ在リ

二軍團司令部ハ「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第三中隊、同第十三聯隊ノ一

中隊ト共ニ *Dve Mogili* ニ在リ

兵團豫備第十三軍團長ノ隷下ニ屬ス(步兵七大隊、砲五十六門)

步兵第一師團第一旅團、步兵第四聯隊第一大隊、砲兵第一旅團第一第四

中隊第十三軍團軍團砲兵第一第三十五旅團、各第三第六中隊速射砲中隊(八門)ハ *Dve Mogili,*

Pavel ニ在リ

兵團司令部近衛騎兵二中隊「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊第三中隊ハ *C. Breten* ニ在リ

騎兵團長侍從將官伯爵ウ・ロンツォフ、ダスコフ步兵一大隊、騎兵十二中隊、砲十二門

步兵第四百聯隊第二大隊、騎兵第十二師團第二旅團「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊第三中隊欠

騎兵第八師團「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第三中隊及龍騎兵第八聯隊ハ *Palamarva-Opaka-Grehovo-Kostand-*

nec-Nisovo-Ivanovo ノ線ニ互リ *Eski-Dzumaja* 及 *Kazgrad* 方面ニ對スル警戒

ニ任ス

右ノ外步兵第一師團第二旅團、第四聯隊第一大隊欠、砲兵第一旅團ノ第二

第五中隊ハ大本營ノ護衛トシテ *Bein* ニ在リ

二十一日「ルスチュック」兵團司令官皇太子アレクサンデル、アレクサンドロ

ウイツチハ騎兵第十二師團長中將ドリーゼンヨリ「土軍ノ一部 *Dolapite Kusuk*

一方約ノ後方ニ集中セシコト確實ニシテ土人ノ言ニ依レハ *Ruscuk* 守兵ノ一

第十二章 七月二十一日ヨリ同三十一日ニ至ル作戦

九八

部ハ Sumla クシムラ ニ向ヒ前進セシカ如シトノ報告ニ接シ諸隊ニ令シ Ruscuk ルスク 及 Stroklevo ストルクレヴォ 方向ニ斥候又ハ小支隊ヲ出シテ敵情ヲ偵察シ且 Ruscuk, Razgrad ラズグラド 間ノ鐵道及電信ヲ破壊セシム

同日第十二軍團長ウラヂミールアレクサンドロウイチ親王ハ前記ルスコツク兵團司令官ノ意圖ニ從ヒ Ruscuk 附近偵察ノ爲ドン哥薩克騎兵第三十七聯隊長大佐イロワエスキーノ指揮スル步兵第三百三十二聯隊第二大隊近衛混成騎兵半中隊ドン哥薩克騎兵第三十七聯隊ノ三中隊第一第四第六中隊ドン哥薩克騎砲兵第五中隊ノ二門ヲ派遣シ同支隊ハ正午頃 Ivanovo イヴァノヴォ 附近ニ集合セリ

大佐イロワエスキーハ命ヲ受ケ直ニ Ivanovo 出發 Stroklevo ニ向ヒ前進シ同地ニ在ル微弱ナル敵ヲ驅逐シテ 不正規騎兵十三名、正規兵九名ヲ捕虜トス 之ヲ占領シタル後騎兵第六中隊ヲ Velovo, Cervenavoda ヴェロヴォ、チェルェナヴォダ 兩停車場間ノ地ニ派遣シ鐵道及電信ノ破壊ニ任シ步兵大隊ヲ Stroklevo ニ留メ自ラ騎兵第一第四中隊及騎砲二門ヲ率

七月二十一
日 Stroklevo
附近ノ戰鬪
(地形圖第
二参照)

キ北方ニ向ヒテ前進シ將ニ Ruscuk-Razgrad 道ニ達セントスルヤ約十中隊ノ土軍騎兵 Ruscuk 方面ヨリ同部隊ニ向ヒ前進シ來レリ乃チ大佐ハ騎兵第六中隊ノ歸來スル迄現在地附近ニ止リ敵ヲ拒止セント欲シ騎兵ヲ集合シ且騎砲二門ヲシテ土軍騎兵ニ對シ砲火ヲ開カシメ同時ニ此情況ヲ軍團長ニ報告セリ軍團長 是日軍團長ハ支隊ノ行動ヲ監視スル爲 Ivanovo 附近ニ來著セシモノノ如シ ハ此報告ニ接シ優勢ナル敵ニ對抗セシムルヲ危險トシ步兵第三百三十一聯隊第一大隊ヲ Kosovo コソヴォ ヨリ Ivanovo ニ招致シ步兵第三百三十二聯隊第二大隊ヲシテ Ivanovo ニ又同時ニ騎兵第三十七聯隊ヲシテ Trostenik トロステニク ニ退却セシム

大佐イロワエスキーハ午後三時頃軍團長ノ命ニ接シ直ニ退却ニ就ク土軍砲兵一中隊機ヲ失セス追撃射撃ヲ開キ其騎兵モ亦前進ヲ始メリ露軍騎兵ハ途中優勢ナル土軍騎兵ノ爲兩側面ヲ脅威セラレ屢逆襲ニ轉シ其追撃ヲ離脱シテ午後四時三十分頃遂ニ Ivanovo 附近ヲ占領セル步兵第三百三十二聯隊第二大隊ニ收容セラレ騎兵ノ主力ハ續テ Trostenik トロステニク ニ歸リ Ivanovo ニ

ハ歩兵第三百三十一聯隊第一大隊同第三百三十二聯隊第二大隊騎兵半小隊及「ドン」哥薩克騎砲兵第五中隊ノ二門殘留セリ
 是ヨリ先騎兵第六中隊ハ *Stroklevo* ヨリ東方ニ前進シ *Vetovo*, *Cervenavoda* 間ノ鐵道線ニ達シ爆藥ヲ以テ軌條三箇處ニ破壞ヲ行ヒ鐵道線附屬ノ電信線ヲ切斷シ其他 *Vetovo* 通信所ノ電信機竝ニ *Kazgrad-Rusuc* 道ノ電信線及小橋梁ヲ破壞シ黄昏ノ頃 *Cerni Tom* 河左岸ニ歸來セリ *Stroklevo* 附近ノ戰鬪ニ於ケル露軍ノ損害ハ死傷十四名馬匹十四頭トス
 二十一日騎兵團長モ亦兵團司令官ノ意圖ニ基ツキ鐵道破壞ノ目的ヲ以テ *Svalenik* ニ在ル其主力ヨリ二中隊宛ノ部隊ヲ派遣セリ同隊ハ *Rusuc-Kazgrad* 道迄前進セシニ 地點未詳 土國不正規騎兵及土民ノ妨害ヲ受ケテ鐵道線ニ達スルヲ得ス唯該街道上ニ強大ナル土軍ノ存在セサルヲ確知シテ歸來セリ
 是日騎兵第八師團第一旅團長少將レオノフノ *Radina* オズカ 東方 ニ派遣シタル數多ノ斥候ハ該村ニ敵騎兵四中隊砲若干門アルコトヲ報告セリ

騎兵團ノ企圖(一覽圖第一及地形圖第一參照)

二十二日騎兵團長ハ前日ニ比シテ更ニ強大ナル兵力ヲ以テ鐵道線ニ對シ新企圖ヲ實行セントセリ即チ同官ハ *Svalenik* ニ在ル諸隊ノ内歩兵第四百十聯隊第二大隊騎砲兵第十五中隊ノ四門ト全輜重ヲ宿營地ニ殘置シ其他「驃騎兵」第十二聯隊槍騎兵第八聯隊第一中隊欠「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第六中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第九中隊 槍騎兵第八聯隊ノ第一中隊及「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊ノ第五中隊ハ大尉ドボリニーノ指揮ニ屬シ
「Kazgrad」方面ノ警戒ニ任シ二十一日以計騎兵八中隊騎砲六門ハ早朝宿營地出發
「Pisanic」來「Orlak」(「Pisanic」ノ東南八吉米ニ在リ)ニ前進シ午前十一時同地ヲ占領シ驃騎兵第十二聯隊ハ更ニ前進シテ *Vetovo* 通信所ニ赴キ鐵道及電信線ヲ破壞シ毫モ敵ノ妨害ヲ受クルコト無ク *Pisanic* ニ歸來ス乃チ騎兵團長ハ更ニ *Rusuc* 方面ノ敵情ヲ偵察セントシ之ニ向ヒ前進シ *Levend tabja* 堡前ニ土軍ノ一大野營ヲ認メテ *Pisanic* ニ歸來シ同夜此地ニ宿營ス是日 *Nizovo* ニ在リシ「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊(一中隊欠)モ *Rusuc* 街道ニ向ヒ偵察ノ爲ニ前進セシカ何等得ル所無クシテ *Nizovo* ニ歸來セリ

同二十二日中將ドリーゼンハ參謀大佐ニ騎兵二中隊ヲ屬シ之ヲ Ruscuk 方
 向ニ派遣シ敵情ヲ偵察セシム同大佐ハ Cerni Lom 河左岸ノ地ヲ前進シテ
 Dolapite ノ前方ニ達セシトキ百餘ノ土軍不正規騎兵ニ會シ其後方ニ歩兵
 二大隊砲若干アルコトヲ確認シ Gjur Cezme ノ陣地ニ復歸ス土軍ハ其退却ニ
 尾シテ Gjur Cezme ヲ攻撃シ次テ Pirgoz 附近歩兵第十二師團第一旅團ノ正
 面ニモ前進シ來レリ因テ中將ドリーゼンノ部隊及歩兵第十二師團第一旅
 團ハ陣地ニ就キ其砲兵ハ敵砲兵ト火戰ヲ交ヘシモ敵ハ歩兵ヲ以テ攻撃ヲ
 爲スコト無ク而モ午後七時頃ニ至リ Dolapite 附近ニ退却セリ 前記露軍ノ
展開シタル

兵力ハ合計一師團半ニシテ攻撃シ來レル土軍ノ兵力ハ歩兵約五大隊砲兵少クモ
 二中隊其他若干ノ騎兵ヨリ成ルモノノ如ク偵察ノ目的ヲ以テ實施シタルカ如シ
 是日第十三軍團ノ正面ニ於テハ情況變化無ク唯布爾牙利人ノ言ニ依リテ
 Razgrad, Eski-Dzumaja ハ諸兵連合ノ土軍部隊ニ依リ占領セラレアルヲ知リ
 シモ其兵力ニ關シテハ詳細ナル報告ヲ得サリキ

二十三日騎兵團長ウ・ロンツ・オ・ダスコフハ其手裡ニ在ル驃騎兵第十二

近ノ戰
 地形圖
 一參照
 附圖
 Pisania

聯隊、槍騎兵第八聯隊第一中隊欠「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊ノ第六中隊「ドン」
 哥薩克騎砲兵第九中隊ト共ニ依然 Pisania 停止シ Svalenic ニ殘置セシ騎
 砲兵第十五中隊ノ四門ヲ早朝同地出發 Pisania 向ヒ前進セシム

午後四時頃騎兵第八師團長中將侯爵マンウエロフ 中將ウ・オ・ロンツ・オ・ダスコフ
カスチク
Kuscuk 合團ニ關スル命令ヲ受
ニ依リ一時騎兵團ヲ指揮セリ ハ前哨ニ任シタル「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊長
 大佐クレスツァチツキーヨリ Strokilevo 附近小哨ノ報告ニ依ル約百車輛以
 上ノ輸送隊カ三兵種ノ支隊ニ掩護セラレテ Kuscuk-Razgrad 道ヲ前進ス「ト
 ノ報告ニ接シ之ヲ襲撃セント欲シ驃騎兵第十二聯隊ノ第三第四中隊槍騎
 兵第八聯隊第四中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第九中隊ノ四門計騎兵三中隊砲四
 門ヲ Pisania ニ殘シ其他驃騎兵第十二聯隊ノ第一第二中隊、槍騎兵第八聯
 隊ノ第二第三中隊「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊ノ第六中隊「ドン」哥薩克騎砲兵
 第九中隊ノ二門計騎兵五中隊砲二門ヲ率キテ Kuscuk 向ヒ前進シ同時ニ
 Svalenic 駐レル歩兵第四百聯隊第二大隊ニ Pisania 前進スヘキコ

トト前日ノ命令ニ基ツキ既ニ前進中ノ騎砲兵第十五中隊ノ四門ニ急進ス
ヘキコトヲ命令セリ

中將マンウエロフノ指揮スル騎兵五中隊、騎砲二門ハ *Pisanic* ノ西北方約三
吉米附近ニテ土軍騎兵若干ヲ擊退セシモ其後方 *Buzun* 附近ニハ少クモ歩
兵二大隊、砲六門ヲ有スル敵ノ展開セルヲ知リ、ドン哥薩克騎砲兵第九中隊
ノ二門ニ陣地ヲ占領シテ射擊ヲ開カシメ、其他ヲ集結シテ敵情ヲ偵察中左
側ノ監視ニ任シタル斥候ヨリ敵ノ三縱隊ハ西方ニ迂回中ナリトノ報告ニ
接シ同時ニ *Torlak* 附近ニ於テ *Kazgrad* 方面ノ警戒ニ任セル大尉ドポリニー
ヨリ諸兵連合ノ強大ナル敵兵 *Kuzgrad* ヨリ *Torlak* ニ向ヒ前進中ナルコト
ヲ報セリ時將ニ黄昏ナラントス是時曩ニ急進ヲ命セシ騎砲兵第十五中隊
ノ四門始メテ *Pisanic* ニ到著セシモ歩兵第四百十聯隊第二大隊ハ未タ到
著セス 同大隊ハ是時 *Pisanic* ノ西南方六七吉米ノ地ヲ行進中ナリ 因テ中將マンウエロフハ諸隊ヲ率キテ *Beli
Lom* 河ノ左岸ニ向ヒ退却ニ就ケリ

是ヨリ先 *Pisanic* 附近ニ殘留セシ諸隊ハ大尉ドポリニーノ通報ニ接シ *Pisanic*
ノ南方ヲ占領シ來著セル騎砲兵第十五中隊ヲ以テ *Beli Lom* 河左岸ノ高地
上ニ陣地ヲ占領シ退却シ來レル中將マンウエロフノ主力ヲ收容セントシ
午後七時頃騎砲兵第九中隊ノ四門モ *Torlak* 方向ノ情況切迫セサルヲ知リ
騎砲兵第十五中隊ノ許ニ來リ會シテ陣地ヲ占メ、同中將ノ部隊ハ此等騎砲
兵ノ援助ヲ受ケ *Beli Lom* 河ノ左岸ニ退却シ之ニ追躡シタル土軍ハ其一部
ヲ以テ河谷内ニ降り其他モ亦右岸地區ニ到達シ特ニ其砲兵ハ *Pisanic* ノ
北方大街道附近ニ陣地ヲ占領セリ是時ニ當リ大尉ドポリニーヨリ同中隊
ハ *Torlak* ヲ撤去シ該地ハ敵ノ歩兵二中隊、騎兵三中隊ニ依リテ占領セラレ
タルヲ報シ來リシヲ以テ中將マンウエロフハ諸隊ヲ率キテ *Svalenik* ニ向
ヒ退却ニ就キ同夜同地ニ宿營ス 歩兵第四百十聯隊第二大隊ハ行進途中ニ
於テ退却部隊ニ會シ此縱隊ニ加ハレリ
Pisanic 附近ノ戰鬪ニ於テ露軍ノ損害ハ死傷六名、馬匹十三頭トス
是ヨリ先ドン哥薩克騎兵第十二聯隊長大佐クレスツァチツキーハ土軍輸

送隊ノ Ruscuk-Kazgrad 道ヲ南進スルヲ知ルヤ中將マンウエロフニ報告ス
 ルト同時ニ在 Ivanovo ノ最近歩兵部隊タル歩兵第三百一聯隊第一大隊
 ニ通報シ其協力ヲ請ヒテ拒絕セラルルヤ部下三中隊及近傍ノ小哨ヲ率キ
 テ前記街道ノ西側地區ニ在リテ敵ノ輸送隊ニ跟随セシモ遂ニ襲撃ノ好機
 ヲ發見スルコト無ク日没ト爲リシヲ以テ翌二十四日拂曉敵ノ輸送隊
 附近宿營地ヲ出發シ Torjak ニ向ヒ前進スルニ乘シ強大ナル斥候ヲ土
 軍ノ右側ニ派遣シ其注意ヲ之ニ牽キ然ル後一中隊ヲ下馬セシメ村落内ヲ
 潛行シテ輸送隊ノ背後ヲ奇襲セシメ軍用麵麩ヲ積載セル車輛四ヲ掠奪シ
 一名ヲ捕虜トシ尋問ノ結果敵ノ輸送隊ハ Ruscuk ヨリ糧食彈藥ヲ Kazgrad
 ニ搬送スルモノナルコトヲ知レリ

七月二十一日ヨリ二十
 五日頃迄ノ四角要塞内
 土軍ノ情況
 (附圖第二十五參照)

附記 七月二十一日四角要塞内ノ土軍ハ兵力約九萬人野砲二百五十門
 (歩兵百二十五大隊、騎兵六十中隊、砲兵四十二中隊ニシテ此内 Ruscuk 要
 塞ニハ歩兵三十五大隊、騎兵十四中隊、砲兵八中隊(二萬六千五百人)、Raz-

grad 野營地ニハ歩兵十七大隊、騎兵二十中隊、砲兵六中隊(一萬二千人)
 Osmanbazar 附近ニハ歩兵六大隊、騎兵四中隊、砲兵一中隊(四千五百人)合
 計四萬五千人ニシテ殆ト八十吉米ノ線ニ散在シ尙 Tutakan ニ一萬人
 Silistria ニ九千人、Sumla ニ一萬三千人、Varna ニ九千人アリ以上全兵力
 ノ約半部(四萬乃至五萬)ヲ野戰ニ使用スルヲ得
 メヘメツトアリパーシアハ七月二十一日要塞地區内ニ到着シ該地區
 ノ指揮ヲ執ルヤ要塞守備隊トシテ軍ニ必要ナルモノノミヲ殘留シ其
 他ヲ純然タル野戰軍ニ編成シ露軍ニ衝ラント欲セシモ其兵力ハ攻勢
 ヲ取ルニハ不足ナリトノ故ヲ以テ前記ノ約四萬人ノ兵力ヲ Kazgrad ニ
 集中シ同地ヲ占領シテ Sumla-Bela 道ヲ扼シ確實ニ Ruscuk-Sumla 鐵道
 ヲ掩護シ而シテ露軍若シ Ruscuk ヲ合圍セントセハ其側背ヲ脅威セ
 ント欲セリ

前記ノ計畫ニ基ツキ七月二十三日歩兵十五大隊、騎兵八中隊、砲兵四中

隊ハ *Kuzuluk* ヨリ又二十四日歩兵十二大隊砲兵三中隊ハ *Tutrakkan* ヨリ
 砲兵二中隊ハ *Sunila* ヨリ共ニ *Kazgrad* ニ到着シ同日メヘメツトアリ
 一パシアハ *Kazgrad* ニ於テ歩兵四十八大隊騎兵二十八中隊砲九十六
 門ヲ掌握スルニ至レリ

ルズチク
 攻圍計畫
 (一覽圖第
 一及地形圖
 第二參照)

是ヨリ先ルズチク兵團司令官ハ七月十七日附軍訓令 第一卷第二百五十一頁參照 ニ基
 ツキテ *Kuzuluk* 要塞攻圍計畫ヲ立案シ二十二日兵團參謀長ハ軍參謀長ニ左
 ノ筆記報告ヲ爲ス

軍司令官殿下ノ訓令ヲ實行スル爲 *Pirgoz* ヨリ *Krasen* ヲ經テ *Kara Lom*
 河ノ上流 *Kacelevo* ニ至ル線ハ皇太子殿下ノ指揮スル諸隊ニ依リ守備セ
 ラレ騎兵ノ監視線ハ同時ニ前方ニ進メラレ *Beli Lom* 河ニ沿ヒ *Umurski*
Lom 河口ヨリ同河ニ沿ヒ *Kostandenee* ニ至リ同處ヨリ南方ニ屈折シテ
Opaka (olana) Palamarca ノ線ニ互レリ

今ヤ皇太子殿下ハ軍司令官殿下ノ與ヘラレタル訓令ニ基ツキ *Kuzuluk* 要

塞ノ攻圍ニ著手セントス之カ爲 *Pirgoz, Cifti-Sidzakov, Di-Abianovo, Marten*
 ノ線ヲ以テ攻圍線トシ *Pirgoz* ヨリ *Sunila* ニ通スル鐵道線ニ至ル地區ニハ
 歩兵(歩兵第十二竝ニ第三十三師團ノ諸隊)ノミヲ充テ鐵道線ヨリ *Marten*
 ニ至ル地區ニハ騎兵四聯隊情況ニ依リ更ニ約歩兵一旅團ノ支援ヲ附ス
 ヲ充テ而シテ *Kazgrad* ニ對シ攻圍部隊ノ背後ヲ警戒スル爲歩騎兵各一
 旅團ヲ *Pisanic* 附近ニ位置セシメントス何トナレハ歩兵一師團騎兵一
 聯隊ノ總豫備隊ヲシテ一ニハ攻圍部隊ヲ援助シ一ニハ背後警戒部隊ノ
 支援タラシメンカ爲ナリ

前述ノ理由ニ因リテ攻圍部隊カ更ニ遠距離ノ地ニ背後警戒部隊ヲ出ス
 コトハ不可能ナルカ故ニ *Sunila* ヨリ攻圍部隊ニ向フ敵ノ攻撃ニ對シテ
 第十一軍團ヲ適當ノ地ニ配置シ之ニ當ラシメラルルハ兵團ノ大ニ希望
 スル所ナリ而シテ此目的ノ爲ニハ該軍團ノ主力ヲ *Popovo* 及 *Ajazlar* 附
 近ニ集合シ其騎兵ノ監視線ヲ *Vimski Lom* 河ヲ越エテ *Kostandenee* ヨリ

上流ニ派遣スルノ必要アルヘシ何トナレハ「ルスチュツク」兵團ノ騎兵ハ
要塞攻圍ノ爲ニ使用セラレ Kostandenee ヨリ前方ニ監視線ヲ延長スルコ
ト能ハサルヲ以テナリ尙遞騎哨ニ依リ維持セラルヘキ軍司令部ト「ルス
チュツク」兵團司令部トノ連絡ハ騎兵第十一師團或ハ同第十三師團ニ任
セラレンコトヲ希望スル旨茲ニ附言ス

當時 Rusouk 要塞攻圍ノ爲 Meika 附近 Donau 河上ニ橋梁架設 Chirgovo, Slobozia 附近ニ攻城砲臺ノ築
設ヲ企畫セラレ八月中旬迄ニ Chirgovo, Slobozia 附近ニ數多ノ攻城砲臺架設セラレタリ(本卷第一五
四頁參照)又 Mokka 附近ノ架橋ニ關シテハ其準備ニ著手セシモ幾モ無ク Rusouk 要塞攻圍延期セ
ラレ Petrosani Babin ニ轉置スルコトト爲リ九月中旬ニ至リテ架設ヲ開始セラレタリ
Rusouk 攻圍ノ爲ニ使用セラルヘキ攻城砲ハ總計百二十門ニ達スヘキカ如シ此内三十二門ハ七
月十三日以來 Zimnicea ニ來著シ在リ
右ニ掲ケタル「ルスチュツク」兵團ノ Rusouk 要塞攻圍計畫ニ依レハ Bela ニ位置シテ大本營ノ警戒
ニ任シタル(露國參謀本部戰史ニハ明カニ警戒ノ任ニ膺レルヲ記ス)歩兵第一師團第二旅團ヲ兵
團ノ指揮ニ入レラルヘキコトヲ希望シタルカ如シ然レトモ軍司令官ハ第四軍團ノ戰場ニ來著
スル迄ハ該旅團ヲ Bela ニ駐留セシメントシ該希望ヲ容レサルノミナラス後ニ至リ第四軍團來
著セシヤ之ヲ西部兵團ニ屬セシヲ以テ結局此計畫ハ實行ヒラレサリキ

二十三日「ルスチュツク」兵團司令官ハ此報告ト入達ニ二十一日「Tihovo」發
軍筆記命令ヲ受領ス其要旨左ノ如シ 以下一覽圖第一
第二第三參照

一 先進兵團ノ Tundza 河谷(巴爾幹)ニ於ケル戰捷ハ西部兵團ノ Zikopolii
攻略ト共ニ土軍ノ志氣ニ至大ノ影響ヲ與ヘタルカ如シ故ニ今ヤ實ニ
Rusouk 要塞ニ對シ猛烈ナル作戰ヲ施スヘキ時機到來セシモノト謂フ
ヘシ

二 「ルスチュツク」兵團ハ Rusouk 要塞ノ砲撃ニ必要ナル火砲ヲ迅速ニ搬
送シ最モ有利ナル機會ヲ待チ全力ヲ傾注シテ一舉ニ要塞ヲ攻略スル
コトヲ努ムヘシ
兵團ハ又 Sumla ニ對シテ注意ヲ怠ラサルヲ要ス敵軍若シ其兵團ニ向
ヒ前進セハ Osmanbazar ニ對シ Dzuljunci 附近ニ進メタル歩兵第十一師
團ヲシテ其敵ノ側面ニ向ヒ攻撃セシメントス

因テ「ルスチュツク」兵團司令官ハ Rusouk 要塞攻圍計畫ニ基ツキ是日諸隊ニ

必要ナル部署ヲ命令内容不明セリ然ルニ夕ニ至リ攻城砲兵司令官ヨリ羅馬尼國內特ニ砲兵輸送地域内ニ牛疫發生シ其絶滅迄攻城砲兵ヲ招致スルハ不可能ナルノ報告アリ又「ルスチュツク」兵團司令官ハ二十四日土軍 ラッケラド カニグランド エスキズマヤ Eski-Dzumaya ノ近傍ニ集合セリトノ情報ヲ得タルヲ以テ兵團司令官ハ第十一軍團ノ主力カ チハロム Cerhi Lom 河谷内 ポポボ Popovo 附近ニ進出シタル後諸隊ヲシテ攻圍ノ爲要塞ニ向ヒ前進セシムルニ決セシモ偶同日夕前後二回ニ軍ノ筆記命令ヲ受領ス其要旨左ノ如シ

一 步兵第五師團ハ七月二十日 プレヴナ Plevna 附近ノ戰鬪ニ於テ甚シク兵力ヲ損失セリ

二 第十一軍團ノ一部步兵第三十二師團ノ一旅團竝ニ騎兵第十一師團第一旅團ハ步兵第五師團ヲ援助スル爲ニ プレヴナ Plevna ニ向ヒ出發シ第四軍團ノ先頭部隊(步兵第三十師團第一旅團及砲兵第三十旅團ノ三中隊)モ亦西部兵團司令官ノ指揮ニ屬セシム要スルニ目下第十一軍團ヲ以テ「ル

スチュツク」兵團ヲ援助スルコトハ不可能ナリ

三 「ルスチュツク」兵團ハ ルスチュツク Russuk 要塞ノ攻略ヲ他日ニ延期ス可シ其期日ハ プレヴナ Plevna 附近ノ情況判明シタル後更ニ命令ス然レトモ兵團既ニ前進ヲ開始セシニ於テハ之ヲ利用シテ威力偵察ヲ行ヒ其實施後ハ スミラ Sumla ヲヨリスル土軍ニ對シテ何時ニテモ攻勢ヲ取り得ヘク兵團ノ大部分ヲ集結シ置クヘシ而シテ此前進方向ヲ時機ヲ失セス確定シ得ンニハ騎兵ノ主力ヲ右翼ニ集中シ ラズグラド Razgrad, スミラ Sumla 方向ニ前遣セサル可カラス此際騎兵第十三師團トノ連絡ヲ維持スルコト肝要ナリ

右ノ命令ニ基ツキ兵團司令官ハ要塞攻略ノ企圖ヲ止メ諸隊ヲシテ現在ノ線ヲ守備セシメタリ

二十四日步兵第三十五師團ハ未タ右前進中止ニ關スル命令ニ接セサリシヲ以テ ルスチュク Russuk 要塞攻圍ノ計畫ニ基ツキ若干ノ移動ヲ始ム即チ同師團ハ步兵一聯隊ヲ カニケレボ Knicelovo 附近ニ殘置シテ スヴァレニク Svalenik ニ前進シ内二大隊ヲ更ニ

ルスチュツク
要塞攻圍ノ中要
止

ビヤヒツ Pisanic ニ前遣ス然ルニ同日夕曩ニルスチュツク兵團司令部ニ赴キタル騎兵團長侍從將官伯爵ウ・ロンツォフ、ダスコフ Svalenik ヨリ歸來シ Bela-Ira-zgrad 道上 Kacelevo ノ守備薄弱ナルヲ顧慮シ歩兵第三十五師團第二旅團砲兵第三十五旅團ノ第一第四中隊ヲシテ Kacelevo ヲ占領セシム
 「ルスチュツク」兵團爾餘ノ部隊ハ前進中止ノ命令ニ接シ概ネ現在ノ地ニ停止ス

二十五日「ルスチュツク」兵團位置ノ概要左ノ如シ

第十二軍團

- 一、騎兵第十二師團長中將ドリーゼンノ指揮スル部隊 歩兵六大隊騎兵八中隊砲二十八門
- 歩兵第三十三師團第一旅團、騎兵第十二師團第一旅團、騎砲兵第十九中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第五中隊、砲兵第三十三旅團第一第五中隊ハ Ghr Oesme 前方約四吉米ノ陣地ニ在リ
- 二、歩兵第三十三師團第二旅團、砲兵第三十三旅團第一第五中隊 欠 歩兵六

七月二十五日「ルスチュツク」兵團ノ位置

隊砲三ノ KOSOV ニ在リ

三、歩兵第十二師團第一旅團、砲兵第十二旅團第一第二第四中隊 歩兵六大隊砲六中隊

四、軍團豫備隊及軍團司令部 歩兵六大隊騎兵六中隊砲二十四門

歩兵第十二師團第二旅團、砲兵第十二旅團第三第五第六中隊ハ Ghr Oesme 後方ニ在リ

軍團司令部及「ドン」哥薩克騎兵第三十七聯隊ハ Trostenik ニ在リ

第十三軍團

一、歩兵第三十五師團第二旅團、砲兵第三十五旅團第一第四中隊 歩兵六大隊砲十六門
 Kacelevo ニ在リ但シ歩兵第四百四十聯隊第一大隊ハ Krepca ノ守備ニ任シ在リ

二、歩兵第三十五師團第一旅團、砲兵第三十五旅團第二第五中隊 歩兵六大隊砲十六門
 Svalenik ニ在リ但シ歩兵第三百二十七聯隊第一大隊ハ Kostandenee

ノ守備ニ任シ在リ

三軍團司令部及「ドン」哥薩克騎兵第八第十三聯隊ノ各一中隊ハ *Dve Mogili* ニ在リ

兵團豫備隊 歩兵六大隊
砲五十六門

歩兵第一師團第一旅團砲兵第一旅團第一第四中隊軍團砲兵 砲兵第一
第三十五
旅團ノ各第三
六中隊ヨリ成ル 速射砲中隊ハ第十三軍團長ノ隷下ニ在リテ *Dve Mogili* ニ在リ

兵團司令部及「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊第三中隊竝ニ近衛騎兵聯隊ノ

二中隊ハ *Obreten* ニ在リ

騎兵團 騎兵二十二中
隊砲十二門

一「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊第三中隊欠、驃騎兵第十二聯隊騎兵第八師團 龍騎兵第八聯隊及「ドン」哥薩
克騎兵第八聯隊第三中隊欠 ハ *Opaka, Kostandenee, Pisanic* ヲ經テ *Strokleyo* ニ互ル線ヲ警戒セリ

一「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第四中隊ヲ以テ *Opaka* ニ驃騎兵第八聯隊「ドン」哥薩克騎砲兵第十五中隊ノ二門ヲ以テ *Krayca* ニ在リ
同地ニハ歩兵第四百聯隊第一大隊在リテ其支援ニ任セリ
槍騎兵第八聯隊第四中隊ヲ以テ *Grovia* ニ「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第二中隊ヲ以テ *Kostandenee* ニ在リ同地ニハ歩兵第四百三十七聯隊第二大隊守備ニ任シ在リ

「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第六中隊ヲ以テ *Svalenik, Toplak* 中間地區ニ「ドン」哥薩克騎兵第十二聯隊ノ三中隊ヲ以テ *Javen* ニ在リ此中隊ハ *Svalenik* 東方ヨリ *Pirgoz* ヲ經テ *Shokleyo* ニ互ル間ノ警戒ニ任ス

二騎兵團ノ主力タル騎兵第八師團司令部槍騎兵第八聯隊(一中隊欠)「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第一第五中隊、同騎兵第十二聯隊第一第二六中隊、驃騎兵第十二聯隊騎砲兵第十五中隊ノ四門「ドン」哥

薩克騎砲兵第九中隊ハ騎兵團司令部ト共ニ Svalenik ニ位置ス
右ノ外歩兵第一師團第二旅團、砲兵第一旅團第二第五中隊ハ大本營ノ護
衛トシテ Bela ニ在リ

二十五日夜、ルスチュツク兵團參謀長ハ軍參謀長ヨリ左ノ通報(筆記)ヲ受領
ス

本日二十日 Kozarevec-Dzujunci 道 ツルノボオスマンバザール
Trnovo-Osmanbazar 道上ニ在リ

レハ オスマンバザール Osmanbazar ヨリ同街道上ニ配置セラレタル土軍ノ兵力ハ増加ヲ始
メタリ

布爾牙利人ノ言ニ依レハ敵ハ著大ノ兵力ヲ エスキツツユマヤ Eski-Dzumaja 及 オスマンバザール Osmanbazar ニ
集中シ同地ニハ既ニ約五萬ノ兵力現在セルカ如シ

吾人ハ前記ノ報告ヲ確信セサルモ其全然虚報ニ非サルヲ認メ次ノ如ク
敵情ヲ判断ス即チ敵ハ クアヒラ Sumla ヨリ ツルノボ Trnovo ニ對シテ攻撃ヲ行フカ然ラス
ンハ巴爾幹山脈ヲ經テ退却ヲ開始スルナラン此際敵ノ一縱隊ハ エスキ Eski-

七月二十五
日軍通報

ハチロイヤ Dzumaja 及 オスマンバザール Osmanbazar ヲ越エテ スラヴェン Sliven 一覽圖第三參照ニ前進シ且此縱隊ヨリ一

ノ前衛ヲ派遣スルナラン目下前進中ノモノハ此前衛ナルヘシ

以上ノ報告竝ニ判断ニ基ツキ軍司令官殿下ハ歩兵第十一第十四師團及
騎兵第十三師團ヲシテ レスコヴェツ Leskovec, コザレVEC Kozarevec 共ニTrnovoノ東方ニ
里乃至四里ノ處トス附近ニ於テ敵
ヲ拒止セシメントス

然レトモ以上ノ軍隊ハ著大ナル敵ノ攻撃ヲ拒止スルニ足ラサルカ故ニ
軍司令官殿下ハ前記軍隊ヲ援助スル爲第十三軍團及ルスチュツク兵團
ノ騎兵ノ一部ニ前進ヲ準備シ且其行動ヲ講究スヘキコトヲ命セラル而
シテ情況若シ ツルノボ Trnovo 東方ノ諸隊ヲ援助セサルヘカラサルニ至ラハ軍司
令官殿下ハ第十三軍團ヲ進メテ ツルノボ Trnovo ヲ攻撃スル敵軍ノ右翼ニ行動セ
シメラルルニ至ラン而シテ之カ爲第十三軍團ノ取ル可キ捷路ハ ロム Rom Ce-
ネロノナ tkovna-Cajir 道ニ由リ次テ情況ニ依リ トレンベツ Trembez 若シクハ ストラジツカ Strazica ヲ經テ コザレ Kozar-
レVEC revec ニ向フモノニシテ爾後敵ノ背後連絡線ニ對シテ前進ヲ繼續セサル

可カラス

命令ノ傳達ヲ迅速ナラシムル爲 Belit^{ベリット}「ルスチュツク」兵團司令部間トノ
遞騎哨ヲ確實ニ保護セサル可カラス 當時「Trnovo, Belit」間ニハ電線架設シ在リシモ兩司令部ノ連絡ハ主トシテ此遞騎哨ニ依リテ行ハレタルモノノ如シ

「ルスチュツク」兵團ノ全陣地ハ前述セル第十三軍團ノ前進ヲ何時ニテモ
實行シ得ラル可キ爲ニ猶豫無ク變更スルヲ要ス

「ルスチュツク」兵團司令官ハ右ノ訓令ニ由リ第十三軍團ノ Strazica^{ストラジツカ}及 Kozarevec^{コザレベツ}
附近ニ到ルニハ約三日間ヲ要スヘキカ故ニ第十三軍團ノ一部ヲ LomCerk^{ロムチェルク}
ova^{オヴァ}ニ移シ且同軍團ヲ一般ニ現在ノ地ヨリ南方十五乃至二十吉米移動ス
ルニ決シ二十六日次ノ命令ヲ下セリ 「ルスチュツク」兵團參謀長ヨリ軍參謀長ニ宛テタ
ル報告ニ依レハ七月二十七日正午迄ニ其部署ノ完了ヲ豫期セシカ如シ

諸情報ニ依ルニ土軍ハ著大ナル兵力ヲ Iski-Dzumaja^{イスキヂジュマヤ} 及 Osmanbazar^{オスマンバザール} 附近
ニ集結シ本日五^{二十}步兵六大隊砲六門ハ其不正規騎兵ト共ニ Kesarevo^{ケサレヴォ} Trnovo
ノ東方

七月二十六
日兵團司令
官ノ部署

五附近ニ於テ騎兵第十三師團ノ一部ヲ攻撃セシモ短時間ノ戦闘後 Indze-
koj^{インヂェコイ}ノ陣地ニ退却セリ 此情報ハ「オスマンバザール」部隊ノ通報ニ依リテ知リタルモノ
ノ如シ詳細ハ同部隊七月二十五日ノ記事本卷第九一頁以下ヲ
參照ス 軍司令官殿下ハ敵兵 Trnovo^{トルノヴォ}ヲ襲撃スルモノト豫想シ第十三軍團
ヲシテ同方面ノ軍隊ヲ援助セシムル爲土軍ノ側面ニ向ヒ若シクハ土軍
ノ連絡線ニ對シテ行動スヘキコトヲ命令セラレタリ

之カ爲兵團ハ次ノ如ク部署ス即チ Kaelevo^{カケレヴォ}ニ在ル步兵第三十五師團第
二旅團ハ其砲兵並ニ槍騎兵第八聯隊騎砲兵第十五中隊ト共ニ步兵第三
十五師團長中將バラノフノ指揮ニ屬シ命令受領後直ニ Lom-Cerkovina^{ロムチェルコヴィナ}ニ
行進シ同地ニ到達セハ之ニ關スル報告ヲ在 Trnovo^{トルノヴォ}軍司令部ニ送付スヘ
シ Svlenik^{スヴレニク}ニ在ル步兵第三十五師團第一旅團ハ其砲兵並ニ「ドン」哥薩克
騎兵第八聯隊ト共ニ Vrendzik^{ヴレンヂク}ニ行進スヘシ
歩兵第一師團第一旅團ハ其砲兵及爾餘ノ軍團砲兵ト共ニ Karan Vrhovka^{カランヴルホフカ}
ニ前進スヘシ

報告ニ依レハ敵兵 ラツケツラド Razgrad 附近ヲ既ニ撤退セシモノノ如シト雖モ尙其
方向ニ對シ警戒部署ヲ取ルヘシ

歩兵第一師團第二旅團ニハ特別命令ヲ附與ス但シ之ニ關シテハ追テ命
令スヘシ 兵團司令官ハ皇帝ノ允許ヲ得テ同旅團ヲ ロチクセルコナ John Cerkovnaニ到ラシメントノ意

騎兵第八師團ノ混成旅團 檢騎兵第八聯隊、ドシ哥薩ノ指揮ハ同師團第一旅團
長少將レオノフ之ヲ取ルヘシ

此命令ト同時ニ第十二軍團長ニ皇帝ノ允許ニ依リ歩兵第一師團第二旅團

ヲ ベラ Belaヨリ ロヤチハコナ John Cerkovnaニ發進セシムル場合ニハ歩兵第三十三師團第二

旅團 ラホフ Pepelinaニ轉移セシムト命令セリ

ハカキチ
Kozovo
ノ戰團(附近
圖第一二六
参照)

二十六日朝「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第二中隊ハ前哨ニ任シ コスタンデネツ Kostandeneeノ
東方ニ於テ同地ヨリ ハタル Ezerce, Torkakニ通スル二道路ヲ監視シ在リシカ午前
七時頃突然兩村落ヨリ前進シ來レル優勢ナル土軍騎兵部隊ノ攻撃ヲ受ケ
テ コスタンデネツ Kostandeneeニ向ヒ退却ス

歩兵第三百三十七聯隊第二大隊ハ是日 コスタンデネツ Kostandeneeニ在リテ敵騎兵前進ノ報
ニ接シ直ニ前記騎兵中隊ヲ援助シ午前九時敵騎ヲ擊退セシモ其後方ニ續
行セシ少數ノ敵歩兵部隊ニ會シ再ヒ コスタンデネツ Kostandenee附近ニ歸還ス

歩兵第三十五師團第一旅團長少將チヒメニエフハ其旅團(歩兵第三百三十七
聯隊第二大隊)及砲兵第三十五旅團第二第五中隊ヲ指揮シテ スヴャレンニク Svalenikニ
在リ歩兵第三百三十七聯隊第二大隊ノ敵ト衝突セシヲ知リ戰闘中止ヲ命令
セシモ午前十時頃其已ニ敵歩兵ト戰闘セシヲ知ルヤ同大隊ノ孤立ニ陥ラ
ンコトヲ虞レ歩兵第三百三十七聯隊長大佐チニコフニ同聯隊第一大隊及第
三大隊(第十第十一中隊)ノ各半中隊第十二中隊撤兵第三中隊竝ニ砲兵第三
十五旅團第五中隊ノ半部ヲ屬シ歩兵第二大隊ヲ援助セシメ別ニ歩兵第百
三十八聯隊第二大隊長少佐フロレンスキノ率キル同大隊第五中隊欠及
砲兵第五中隊ノ半部ヲ コスタンデネツ Kostandeneeニ派遣シ大佐チニコフ部隊ノ豫備隊タ
ラシメ旅團ノ殘餘 歩兵第三百三十七聯隊第九中隊、第十中隊、第十一中隊ノ各半部、同第三百三十八
聯隊第一大隊、第二中隊、第五中隊、第十三大隊ニシテ歩兵第十一中隊トス 及

砲兵第三十五旅團第二中隊ヲ步兵第三百三十八聯隊長ノ指揮ニ屬シ露營地ニ在リテ出發準備ヲ整ヘシメ同時ニ其處置ヲ騎兵團長伯爵ウ・ロンツ・オ・フ・ダスコフニ通報シ自ラ *Kostandenee* ニ赴ク

是ヨリ先歩兵第三百三十八聯隊第一第二中隊ハ *Svalenik* 深谷内露營地前方ノ炊事場ノ警戒ニ任セシカ *Kostandenee* 方向ニ銃聲ヲ聞クヤ直ニ獨斷ヲ以テ之ニ向ヒ前進ス是ニ於テ *Svalenik* ヨリ步兵十四中隊ト砲兵一中隊ハ相前後シテ *Kostandenee* ニ向ヒ行進中ナリ

騎兵團長伯爵ウ・ロンツ・オ・フ・ダスコフハ少將チヒメニエフノ通報ニ接シ驃騎兵第十二聯隊「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊ノ三中隊第一第二第十三軍團司令部ヨリ復歸ノ如シシタルモ第五中隊及同騎砲兵第九中隊ノ二門ヲ率キテ *Svalenik* ヲ出發ス

斯クテ正午頃歩兵十九中隊、騎兵八中隊前哨ニ任セシ「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第二中隊ヲ合ス野砲八門、騎砲二門ハ *Kostandenee* ニ集合シ伯爵ウ・ロンツ・オ・フ・ダスコフハ此等諸隊ノ指揮ヲ取り *Ezerce* 附近ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第一

第三中隊ヲ右側ノ同聯隊第五中隊ヲ左側ノ警戒ニ任シ自ラ其他ノ騎兵五中隊及騎砲二門ヲ指揮シ *Kostandenee* 出發同地ヨリ *Ezerce, Torlak* ニ通スル兩道路ノ中間地區ヲ前進シ步兵部隊ヲ少將チヒメニエフノ指揮ニ屬シ騎兵部隊ノ主力ニ跟随セシム

午後二時頃騎兵ノ主力ハ *Ezerce* 西北方約四吉米ノ高地上ニ達セシトキ *Ezerce* 東北方七八百米突ノ高地上ニ在ル敵砲兵ヨリ射撃ヲ受ク然レトモ騎砲兵ハ距離遠クシテ應射スルヲ得ス因ツテ騎兵及騎砲兵ハ約千五百米突東進シテ *Ezerce* ノ西北方高地上敵砲兵陣地ヲ距ル約二千八百米突ニ達シ其砲兵ハ直ニ敵砲兵ニ向ヒ射撃ヲ開始シ騎兵ハ其後方ニ止リ步兵部隊ノ來著ヲ待テリ

少將チヒメニエフハ是ヨリ先歩兵第三百三十七聯隊ノ第五第八中隊ヲ *Kostandenee* ノ守備ニ殘シ其他ノ歩兵及野砲兵ヲ率キテ騎兵部隊ノ後方ニ跟随セシカ途中野砲ノ行進困難ナリシ爲午後四時頃漸ク *Ezerce* 西北高地上

ニ停止セル騎兵ニ追及シ砲兵第三十五旅團第五中隊ハ直ニ騎砲二門ノ傍ニ放列ヲ布キ敵砲兵ニ向ヒ射撃ヲ開始セリ

附記 土軍アヂスパシアノ指揮スル部隊歩兵六大隊砲六門及不正規騎

兵若干ハ *Kazgrad* 附近ニ集結セル土軍ノ警戒ニ任シ是日 *Ezerce* 附近

ニ達シ露軍ノ前進ヲ知り *Ezerce* ノ西側及其北方高地ヲ占領シ其砲六

門ヲ標高三百三十一ノ北方高地ニ布ケリ

Ezerce 附近土軍陣地ノ前方ニハ三百歩乃至千五百歩ヲ隔テテ約一方里ニ

互リ櫟林及小樹林繁茂シ軍隊ノ通過困難ナリ又同陣地ノ左方 *Ezerce* 西南

方ニハ開豁ナル高地アリ攻者ハ此地區ヲ暴露シテ前進セサルヘカラサル

モ此方面ヨリスルトキハ敵ヲ瞰制スルニ利アリ又其右翼ニハ *Ezerce* 北方

ニ急峻ナル深谷アリテ攻者ハ敵前ニ於テ之ヲ越エサルヘカラサリキ

騎兵團長伯爵ウ・ロンツォフ・ダスコフハ敵ノ *Kazgrad* ヨリ増援アルヘキ

ヲ顧慮シ叢林ヲ利用シ敵ノ正面ヲ攻撃セントシ攻撃部署ヲ定ム即チ大佐

チニコフハ歩兵第三百二十七聯隊ノ十一中隊ヲ率キテ砲兵陣地ノ右方ヨリ *Ezerce* ノ攻撃ニ任シ 四中隊ヲ散兵トシ四中隊ヲ大隊豫備トシ少佐フロレンスキーハ六中隊ヲ以テ砲兵陣地ノ左方ヨリ村落ノ攻撃ニ任シ 四中隊ヲ散兵トシ二兩 攻撃部隊ノ第一線ハ凡テ疎散ナル散兵線ヲ以テシ大隊ノ豫備隊ハ密集シテ近ク其後方ニ跟隨シ互ニ連絡ノ維持ニ勉ム

此間驃騎兵第二十聯隊ハ前方ニ位置シ歩兵ノ展開ヲ掩護シ尋テ戰線中央後ノ凹地ニ集合シ其第四中隊ヲ左側ノ警戒ニ任セシム

午後四時三十分砲兵第三十五旅團第五中隊ハ射撃ヲ開始ス之ト同時ニ展開セル歩兵部隊ハ前進ヲ始メ 林中ニ進入ス 少將チヒメニエフノ報告ニ依レハ諸隊森林ニ入りシ後ハ情況全く不明ト

頃林中ニ於テ彼我兩軍衝突シ猛烈ナル戰鬪起レリ露軍ハ少時熾盛ナル射撃ノ後銃劍突撃ヲ以テ敵ヲ林外ニ驅逐セシモ土軍勇ヲ鼓シ再三再四突撃ヲ反復セシ爲亂戰紛鬪相繼ク然レトモ午後六時半頃ニ至リ土軍力屈シ敗

走ヲ始ム步兵第三百七聯隊第一大隊及撤兵第三中隊ハ敵ヲ追フテ *Ezerce* ノ南部ニ進入シ村落ニ於テ激烈ナル接戦ノ後更ニ敵ヲ驅逐シ村落内ヲ經テ敵ノ砲兵陣地ニ向ヘリ土軍砲兵之カ爲後方高地ニ退却ス

是時少佐フロレンスキ一大隊ノ一部モ亦森林中ノ戦闘後退却スル土軍ヲ追フテ村落ノ北部ニ侵入シ驃騎兵第十二聯隊第一第二第三中隊モ敵ノ右翼ニ迫リ之ヲ包圍ス是ニ於テ土軍遂ニ *Kuzgrad* 方向ニ退却ス然レトモ露軍歩兵ハ疲勞甚シク追撃スルヲ得ス先行シタル驃騎兵第十二聯隊モ村落ヲ通過シテ前進セントスルヤ近距離ヨリ敵ノ砲火ニ浴シ追撃ノ成果ヲ見ルニ至ラスシテ止ム

騎兵團長伯爵ウオロンツォフダスコフハ是ヨリ先戦闘尙酣ナルニ當リ在 *Kacelivo* ノ步兵第二十五師團長中將バラノフニ步兵四大隊及砲兵中隊ヲ *Kacelivo* ヨリ *Cerovic* ヲ經テ増援セシメンコトヲ請ヒシモ既ニ戦闘ノ目的ヲ達セシ後尙現在地附近ニ停止スルハ兵團司令官ノ意圖ニ非サルヲ以テ

現ニ指揮スル諸隊ヲシテ負傷者收容ノ後 *Svalenik* *Kostandenee* ノ舊位置ニ復歸セシム乃チ諸隊ハ午後八時三十分ヨリ密林中ニ散亂セル負傷者ノ大部ヲ收容シ其終了後夜半出發各拂曉ノ位置ニ到達ス

右ノ戦闘ニ於テ露軍ノ損害ハ死八十一名傷百七十三名馬匹死傷九頭トス
土軍ハ死少クトモ約二百五十名ニ達ヒシモノノ如シ

是日步兵第三十五師團長中將バラノフハ同師團第二旅團及砲兵第三十五旅團第一第四中隊ト共ニ *Kacelivo* ニ在リ午後九時頃騎兵團長伯爵ウオロンツォフダスコフヨリ步兵四大隊及九斤野砲ヲ以テ *Cerovic* *Kostandenee* ヲ越エテ來援スヘキ通報ヲ受領シ情況及決心ノ大要ヲ兵團司令官ニ報告シ步兵一大隊砲兵一中隊 第四中隊 ヲ現在地ニ殘シ *Krapva* ノ步兵一大隊ニハ *Kacelivo* ニ來ルヘキコトヲ命シ殘餘步兵四大隊砲兵第三十五旅團ノ第一中隊ヲ率キ夜暗前進ヲ始ム此行軍ハ狹隘ナル山路及森林中ノ道路ヲ經由シ困難ヲ極メ二十七日未明始メテ *Kostandenee* ニ達シ中將バラノフハ騎兵

團長伯爵ウ・ロンツォフ、ダスコフニ會シ出發前受領セル前記七月二十六日附兵團部署ノ大意ト伯爵ウ・ロンツォフハ未タ該訓令ヲ受領セサリシモノノ如シ兵團司令官ノ意圖Osman-nbazar 附近ニ集中セシ土軍ニ對シ第十三軍團ヲ以テ其側面又ハ背面ニ向ヒ行動スルニ在ルヲ告ケタリ乃チ騎兵團長伯爵ウ・ロンツォフ、ダスコフハ既ニ Ezerce 附近ノ戰鬪モ落著セシヲ以テ同中將ニ其軍隊ヲ率キテ再ヒ Kacelevo ニ向ヒテ發進セシメ同部隊ハ即日同地ニ歸著セリ以下一覽圖第二參照

二十七日午前四時「ルスチユツク」兵團司令官ハ中將バラノフヨリ Ezerce 附近ノ戰鬪竝ニ同中將ノ決心及處置ニ關スル報告ヲ受領シ是ヨリ先得タル所ノ諸情報トヲ綜合シ戰鬪ノ再起ヲ豫期スヘキ理由無キニシモアラサルヲ以テ Kusnik ヨリ Razgrad ニ向フ敵ノ集中ヲ妨害シ同時ニ Ezerce 附近ノ敵軍ノ側面及背面ヲ攻撃セシムル目的ヲ以テ步兵第三十三師團第二旅團 Kozovo 附近ヲシテ Kuseuk-Razgrad 道上 Pisanic, Ezerce 間ノ地區ニ派遣ス然ルニ是日步兵第三十三師團第二旅團ハ二十六日ノ兵團命令ノ趣旨ニ從

七月二十七日兵團司令官前日ノ部署ヲ變更ス

ヒ既ニ Kozovo 出發 Sirokovo 方向ニ前進セリ

同二十七日午後二時兵團司令官ハ Kacelevo ニ來著シ步兵第三十五師團長中將バラノフト相會シ Razgrad 附近ノ敵兵其後活動ノ模様無キヲ察知シタルモノノ如ク二十五日附軍參謀長通報ニ依リ兵團ヲ南方ニ移動スルニ決シ Kacelevo 附近戰鬪ノ影響ヲ顧慮シ二十六日附兵團ノ部署ヲ改メ左ノ命令ヲ發シ午後三時 Kacelevo 出發 Obreten ニ歸來セリ

一、步兵第三十三師團第二旅團ハ從來ノ舍營地(Kozovo)ニ歸來スヘシ

二、步兵第一師團第一旅團ハ二十七日成ルヘク而モ軍隊ヲ過勞セシムルコト無ク Lom Cerkovna ニ前進シ步兵第三十五師團第二旅團ニ代リ第十三軍團ノ前衛ト爲ルヘシ

步兵第三十五師團長ハ Kacelevo ニ長ク休憩シタル後其第二旅團ヲ Vrendzik ニ第一旅團ヲ Svalenik ヨリ Karan-Vrbovka ニ前進セシムヘシ

三、騎兵團長將官伯爵ウ・ロンツォフ、ダスコフハ從來ノ任務ヲ繼續シ步兵

第三百三十八聯隊同第四百十聯隊ヲ一時其指揮ニ屬セシメラレタルモノノ如シ其指揮下ヨリ槍騎兵第八聯隊ノ一中隊ヲ第十三軍團長ノ使用ニ供シ別ニ「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊、槍騎兵第八聯隊（一中隊）欠騎砲兵第十五中隊此等部隊ハ騎兵第八師團長中將ヲ指揮下ニ屬セリヲ經テ步兵第一師團ニ追及セシムヘシ此命令ノ實行ヲ完結セシハ七月二十九日トス何トナレハ騎兵ハ前哨及其他ノ諸勤務ニ從事シ其交代及集合ニ多大ノ時間ヲ要セシカ故ナリ

步兵第一師團主力ノ南進

是ヨリ先二十六日第十三軍團長ハ同日附兵團命令ヲ受領シ其日夕步兵第一師團長ニ步兵第一旅團ノ四大隊半步兵第一聯隊第一大隊ハ「Chaplin」ノ兵團司令官ノ護衛ニ步兵第二聯隊ノ二中隊ハ旅團砲廠ノ護衛セリ砲兵第一旅團第一第四中隊、軍團砲兵四中隊及輜重ノ一部ヲ屬シ二十七日午後四時「Dve-Mogili」ノ宿營地ヲ出發シ「Karan Vrbovka」ニ向ヒ前進セシメ自ラモ亦同地ニ向ヘリ而シテ此等ノ部隊ハ同日午前中ニ指定地ニ達ス第十三軍團長ハ「Karan Vrbovka」ニ著後午後四時前記日附兵團ノ變更命令ヲ受領シ直ニ步兵第一師團長ニ現ニ指揮スル諸隊並ニ恰モ是時「Kozlevo」ヨリ到著セル槍騎兵第八聯隊第二中隊兩餘ノ中隊ハ七月二十八日「Lom Cherny」ヨリ於テ步兵第一師團第一旅團ニ追及セリ

ヲ率キテ「Lom Cherny」ニ前進ヲ繼續セシム然ルニ同隊ハ進路不良ニシテ其後尾ハ二十八日午前三時頃始メテ「Vendzik」ニ達セリ

二十八日第十三軍團步兵第三十五師團ノ諸隊ハ兵團司令官ノ意圖ニ從ヒ「Svalenik, Kagelevo」ニ休止シ未タ前進ヲ始メス

第十二軍團方面ニ於テハ步兵第三十三師團第二旅團ハ二十七日「Sirokovo」ニ向ヒ發進セシカ道路不良ニシテ午後六時三十分「Kozovo」東南方約一里ノ「Cerven」ニ達シ二十七日附兵團命令ヲ受領シ直ニ「Kozovo」ニ歸來セリ

同日夕「ルスチュツク」兵團司令官ハ二十六二十七日ノ兩日ニ得タル諸情報ニ依リ「Kuzul」ノ土軍ハ「Kazgrad」附近ニ向ヒ前進中ニシテ著シク其守兵ヲ減少シツツアルヲ知レリ因テ其行動ヲ妨害セント欲シ騎兵第十二師團長中將ドリーゼンニ微弱ナル支隊ヲ以テ「Ruscuk-Kazgrad」道上「Stroklevo」附近ヲ占領スヘキヲ命セリ中將ドリーゼンハ此命令ヲ二十九日ニ實施セリ此趣旨ハ軍司令官ノ意圖ニ適應スルモノニシテ前記命令ヲ下シタル後同夕兵團司令官ハ軍司令官ヨ

リ左ノ訓令ヲ受領セリ

土軍ノ ^{ルスチユツク}Ruscuk ヨリ南方ニ退却スルコトヲ確知スルトキハ之ヲ猛烈ニ追撃シ其退却ヲ困難ナラシメンコトヲ希望ス

伯爵ウオロンツォフダスコフカ歩兵ニ依リテ援助セララルル以上ハ此追撃ヲ實行シ得ヘキハ本官ノ確信スル所トス 在 ^{オヂハ}Ozih ノ歩兵第十一師團長少將エルンロート竝ニ騎兵第八第十二師團長ニモ兵團ノ運動ヲ通報セラレンコトヲ希望ス

二十八日第十三軍團ノ主力ハルスチユツク兵團訓令ニ基ツキ南進ヲ始メ同日歩兵第一師團長ノ指揮スル同第一旅團(一大隊半欠)槍騎兵第八聯隊第二中隊砲兵第一旅團ノ第一第四中隊ハ大休憩ヲ爲シタル後 ^{ヴェンディク}Vendik 出發南進ヲ繼續シ再ヒ不良ナル道路ヲ經テ同日午後六時ヨリ翌日午前八時ニ互リテ ^{オシコヴォ}Oshkovo ニ達ス 近距離ニモ拘ラス此ノ如ク時日ヲ要セシハ不良道路ヲ連日夜行軍セシト行李及輜重ノ軍隊ニ追及シ能ハサリシニ由ル 又歩兵第三十五師團司令部及同第二旅團歩兵第四百四十聯隊ノ一大隊欠 同大隊ハ騎兵指揮官ニ

第十三軍團
主力ノ南進

^{クレペカ}Krepkaニ止 及砲兵第三十五 團第一第四中隊ハ ^{カチヤレ}Kachelevo へリ ^{ヴェンディク}Vendikニ、騎兵第八師團司令部歩兵第三百三十七聯隊砲兵第三十五旅團第二第五中隊「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第一第三第六中隊ハ ^{スラニク}Sranik ヨリ軍團司令部及軍團砲兵砲兵第一第三十五師團ノ各第三第六中隊)ハ ^{ドベモジリ}Dve Mogili へリ ^{カチヤレ}Kachelevoニ移レリ

槍騎兵第八聯隊第一第三中隊及騎砲兵第十五中隊ハ歩兵第一師團ニ合セシカ爲 ^{スラニク}Sranik ヨリ前進ヲ始メタリシカ途中歩兵第三十五師團ノ輜重ニ道路ヲ杜絶セラレ是日 ^{カチヤレ}Kachelevo ニ宿營ス

伯爵ウオロンツォフダスコフノ部隊騎兵第八師團 龍騎兵第八聯隊槍騎兵第八聯隊「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊ノ許ニ留レリ 及騎兵第十二師團第二旅團)ハ歩兵第三百二十八聯隊歩兵第四百四十聯隊ノ一大隊ト共ニ ^{クレペカ}Krepka, ^{ストロクレヴォ}Stroklevo ノ警戒ニ任シ歩兵第四百四十聯隊ノ一大隊驃騎兵第八聯隊「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊第四中隊「ドン」哥薩克騎砲兵第九中隊ノ二門ハ ^{クレペカ}Krepka 附近ヲ槍騎兵第八聯隊第

四中隊ハ Cerovic ツホロツ ヲ守備シドン哥薩克騎兵第十二聯隊ハ Svalenik スヴァレニク 附近ニ主力ヲ置キ Kostandenev, Pisanic, Stroklev コスタンデネフ、ピサニク、ストロクレフ 間ノ警戒ニ任シ又步兵第三百三十八聯隊ノ一大隊ドン哥薩克騎兵第八聯隊第二第五中隊ドン哥薩克騎砲兵第九中隊ノ二門ハ ハセラル Izerve 附近ニ在リテ二十六日ノ戰鬪ニ於テ遺棄セル死傷者ノ搜索及死者埋葬ニ從事シ 二十九日頃任務ヲ畢リ騎兵二中隊ハ Pendarik ペンダリク 殘餘令部步兵 第三百三十八聯隊ノ二大隊驃騎兵第十二聯隊砲兵第三十ハ カツケレ Kacolevo ニ位置セリ五旅團ノ第二中隊ドン哥薩克騎砲兵第九中隊ノ二門 ニ向ヒ其他ハ Kacolevo カコレボ ニ到リシモノノ如シ 二十八日第十二軍團方面情況變化無ク二十九日ニハ二十七日夜ノ兵團訓令ニ依リ一支隊步兵第二百二十九聯隊ドン哥薩克騎兵第三十七聯隊ノ一中隊砲兵第三十三旅團第二中隊ヲ以テ ストロクレフ Stroklev ヲ占領シ尙其後援トシテ歩 兵各一大隊ヲ イムノ Ivanovo, ボジチン Bozichen ニ派遣セリ 此部隊ハ主トシテ Gub. Osme グブ。オスメ 附近ニ在リシ モノニシテ砲兵第三十三旅團第二 中隊ノミ Kozovo コゾボ 附近ヨリ來レリ 第十三軍團長ハ二十九日 サマルネフ Samasif, ゴレモノボ Golemonovo 及 アジャザル Ajazlar ノ地ニハ土軍騎兵 (約一聯隊)及步兵ノ存在セシコト三十日 ヤカレ Cerni Lom 河ノ上流 Hajadar, セイド Seid 附

七月三十日
第十三軍團
一部ノ移動

近ニハ敵兵ヲ見サリシモ バシシタ Bahsisa 附近ニハ同日土軍不正規騎兵ノ監視部隊アリシコトヲ知り直ニ南方ニ通スル交通路ヲ偵察シ其結果步兵第一師團長ノ指揮スル部隊ヲ オシコボ Osikovo ヨリ ロム Lom チェルコフナ Cerkovna ニ槍騎兵第八聯隊ノ二 中隊ヲ コバコボフ Kovacovic ニ出シ又 [ドン]哥薩克騎兵第八聯隊第一第五中隊 オプカ Opaka ニ 此日同地ニ在リテ東南 ガゴボ Gagovo 附近ニ出シ ポポボ Popovo 附近ノ騎兵第十三師團方ニ對シ警戒ニ任セリ 此等三個ノ部隊ハ同日 軍團長ハ三十一日諸情報ヲ綜合ノ一部隊ト連絡セシム 各指定ノ地ニ到著ス ルスク Rusuk-Razgrad 道上及其南方 サディナ Sadina 附近ニハ是日土軍ノ在否ヲ確メサリシモ アジャザル Ajazlar 附近 カラ Kara Lom 河右岸森林緣端ニハ同日延長セル步哨線アリテ其後方 サタン、キザリヤ、タフナシフ Sultan, Kizillar, Tavnasif 及 アク Ak-Mehmedi ノ地ハ何レモ歩兵ニ依リテ占領セラレ ウムスキ Vmurski 河上流 スパーラル Spahlar 附近ニハ三十日敵ノ步哨線アリテ其後方 バテムスルゲ Batemberg ニハ 諸兵連合ノ部隊アリシコトヲ知り散在セル諸隊ヲ集結セントセシカ三十一日未タ之ヲ實行スルニ至ラスシテ概ネ前日ノ位置ニ在リ

以上ノ如クシテ七月末日「ルスチユック」兵團ノ位置ノ概要左ノ如シ

第十三軍團 歩兵第一師團長中將プロクロフノ指揮スル部隊歩兵第一師團第一旅團

〔大隊欠砲兵第一旅團第一第四中隊、槍騎兵第八聯隊、
Fン〕哥薩克騎兵第八聯隊、二中隊、缺騎砲兵第十五中隊

Osmanbazarニ對シ主力ヲ以テ

Lom Cerkovina ヲ騎兵ヲ以テ Kovacovic Gajovo ヲ占領シ歩兵第三十五師

團ハ Osikovo, Vrendzik, Karan Vrbovka ノ各地ニ在リ但シ Karan Vrbovka ニ

ハ歩兵第三百三十七聯隊砲兵第三十五旅團第三第六中隊ノ外軍團司令部、

歩兵第一師團所屬ノ砲兵第三第六中隊並ニ「ドン」哥薩克騎兵第八聯隊ノ

二中隊、同第十三聯隊ノ一中隊アリテ軍團豫備隊ト爲リ又歩兵第三百三十

八聯隊及砲兵第三十五旅團ノ一中隊ハ一時騎兵第八師團ニ屬シ Vmur

ski Lom 河ノ右岸ニ在リ

騎兵團歩兵第三百三十八聯隊、驃騎兵第八聯隊、龍騎兵第十二聯隊、
聯隊、Dン〕哥薩克騎兵第十二聯隊、同騎砲兵第九中隊

第十三軍團ト第十二軍團トノ中間地域ニ在リテ Razgrad 方向ニ對シテ Sadina, Kostandenc, Nisovo

ノ各地ヲ占領シ主力ハ Kacerevo 附近ニ在リ

第十二軍團 歩兵第三十三師團、騎兵第十二師團(一聯隊欠)ハ Kozovo, Ivanovo, Gjur Ceshne 附近ノ各地ヲ歩兵第十二師團第一旅團、砲兵第十二旅團

第一第四中隊ハ Pirgoz ヲ占領シ殘餘歩兵第十二師團第二旅團、歩兵第四十八聯隊ノ
一大隊、缺砲兵第十二旅團(二中隊、缺)〕「ドン」哥薩克

騎兵第三十七聯隊ハ軍團豫備隊ト爲リ軍團司令部ト共ニ Trostenik ニ在リ

「ルスチユック」兵團司令部ハ歩兵第一聯隊ノ一大隊、同第四十八聯隊ノ一

大隊、騎兵二中隊ト共ニ Obreten ニ在リ

歩兵第一師團第二旅團、砲兵第一旅團第二第五中隊ハ大本營所在地ノ Bela

ニ在リ

其三 下流「ドナウ」兵團及「アツレル」支隊ノ行動

下流「ドナウ」兵團司令官中將チンメルマンツエルナボキハ Cernavoda ヨリ Constantia(Kistse-

ndze)ニ至ル線ヲ占領シタル後七月二十一日左ノ如ク位置セリ

Cernavoda 附近ニハ第十七師團アリテ其砲兵ト共ニ少將ポロコフニコフ

ニ屬シ其東南方ニハ中將ナルブートノ第十八師團アリ同師團第二旅團

七月二十一日
下流「ドナウ」兵團
ノ位置(一團
照圖第四參)

(二大隊欠)ハ砲兵第十八旅團ノ第二第五第六中隊ト共ニ *Aribacair* 附近ニ、
 同第一旅團ハ砲兵第十八旅團第一第三第四中隊ト共ニ其西方 *Burjak* 村
 落 此村落ハ最早存在セサルモ *Aribacair* ノ西方約五吉米ニ在リタリ 附近ニ步兵第七十二聯隊ノ第一大隊ハ
Medgidia (Medzidje) ニ軍團司令部ハ *Cernavoda* ニ在リ

[ドン]哥薩克騎兵師團(長中將シアムシエフ)ハ前記諸隊ノ前方半日行程ニ
 在リテ警戒ニ任シ其第一旅團ハ[ドン]哥薩克騎砲兵第十一第十六中隊ト
 共ニ *Mulcova (Malcev)* ニ同第二旅團ハ[ドン]哥薩克騎砲兵第十七中隊ト共
 ニ *Mamucius (Mamuchio)* ニ舍營シ同師團ニ屬セサル[ドン]哥薩克騎兵第
 二十九聯隊ハ[ドン]哥薩克騎砲兵第四中隊ト共ニ黑海沿岸 *Constanța* ヲ占
 領セリ

[ドン]哥薩克騎兵第四十聯隊四中隊及同騎砲兵第四中隊ノ二門ハ *Caltrasi*
 ニ又少將アレクサンドロフ支隊步兵第六十一聯隊[ドン]哥薩克騎兵第四
 聯隊砲兵第十六旅團第一中隊ハ下流 *Donau* 河畔 *Galatz, Izmait* 及 *Gatlesti*

騎兵部隊ノ
敵情偵察ノ

附近ニ在リ 露土兩軍作戰
地總圖參照

[ドン]哥薩克騎兵第一師團ハ下流[ドナウ]兵團ノ *Cernavoda-Constanța* ノ線占領
 後兵團ノ直前ニ在リテ既記ノ如ク警戒ニ任シ搜索ニ重キヲ置カサリシカ
 故ニ七月中旬以後全ク敵トノ接觸ヲ失ヘリ 當時哥薩克騎兵諸聯隊ハ糞ニ *Donau* 河
 汎濫地ニ於テ風々水中ヲ通過シ之カ爲
 今ヤ多クノ乗鞍缺損シ爲ニ多數ノ鞍傷馬ヲ生シ馬
 匹ニ大ナル要求ヲ爲ス能ハサル情況ニ在リタリト

二十三日[ドン]哥薩克騎兵第二十九聯隊ノ三中隊[ドン]哥薩克騎砲兵第四中
 隊ノ二門ハ侍從武官大尉ミリュチンノ指揮ニ屬シ *Constanța* ヲリ *Musurat* ヲ
 越エ *Mangalia* ニ前進セリ同日同一ノ兵力ヲ有スル一部隊モ[ドン]哥薩克騎
 兵師團第二旅團長ノ命令ニ依リ *Mamucius* ヲリ *Vaular* ヲ越エテ *Mangalia*
 ニ向ヒ出發セリ

大尉ミリュチンハ二十四日正午途中敵兵ニ出會スルコト無ク *Mangalia* ヲ
 占領シ騎兵第二旅團所屬ノ部隊ハ之ニ次テ同地ニ到着セシモ亦途中敵兵
 ニ出會セス兩部隊ハ二十六日往路ト路ヲ異ニシ各出發地點ニ退キ騎兵第

二旅團所ノ支隊ハ歸途 カラバツOrbaca 村落附近ニ於テ不正規騎兵ヨリ成ル少數ノ敵兵ト戦ヒ死者二名ヲ生セリ

二十七日「ドン」哥薩克騎兵第十五聯隊ノ四中隊ハ「ドン」哥薩克騎兵師團參謀長大佐イワノフノ指揮ニ屬シ ムルチオバMulcova ヨリ南方ニ前遣セラレタリ同隊ハ シュエンデルSchender ヲ經 ムスベイMusbej (約三十五吉米)迄前進シ ドブリツDobrič (Hadzioglu Pazarižik) ヲ距ル約二十七吉米ノ地ニ止リシモ毫モ土軍ノ所在ヲ確知スル能ハス然レトモ此偵察ニ因リ砲兵及輜重ヲシテ ムルチオバMulcova 及 ムスベイMusbej 間ノ道路ヲ通過セシムルコト甚タ困難ニシテ同地方ハ概シテ飲料水ニ乏シク且給養品ヲ得ル能ハサルヲ確定スルヲ得タリ

之ヲ要スルニ露軍ハ前記騎兵部隊ノ諸偵察ニ依リ コンスタツツヘルナボConstanta, Cernavoda 線ノ前方四十乃至五十吉米ノ地ニハ敵兵ノ存在セサルコトヲ確定セリ其他當時兵團司令官ハ間諜及遁逃シ來レル布爾牙利人ノ報告ニ依リ左ノ概況ヲ知ルヲ得タリ

兵團司令官ノ敵情判斷

メヂヂヂMedgidia (Medzidje) 附近ノ陣地ヲ占有シタル土軍ハアリ、リサパシアノ指揮ノ下ニ ドブリツDobrič 方向ニ退却シ此地ニ於テ スニムラSunla 及 バルナVarna ヨリ來ル増援隊ニ合セリ七月下旬頃 ドブリツDobrič 附近ノ敵兵ハ一萬五千乃至二萬ヲ算シ其大部分ハ埃及軍隊ニシテ最近ニ バルナVarna ニ上陸セリ 中將チンメルマンハ既ニ後俘虜トセル土軍將校ヨリ埃及軍團即チ步兵十八大隊砲兵四中隊(步兵一大隊ハ九百名砲兵一中隊ハ六門ヨリ成ル)ノ バルナVarna 上陸ニ關スル重要ノ諜報ヲ得其後直ニ他ノ報告ニ依リ其情報確知ナリ 此等敵兵ハ風説ニヨレハDobručka ニ於テ下流「ドナウ」兵團ニ對抗スルノ企圖ヲ有スルモノノ如シ而シテ埃及王ノ子ハツサンハ ドブリツDobrič 周圍ニ集中セル軍隊ヲ指揮スルカ如シ又 シリスタSilistra ノ守兵ノ數ハ一萬乃至一萬二千ニシテ バルナVarna ノ守兵ハ軍隊ノ移動アリシヲ以テ其數正確ナラサルモ要塞内ニハ常ニ少クモ一萬ノ兵ヲ有シタルカ如シ 當時實際土軍ハ千五百 シリスタSilistra ニ一萬五千六百 バルナVarna ニ八千九百名ヲ有セシモノノ如シ

中將チンメルマンハ前記土軍ノ兵力及集合ニ關スル情況ヲ判斷シ爾後ニ於ケル兵團ノ攻撃前進ハ一般ノ情況ニ適應セサルコトヲ認メ二十七日軍

司令部ニ左ノ報告ヲ爲シタリ

兵團ハ作戰目標トシテ Silistria, Dobrujaニ著目スヘキカ如シト雖モ往時露土戰役ノ經驗ニ徴スルトキハ茲ニ所謂往時露土戰役トハ露土兩國前々戰役即チ千八百二十八九年ノ戰役ヲ謂フ同役ニ於テ露軍ハ二十八年ニ同要塞ヲ攻圍シテ占領スルヲ得ス翌二十九年ニ軍團攻圍之カ攻略ニ要スヘキ兵力半ニシテ一軍團ニ減少スヲ以テ約四十餘日ヲ費シ攻略セリ内ニ在ルヨリモ著大ノ兵力ヲ要スヘキヲ以テ Silistriaニ對スル攻撃ハ結局之ヲ斷念セサルヘカラス又此ニ考慮スヘキハ Dobrujaニ對スル攻撃ハ如何ナル效果ヲ得ヘキヤ同市ヲ略奪セハ如何ナル利益ヲ生スヘキヤニ在リ

當時中將チンメルマンハ左ノ如ク情況ヲ判斷セリ

1. Dobruja 攻撃ノ場合ニハ Cernavoda, Constantia 間ノ固守竝ニ又 Silistriaニ對シテ兵團ノ右側ヲ警戒スル爲歩兵二聯隊ト之ニ適當セル騎兵及砲兵ヲ使用セサル可カラス其結果攻勢作戰ノ爲ニ使用シ得ヘキモノハ歩兵六聯隊ト騎兵及砲兵トニ過キス而シテ此兵力ヲ以テ築城セル敵

陣地ニ對シ攻撃ヲ企圖スルモ多ク效果ヲ得ル能ハサルヘシ何トナレハ敵ハ一萬五千乃至二萬ノ兵力ヲ有シ且 Varna ヲ距ル約四十五吉米ニ過キサレハナリ

1. Dobruja ヲ占領スルモ特別ノ利益ヲ得ル能ハサルノミナラス同市占有後ハ恐ラク兵團ヲシテ其連絡線ノ警戒ヲ甚タ困難ナラシムヘキ不利ノ情況ニ至ラシムルナラン要スルニ土軍 Sulina 河口ノ地ヲ占有シドナウ艦隊ノ活動スル間ハ全然危險無シト云フヘカラス又黒海沿岸殊ニ Constantia 附近ハ土軍ノ上陸ヲ企圖スルコトアルヤモ知レス

以上ノ理由ニ依リ下流ドナウ兵團司令官ハ二十四日歩兵第十八師團第二旅團長少將ドナウロフニ歩兵第七十一聯隊及砲兵第十八旅團第一中隊ヲ屬シ Constantiaニ差遣シ其後直ニ中將チンメルマンモ亦自ラ Constantiaニ赴キ黒海沿岸ヲ偵察シ敵艦船ノ海岸ニ近ク航行シ小舟及小艇ヲ有セスシテ上陸シ得ヘキコトヲ認メ二十五日少將ドナウロフ支隊ノ到着後直ニ Constantia

Constantia
附近守備兵
ノ増加及敵
艦來襲

staniaノ沿岸ニ三個ノ海岸野戰砲臺ヲ築設セシム
 二十九日早朝土軍ノ甲鐵艦二隻ハ Constantiaノ前方ニ現出シ終日市ノ前ニ
 遊弋シ其狀恰モ偵察ヲ行フカ如シ少將ドナウロフハ敵兵上陸ヲ決行スル
 モノト判断シ直ニ之ヲ兵團司令官ニ報告シ而シテ敵ノ攻撃ニ對シ市ノ北
 端ニ砲二門ヲ搬送シ陣地ヲ占領セシム
 三十日午前六時土軍ノ甲鐵艦再ヒ Constantiaニ近接シ市ニ近キ岬ヲ迂回シ
 テ市ノ南方ニ出テ約二千百米突ノ距離ヨリ砲兵第十八旅團第一中隊ノ砲
 二門ヲ以テ占領セル同地ノ海岸砲臺ニ向ヒ射撃ヲ開始シ同砲臺之ニ應戰
 シ同中隊ノ主力モ亦直ニ砲戰ニ參與ス彼我各約二十彈ヲ發射シタルトキ
 露軍ノ一砲彈一甲鐵艦ノ司令塔ニ命中シ又他ノ一榴彈ハ舵ノ近傍ニ爆破
 シ之カ爲午前十一時ニ至リ敵艦ハ射撃ヲ中止シテ退去シ露軍ニ損害無シ
 是ヨリ先二十九日中將チンメルマンハ Alba Clairニ在リテ少將ドナウロフ
 ヨリ Constantiaニ土軍戰艦ノ現出ニ關スル報告ヲ受ケ同日直ニ Alba Clairニ

在ル部隊ノ内歩兵第七十二聯隊ノ約二大隊 第三大隊ハ Dobruja 及砲兵第三及
 第四中隊ヲ中將ナルブートニ屬シ之ヲシテ輕裝急行シテ速ニ Constantiaニ
 到リ同地ノ部隊ニ増加セシメ同夜又二十四斤砲二門ヲ鐵道ニ由リ Cernavoda
 daニリ Constantiaニ搬致セシム而シテ同砲二門ハ三十日恰モ砲戰中 Constantia
 ニ到着シ戰鬪後市ノ北部ニ設ケラレタル砲臺内ニ配置セラレ中將ナルブ
 ートノ部隊モ同日到着セリ 此火砲ハ Cernavodaニ在ル河岸砲 同日夕中將チンメル
 マンハ布爾牙利人ヨリ Mangaliaニ約歩兵二千五百不正規騎兵六百及砲四
 門ヲ有スル敵兵ノ到着シタルヲ知り敵ハ Constantiaヲ作戰目標トシテ前進
 スルモノナラント判断シ 英國新聞通信員モ亦 Dobruja内ニ作戰スル土軍ノ作戰目標ヲ
 サンハ Cernavoda Constantiaノ線ニ向ヒ前進シ水陸兩方面ヨリ攻撃シ之ト同 諸隊ヲ Constantia方
 時ニ Silistriaヨリ Cernavodaニ守備兵ノ一部及モニター艦ヲ差遣セシト
 向ニ移スノ準備ヲ爲セリ然レトモ土軍 Constantiaニ對シ攻撃ヲ行フナラン
 トノ判断ハ實現セララルニ至ラス且諸情報ニ依リテ其誤謬ナリシコトヲ

證セラレタリ 埃及王子ハツサンノ部隊ハ Varna ニ上陸後四角要塞ノ西方面ニ招致セラレ
即チドン哥薩克騎兵第二十九聯隊ノ斥候ハ Mangaliaノ南方ニ敵兵ノ存在
 セサルコトヲ報告シ又四百乃至七百ノ騎兵及砲二門ヲ有スル不正規騎兵
 ノ一群ハ二十九日 Mangariaニ止マリシモ翌日 Balcik 方向ニ退却シタル事
 實モ明瞭ト爲リ下流「ドナウ」兵團ハ Cernavoda, Constantiaノ線ニ停止スルニ至
 レリ

ツヘルナボエ
 Cernavoda
 附近河岸砲
 臺ノ構築

少將アレク
 サンドロフ

是ヨリ先下流「ドナウ」兵團ハ Cernavodaノ占領後「ドナウ」河ノ流域ヲ掃射ス
 ル目的ヲ以テ同市南方八吉米ニ在ル小堡ニ砲臺ヲ構築シ 同砲臺ハ Mangaria 村落
 ナ射撃 七月十九日同處ニ二十四斤砲四門ヲ配備シ 其内二門ハ「ヒルソヴァ」砲臺ヨ
 シ得 ニ至ル迄 七月十九日同處ニ二十四斤砲四門ヲ配備シ 其内二門ハ「ヒルソヴァ」砲臺ヨ
 臺ヨリ取リタルモノトス然レトモ既記ノ如ク其後同砲臺ハ兵備ヲ解キ先 Consentia 又其後直
 ニ二門ヲ運搬シ後他ノ二門ヲモ同地ニ搬致シテ同地海岸防禦ノ用ニ供セリ
 ニ同一ノ目的ヲ以テ Haisova 附近ノ Porcea 支流及 Cernavodaノ上部四吉米
 ニ於ケル「ドナウ」河中ニ水雷ヲ敷設セリ又少將アレクサンドロフノ部隊歩
 兵第六十一聯隊、豫備歩兵第三大隊 此大隊ハ七月上旬支隊 砲兵第十六旅團ノ第

部隊ノ情況
 (露土兩軍
 作戰地總圖
 參照)

一中隊「ドン」哥薩克騎兵第四聯隊及「テレク」山地騎兵聯隊 「テレク」山地騎兵聯隊ノ
哥薩克騎兵 二中隊ヨリ、第二半部ハ「イングーゼン」哥薩克騎兵二中隊ヨリ成ルモノニシテ高加ト哥薩
克騎兵師團ノ 團隊ニ屬セリ第二半部ハ「オデッサ」軍管区内ニ騎兵不足セシヲ以テ五月二十二日鐵道
ニ由リ Fratescoヨリ Odessaニ轉送セラレ後「オデッサ」軍管區司令官ノ建議ニ依リ七月下旬「ドナウ」河口ニ
 到リ中將ウエレウキン支隊ニ屬シ次テ少將アレクサンドロフ部隊ニ轉屬セルモノトス
 ハ下流「ドナウ」兵團後方連絡線ノ警戒特ニ土國黑海艦隊ニ對シ「ドナウ」河口
 ニ上陸スルヲ防禦スル任務ヲ有シ下流「ドナウ」河流域ニ在リシカ七月二十
 日少將アレクサンドロフハ敵兵 Silistraヨリ前進シ來ルヘキヲ顧慮シ之
 ニ對スルカ爲歩兵第六十一聯隊ノ五中隊、哥薩克騎兵一中隊、山地騎兵聯隊
 ノ第一半部及砲四門ヲ「Haisova」ニ轉置シ自餘歩兵第六十一聯隊ノ三中隊、豫
 備歩兵第三大隊ノ第一中隊及哥薩克騎兵一中隊ハ Braliaニ豫備歩兵一中
 隊及哥薩克騎兵一小隊ハ Galatzニ哥薩克騎兵半中隊ハ Lisoccaニ哥薩克騎
 兵一中隊ハ Tulceaニ歩兵第六十一聯隊ノ七中隊、豫備歩兵第三大隊ノ二中
 隊、砲四門、哥薩克騎兵二中隊ト一小隊及山地騎兵聯隊ノ第一半部ハ Galatz
 ニ近ク Prut河右岸ニ在リタリ

下流「ドナウ」流域守備兵ノ交代

是ヨリ先侍從武官長セメカハ七月上半期陸軍大臣ニ Donau 河口地域ヲ占領スル場合ニ關スル意見ヲ開陳シテ曰ク「下流ドナウ」兵團 Cernavoda, Constanta ノ線ニ前進スルニ當リ其背後及左翼ノ後方ニ在ル Donau 河口三角洲ヲ尙土軍ノ手中ニ置クハ甚タ不快トスル所ナリ又 Wilkow ハ Kilija (Kilia) 河口ノ數多支流ノ分岐部ニ近ク甚タ重要ノ位置ニ在リ而シテ其河口ハ Sulina ニ在ル土國艦隊ノ碇泊所ニ近シ同處ニ黑海艦隊ノ一隻若シクハ二隻ノ汽船及水雷艇若干ヲ招致セハ機ヲ失スルコト無ク攻勢動作ニ出テシムルヲ得ヘシ故ニ先若干大隊ヲ以テ Wilkow ヲ占領シ其後先 Letea 島 Kilia 支流及ニ在ル三角洲ノ部分ハ Wilkow ノ南方約十次テ Sulina 河口支流ノ右岸ニ據リ以テ八吉米ニ在ル Letea ノ地名ニ從テ命名セリ 逐次敵艦船ノ動作ヲ全ク拘束スヘキナリ」ト此建議ハ皇帝ノ允許スル所ト爲リ前記ノ任務ハ七月二十日頃將官ウエレウキンノ指揮スル混成師團歩兵第三十六師團ノ三聯隊、砲兵四中隊、龍騎兵第七聯隊、ドン「哥薩克騎兵第七聯隊」ノ一中隊及騎砲兵第十三中隊ニ下命セラレタリ同師團ハ之ト同時ニ

「アツレル」支隊ノ行動

少將アレクサンドロフ部隊ノ占領セシ下流 Donau 河ノ諸地點ヲ占領スヘキ任務ヲモ受ケタリ但シ Harsova ハ中將チンメルマンノ部隊ニ依リ占領セララルニ至レリ是ニ於テ少將ウエレウキンノ部隊ハ少將アレクサンドロフノ部隊ト交代シ 八月上旬ニ於テ 爾後「オデツサ」軍管區司令官ノ隷下ニ屬シ下流「ドナウ」師團ノ名稱ヲ附セラレ中將チンメルマンノ軍隊ト常ニ接觸ヲ保チタリシモ全ク之ト獨立シテ作戰スルニ至レリ

七月中旬「アツレル」支隊 長歩兵第三十二師團長中將「アツレル」歩兵第三十二師團第二旅團砲騎兵第三十一聯隊 兵第三十二旅團第二中隊騎兵第十一師團第二旅團「ドン」哥薩克隊工兵半中隊 ハ Girgevo ヨリ Calarasi ノ西側ニ互ル Donau 河左岸ノ守備ニ任シ七月下旬概ネ左ノ如ク位置ス

騎兵部隊ハ Donau 河左岸ニ沿ヒ Paraipani (Parapan) 又ハ Malui d.s.) 附近ヨリ Calarasi ノ西北約十吉米ニ互ル間ノ警戒ニ任シ「ドン」哥薩克騎兵第三十一聯隊第五中隊ハ Paraipani 附近ニ、驃騎兵第十一聯隊長ノ指揮スル同聯隊及「ドン」哥薩克騎兵第十一聯隊第二第五中隊同第三十一聯隊第三中

隊ハ Oimac (Gingervo) ノ東北方八吉米附近ニ位置シ「ドン」哥薩克騎兵第三十一聯隊第二第六中隊ハ Olenia 附近ニ「ドン」哥薩克騎兵第十一聯隊第一第三第四及第六中隊ハ Umeni (Olenia) ノ東北方九吉米附近ニ在リ各其一部ヲ河岸ノ哨兵ト爲ス

「ドン」哥薩克騎兵第三十一聯隊第一中隊ハ Gingervo, Slatina 鐵道沿線ノ電信線警戒ニ任ス

步兵ハ二群ト爲リ Gingervo 及 Olenia ニ位置シ Gingervo 附近ニ在ルモ

ノハ步兵第二百二十七聯隊第一大隊及同第二百二十八聯隊砲兵第三十二旅團第二中隊ニシテ步兵第二旅團長之ヲ指揮シ又 Olenia 附近ニ在ルモ

ノハ步兵第二百二十七聯隊(一大隊欠)砲兵第三十二旅團ノ第五中隊ニシテ Tnutkai ノ土軍ト相對ス

當時 Rusuk 對岸ニハ同地要塞砲擊ノ目的ヲ以テ攻城砲臺ヲ増築シ Gingervo 附近ニ九個 二十五冊米白砲八門、二十冊米白砲八門、巴拉伊米ニ一個 二十五冊米白砲二門、Camra 附近ニ九個 二十五冊米白砲八門、二十冊米白砲八門、合計三十四門、Taraipani ニ一個 二十五冊米白砲二門、Camra

合流點附近 Chahar 流十五吉米 ノ下 ニ一個 十五冊米白砲二門、同加農砲三門 ノ攻城砲臺ヲ見ルニ至レリ
工兵第二大隊第三第四中隊ハ七月二十七日 Stobozna ニ到着シ從來支隊ニ屬セシ工兵第五大隊第四中隊半部ト共ニ一時此等攻城砲臺ノ築設ニ從事シタリ

四 西方面ノ作戰

其一 Plevna 第二會戰前ノ情況

七月二十一日步兵第五師團長中將シルデル、シユルデネルノ部隊 步兵第十八及第二十聯隊砲兵第五旅團第三中隊、砲兵第三十一旅團第六中隊「ドン」哥薩克騎兵第一聯隊、砲兵第九聯隊「ドン」哥薩克騎兵第二中隊、工兵第五大隊ノ一中隊、會戰ノ失敗後 Brosljanica 附近ニ駐止シ隊伍ノ整頓ヲ爲シ 「ドン」哥薩克騎兵第三中隊、河畔ノ偵 高加士哥薩克騎兵旅團長大佐ツトルミンノ部隊 步兵第十九聯隊、砲兵旅團騎兵十二中隊、騎山砲兵一 中隊、砲兵第三十一旅團第五中隊、ハ中將シルデル、シユルデネルノ命令ニ依リ Tuzki Trostenik ヲ出發シ 是時迄ニ分遣シ在リシ騎 Bigarene 附近ニ到リ Plevna-Distov 道ヲ監視ス 步兵第十九聯隊砲兵第三十一旅團第五中隊ハ七月二十日ノ會戰ニ於テ大ナル損害ヲ受ケ且裝備モ缺損シ到底野戰ノ用ニ堪ヘサルニ至リシヲ以テ Nikopoli 要塞ニ復歸セシメラレ二十四日大佐ツトルミンノ 同日夕迄ニ増援トシテ Nikopoli ヨリ步兵 第二百二十三聯隊同第二百二十一聯隊ノ一大隊、步兵第三十一師團第一旅團ノ

七月二十一日西部兵團ノ情況(附圖第二十七参照)

撒兵五中隊、砲兵第三十一旅團ノ第一第二中隊ノ諸隊 *Brojjanica* ニ來著シ
同夜ニ於ケル西部兵團諸隊ノ位置左ノ如シ

中將シルデル、シユルデネルハ步兵第十七第十八聯隊、同第二百二十一聯隊
ノ一大隊、同第二百二十三聯隊、步兵第三十一師團第一旅團ノ撒兵五中隊、砲
兵第五旅團第三中隊、同第三十一旅團第一第二第六中隊、工兵第五大隊
ノ一中隊ト共ニ *Brojjanica* ニ位置シ步兵第二十聯隊、槍騎兵第九聯隊「ド
ン」哥薩克騎兵第九聯隊、同騎砲兵第二中隊ハ *Red. Kolesovut* 附近ニ高加士
哥薩克騎兵旅團長大佐ツトルミンノ部隊ハ *Bigarene* ニ位置シテ共ニ *Ple-*
vna ニ對シテ *Vit* 河岸ヨリ *Riben*, *Vrbica*, *Bigarski Karagac* ヨリ *Kamenec* ニ
互ル間ヲ警戒ス

步兵第三十一師團司令部、同第一旅團 步兵第二百二十一聯隊第一「ドン」哥薩克騎兵
第二大隊及撒兵五中隊欠 第三十四聯隊ノ四中隊、砲兵第三十一旅團第三第四中隊ハ *Nikopoli* 附近
ニ駐リ要塞ノ占領及俘虜ノ監視ニ任シ「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ

一中隊ハ *Gaurene* 附近ニ在リテ西方ニ對シテ *Vit* 河畔ノ警戒ニ任シ歩
兵第二百二十四聯隊「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ一中隊、砲兵第五旅團
ノ第三中隊ハ依然 *Sislov* 附近ニ在リテ橋梁ノ直接掩護ニ任ス
兵團司令部ハ是日 *Nikopoli* ヨリ *Brojjanica* ニ到リ同地ニ宿營ス
此頃羅馬尼軍ノ一部ハ *Nikopoli* 對岸ノ地ニ到著セリ

七月二十三日西部兵團司令官中將クリユデネルハ曩ニ軍司令官ニ請求シ
タル増援兵ノ事ニ關シ未タ何等ノ通報ニ接セサリシヲ以テ更ニ軍司令部
ニ *Plevna* 再攻撃ノ爲ニ増援兵ノ必要缺クヘカラサルヲ報告シ翌二十四日
軍參謀長ヨリ之ニ關スル通報ヲ受ケ増援トシテ第十一軍團長中將シアコ
ウスコエノ指揮スル左ノ部隊 *Causka-Mahla* (Bigarene) 東方 *Osna* 河右岸ニ
來著スヘキヲ知レリ

第四軍團ノ内既ニ *Donau* 河ヲ渡過シタル步兵第三十師團第一旅團、砲兵
第三十旅團ノ三中隊ハ *Carevec* ヨリ、第十一軍團ノ内步兵第三十二師團

歩兵第三十師團ノ半部増加(附圖第二十八參照)

第一旅團、砲兵第三十二旅團(第二第五中隊欠)ハ Dragano^{ドラガノ}ヨリ、又騎兵第十一師團(第二旅團欠)ハ Cajir^{チャイ}ヨリ

歩兵第三十師團第一旅團、砲兵第三十旅團ノ三中隊ハ第四軍團ノ先頭ニ前進シ二十一日 Donau^{ドナウ}河ヲ渡リ Carevec^{ツアレック}ニ在リシカ軍司令官ヨリ Causka-Mahla^{ツァウツカマハ}ニ前進シテ中將シアコウスコエノ指揮ニ屬スヘキ命令ヲ受ケシモ二十二日出發スルコト能ハスシテ二十三日 Carevec^{ツアレック}出發同日 Ova-Mogila^{オヴァモギラ}ニ二十四日 Causka-Mahla^{ツァウツカマハ}ニ達シ中將シアコウスコエノ令下ニ入レリ

中將シアコウスコエハ二十一日 Dragano^{ドラガノ}ニ於テ軍司令官ヨリ現ニ指揮スル諸隊(歩兵第三十二師團第一旅團、砲兵第三十二旅團(第二第五中隊欠)及騎兵第十一師團(第二旅團欠)ヲ率キ Causka-Mahla^{ツァウツカマハ}ニ前進シ西部兵團ヲ増加スヘキ命令ヲ受領シ二十二日歩兵第三十二師團第一旅團、砲兵第三十二旅團(第二第五中隊欠)ハ Dragano^{ドラガノ}ヲ騎兵第十一師團(第二旅團欠)ハ Cajir^{チャイ}ヲ出發シ共ニ Causka-Mahla^{ツァウツカマハ}ニ到ラシム乃チ歩兵第三十二師團第一旅團、砲兵第三

第十一軍團一部ノ増加

歩兵第三十師團殘餘ノ増加

十二旅團(第二第五中隊欠)ハ Nikjup, Jajdi^{ニクジュプ、ジャジ}ヲ經テ騎兵第十一師團(第二旅團欠)ハ Polski-Senovec, Kara-I-en^{ポルスキセノヴェツ、カライエン}ヲ經テ二十四日共ニ Causka-Mahla^{ツァウツカマハ}ニ達シ尋テ騎兵第十一師團(第二旅團欠)ハ中將シアコウスコエノ命令ニ依リ二十五日 Bigarone^{ビガロネ}附近ニ在リシ大佐ツトルミンノ支隊ト共ニ前進シテ Bigarski-Knaragac^{ビガルスキクナラガツ}ニ到リ中將シアコウスコエモ亦二十四日 Causka-Mahla^{ツァウツカマハ}ニ著ス

二十四日ニハ第四軍團ノ内恰モ渡河ヲ畢リタル歩兵第三十師團(第二旅團砲兵第三十旅團ノ三中隊モ亦中將シアコウスコエノ令下ニ入ルヘキ命令ヲ受ケ午後八時出發 ^{プレブナ}Plavna 方向ニ出發セリ

以上ノ如クシテ二十四日中將シアコウスコエハ自己ノ隷下ニ屬セシメラレタル西部兵團増加部隊(歩兵十二大隊、騎兵八中隊、野砲兵七中隊、騎砲兵二中隊)ヲ中將クリュデネルノ部隊ヲ距ル約一日行程ノ地點ニ集合シ尙近ク歩兵六大隊、砲兵三中隊ヲ掌握セントスルノ情況ト爲レリ

歩兵第十九聯隊、砲兵第三十一旅團第五中隊ハ二十四日 Bigarone^{ビガロネ} 出發 Ni-

ロポリニ向ヘリ

二十五日中將クリユデネルハ軍司令官ヨリ左ノ電報ヲ接手セリ

只今到著セル情報ニ依レハ土軍ハ昨二十四日大ナル兵力ヲ以テ Plevna

ヨリ Lovca ニ退却スルモノノ如シ貴官ハ所屬騎兵ヲ以テ決シテ此等ノ

敵兵ヲ逸スルコト無キヲ期スヘシ敵若シ Sevljevo (Seljvi)ニ轉進スルノ形

跡アラハ貴官ハ歩兵ヲ以テ敵ヲ攻撃シ之ヲシテ其地ニ達セサラシムヘ

シ又此形跡無キトキハ貴官ハ敵ヲ追撃シ觸接ヲ失フコト無キヲ要ス中

將シアコウスコエニハ貴官ヨリ之ニ關スル通報ヲ爲シ若シ敵ノ Lovca

ニ退却スルコト事實ナラハ直ニ Lovcaニ向ヒ追撃スヘキコトヲ命令ス

ヘシ

因テ中將クリユデネルハ少將スコベレフ 同少將ハ是日 Bistritski-Karagradニ到著シ既

克騎兵旅團及 Lovca 方面ニ在ル中佐バクラノフノ部隊「ドン」哥薩克騎兵第二十三聯隊ノ二中隊同第

三十聯隊ノ第二第六中隊ウラヂカウカツ「哥薩克騎兵半中隊」「哥薩克騎兵第六中隊」ノ二門ヲ併

セ指揮シ Plevna-Lovca-Sevljevo-Frnovo 道ヲ掩護シ且 ヲシテ Drenov ヲ經テ Lovcaニ向ヒ

Plevnaノ敵情ノ偵察ニ任スヘキ命令ヲ受ケタリ

前進セシメタリ

二十六日中將クリユデネルハ第十一軍團長、歩兵第五師團長、騎兵第九師團

長、砲兵第九旅團長及軍司令部ヨリノ派遣將校少將イメレチンスキー等ヲ

會シ Bro Janica ノ第九軍團司令部ニ軍事會議ヲ開ク是時迄ニ兵團司令官

ハ歩兵第五師團長及第十一軍團長ニ命シテ參謀及砲兵將校ヨリ成ル數多

ノ斥候ヲ派遣シテ Plevnaノ敵陣地ヲ偵察セシメシ結果ト其他ノ情報トヲ

綜合シテ左ノ敵情ヲ知得セリ

一 Plevnaノ土軍兵力ハ土人ノ言ニ依ルニ約五六萬人ト砲六十乃至七十

五門ヨリ成レリ

二 敵ノ陣地ハ大體ニ於テ變更セスト雖モ市ノ北方及東方ニ於テ擴張セ

ラレ其北方面ニ於テハ全ク前哨ヲ配置セス東方面ニハ僅カニ薄弱ナ

ル步哨線アリ又土軍陣地ノ左翼 Opancec 方面ハ全ク防禦工事無ク中央

(北方ニ面スル部分)ハ概シテ攀登困難ナル高地斜面上ニ堅固ナル工事

第十二章 七月二十一日ヨリ同三十一日ニ至ル作戦

一六一

ヲ施シ右翼ハ Grivica ノ角面堡ニ依托セラレアリ

軍事會議ノ結果西部兵團司令官ハ東方及東南方ヨリ Plevna ヲ攻撃セント決セシモ約倍數ノ敵ヲ攻撃スルコトノ果シテ機宜ニ適スルヤ否ヤヲ疑ヒ情ヲ軍司令官ニ具シテ更ニ命令ヲ仰カント欲シ左ノ報告ヲ呈セリ

諸種ノ情報ニ依レハ Plevna ニ在ル土軍ハ日ヲ逐フテ其數ヲ増加シ二十
六日ニハ約五六萬ニ達セシモノノ如ク其兵力歩兵四十大隊以上正規騎
兵若干及多クノ不正規騎兵ヨリ成リ共ニ各方面ヨリ Plevna ニ麇集セル
モノニシテ尙六十乃至七十五門ノ砲ヲ有スルモノノ如シ敵ハ天險ニ據
リ其陣地タル北及東ハ Opancec ヨリ Grivica ニ互リ南ハ Radisavo 附近ニ
於テ Plevna ヲ圍繞セル高地上ニ在リテ盛ニ堡壘及障碍物等ヲ築設シテ
防備ヲ嚴ニス之ニ對シ我軍ハ此陣地ヲ攻撃スル爲第四第十一軍團ノ諸
隊ヲ合スルモ僅カニ約二萬六千砲百四十門ヲ使用シ得ルニ過キス本日
Brosjanica ニ開ケル會議ニハ第十一軍團長シフコウスコエ歩兵第五師團

長騎兵第九師團長第九軍團砲兵部長及兩軍團參謀長等列席シ先前述ノ
情況ニ在リテ即時 Plevna ヲ攻撃スルハ果シテ機宜ニ適スル處置ナルヤ
或ハ殿下ノ裁決ヲ待チ然ル後之ヲ斷行スルヲ至當トスルヤニ付キ擬議
セリ

此ノ如キ兵力ノ不權衡ヲ以テシテハ Plevna ノ攻撃ニ際シ夥多ノ犠牲ヲ
免レサルコト及若シ不幸敗衄ニ終ランカ作戰一般ノ進捗ニ極メテ不利
ナル結果ヲ及ホス可キコトヲ考慮シ軍隊ノ志氣ハ頗ル旺盛ナルニモ拘
ラス豫メ適宜ノ命令ヲ仰クヲ可トスル旨決議セリ命令一度下ランカ小
官ハ直ニ Plevna ノ攻撃ヲ東方及東南方ヨリ決行セントス何トナレハ此
方面ハ戰略上ノ關係有利ナルニ加ヘ戰術上容易ニ近接シ得ルノ利アレ
ハナリ騎兵ノ大部ハ騎砲兵ト共ニ Riden 附近ニ於テ Vit 河ヲ渡過セシ
メ Sofia 及 Varna ニ向フ敵ノ連絡線ヲ遮斷セシメントス

二十六日歩兵第十九聯隊砲兵第三十一旅團第五中隊ハ Bigarene 附近ニ Nikopoli

ニルキア
Nikopoliノ
守備

ニ到著シ從來同地ニ在リシ諸隊ノ内歩兵第三十一師團司令部同師團歩兵
第一旅團歩兵一大隊及撒兵六中隊此部隊ハ既ニアレブナ
方面ニ向ヒ先發セリ欠及砲兵第三十一旅團
第三第四中隊ハ二十七二十八ノ兩日ニ Nikopoliヲ發シテ Brosljanicaニ赴
キ爾後 Nikopoliノ守備ハ歩兵第十九聯隊「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ
四中隊砲兵第三十一旅團第五中隊ノ任スル所ト爲リ翌二十九日ニハ羅馬
尼軍ノ一部モ亦同地ニ到達セリ

七月二十六
日增加部隊
ノ行動(附
圖第二十八
参照)

二十六日中將シアコウスコエノ部隊(騎兵師團ヲ除ク)ハ Bigarene 附近 Osmar
河兩岸ノ地區ニ前進シ又歩兵第三十師團第二旅團及砲兵第三十旅團ノ三
中隊ハ Ovea Mogliaニ到達シ二十七日第十一軍團司令部歩兵第三十二師團
第一旅團砲兵第三十二旅團(二中隊欠)歩兵第三十師團ノ第一旅團及砲兵第
三十旅團ノ三中隊ハ Bigarski-Karagacニ歩兵第三十師團第二旅團砲兵第三
十旅團ノ三中隊ハ Bigarene 附近ニ到リ騎兵第十一師團(第二旅團欠)ハ主力
ヲ以テ Pordimニ其前衛騎兵三中隊騎砲兵一中隊ヲ以テ Palinatニ到リ高

七月二十八
日 Lovcaニ
對スル少將
スコベレフ
部隊ノ偵察

加士哥薩克騎兵旅團ハ少將スコベレフノ指揮ニ屬シ既ニ受ケタル命令ニ
從ヒ同日早曉 Bigarski-Karagacヲ出發シ Lovcaニ向ヒ是日 Drenovニ到ル同
團ニハ此頃少將スコベレフノ請求ニ依リ「ド
ン」哥薩克騎砲兵第八中隊配屬セラレタリ
少將スコベレフハ Drenovニ著後土民ヨリ歩兵四五大隊ヨリ成ル土軍ノ
一支隊 Plevnaヨリ來リテ Lovcaヲ占領セリトノ情報ヲ得翌二十八日 Lovca
ニ向ヒ前進シ前衛タル哥薩克騎兵三中隊騎砲二門ヲ以テ Lovcaニ對シ威
力偵察ヲ行ヒ同地ニ砲十門乃至十五門ヲ有スル敵ノ歩兵三四千存在セル
コトヲ確認シ是夜 Palinatニ歸來セリ

是ヨリ先中佐バクラノフノ部隊ハ二十五日高加士騎兵旅團ト連絡セント
欲シ Lovcaヲ占領シ二十七日朝 Plevnaヨリ前進セル土軍一支隊ノ攻撃ヲ
受ケ少時抵抗ノ後 Lovca-Seviljevo 街道上ヲ Grn-Davilkjaneノ東北方ニ退キ
尋テ糧秣ヲ補充スル爲 Seviljevoニ退却ヲ續ケ同地ニ在リシ歩兵第三十
五聯隊 同聯隊ハ Plevnaノ敵兵 Lovcaニ前進ストノ情報ニ基ツキ軍司令部ノ
命令ニ依リ騎兵支援トシテ Seviljevo 附近ニ派遣セラレタルモノナリ
第十二章 七月二十一日ヨリ同三十一日ニ至ル作戦

隊ノ増援ヲ得テ二十八日朝再ヒ *Lovca* ニ向ヒ *Grn-Pavlikjane* 附近ニ到リ
Lovca ニ對シ陽動ヲ試ミタリ然レトモ是時既ニ高加士哥薩克騎兵旅團ハ
 退却中ニシテ之ト連絡スルヲ得ス再ヒ東南方ニ退却ス此ノ如ク兩部隊ハ
 時ヲ異ニシテ *Lovca* ニ向ヒシ爲何等ノ效果ヲ見ル能ハスシテ止ム而シテ
 同日夜中佐バクラノフハ *Grn-Pavlikjane* 附近ニ宿營シ布爾牙利人ヨリ高
 加士哥薩克騎兵旅團ハ是日 *Lovca* ニ前進シ二時間餘ニ互リ同地ノ敵ト砲
 戰セリトノ情報ヲ得テ爾後ノ行動ヲ協定スル爲斥候ヲ該隊ニ向ケテ派遣
 セリ

附記

オスマンパシアハ二十五日騎兵ヲ以テ *Lovca* ヲ偵察シタル後リ
 フアートパシアノ指揮スル步兵六大隊ヲ基幹トスル一支隊ヲシテ *Lovca*
 ヲ占領セシム此支隊ハ二十七日中佐バクラノフノ部隊ヲ驅逐シ
Lovca ヲ略取シ二十八日中佐バクラノフノ部隊及高加士哥薩克騎兵
 旅團ノ企圖ニ對シ同地ヲ守備シ露軍ノ退却後陣地ニ工事ヲ施シ益其

河左岸
ノ偵察

守備ヲ堅固ニセリ

西部兵團司令官中將クリュデネルハ *河左岸*ノ地形及敵情ヲ偵察セン
 ト欲シ二十七日命令ヲ下シ騎兵第九師團參謀長大佐マクシエフ、マシヨ
 ノフノ指揮下ニドン哥薩克騎兵第九聯隊(二中隊欠)及同騎砲兵第二中隊ノ
 二門ヲ派遣セリ蓋シ其目的ハ將來敵ノ背後ニ強大ナル騎兵ヲ活動セント
 スルニ在リキ

大佐マクシエフ、マシヨノフノ部隊ハ二十八日午後二時 *Riben* ニ達シ同
 地附近ヲ占領シ在リシ步兵三中隊 步兵第二十聯隊ヨリ出セルモノニシテ後步兵第百
 退セラレタリノ掩護ニ依リ *Vit* 河ヲ渡リ *Trostenik* ヲ經テ *Grn Mitropolija* ニ向ヒ同
 地ニ於テ乾草ヲ搭載セル車輛ヲ鹵獲シ *Di Dobnik* ニ前進シ敵ノ射撃ニ遇
 フテ二名ヲ亡ヒ夜半 *Riben* ニ歸來セリ此間布爾牙利人及捕虜ノ言ニ依リ
Plevna ニハ步兵約六大隊、正規騎兵一千、不正規騎兵十大隊、砲五六十門 塞
 砲ヲ 在リテ内歩兵約十大隊ハ二十六日ノ夜 *Lovca* ニ向ヒ又步兵約九大隊

ハ^ニヨリ前進中ニシテ二十九日 Plevna^ナニ到着スル豫定ナルコトヲ知レ

二十八日西部兵團司令官ハ二十六日軍司令官ニ呈セシ報告ノ回答トシテ次ノ訓令ヲ受領ス曰ク「予ハ Plevna^ナ攻撃ニ關スル貴官ノ計畫ニ同意ヲ表ス然レトモ歩兵攻撃ノ開始前敵陣地ニ最モ猛烈ナル砲火ヲ注クノ必要アルコトヲ勸告ス」ト^スリ^ノ如ク^中將^クリ^ユデ^ネル^カ其^騎兵^及砲^兵ノ^敵ニ^卓越^セル^ヲ爲^シ得^ル限^是ニ^於テ^西部^兵團^司令^官ハ Plevna^ナ攻撃ノ準備トシテ其兵力ヲ Plevna^ナ東方ノ地區ニ集結セント欲シ二十八日諸隊ハ左ノ如ク行動ス

七月二十八日
西部兵團
ノ行動(附
圖第二十九
参照)

一、騎兵第九師團ハ^{ブルガリア} Brosljanica^ナノ前方ニ在ル舊陣地ニ停止シ依然敵ト觸

接ス
Zikopoli^ニヨリ來レル歩兵第百二十二聯隊及砲兵第三十一旅團ノ第四
中隊ヲ附ス

二、歩兵第三十一師團ノ第百二十一第百二十三聯隊各二中隊欠及砲兵第

三十一旅團第四第五中隊欠)ハ^{ブルガリア} Brosljanica^ナヨリ^{コイボノチ} Kojilovei^ニ到ル^{歩兵第百}

百二十三聯隊ノ各二中隊ハ^{ニコポリ} Nikopoli^ニ到ル

ノ捕虜ヲ^{シタフ} Sitarov^ニ護送ノ任ニ膺レリ

三、歩兵第五師團ノ第十七第十八第二十聯隊及砲兵第五旅團(第三中隊欠)並ニ工兵一中隊ハ^{ブルガリア} Brosljanica^ナヨリ^{ツルスキ} Trostenik^ニ到ル

四、歩兵第三十二師團第一旅團(第百二十五聯隊ノ二中隊欠)及同第三十師團第一旅團ハ砲兵第三十二旅團(二中隊欠)同第三十旅團ノ三中隊ト共^{ブルガリア} Bigarski Karagac^ニ到ル

五、歩兵第三十師團第二旅團及砲兵第三十旅團ノ三中隊ハ^{ブルガリア} Bigarski Karagac^ニ到ル

六、騎兵第十一師團第一旅團騎砲兵第十八中隊ヲ附屬スハ^{ブルガリア} Zgaljuvec^ト

七、歩兵第十九聯隊「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ四中隊及砲兵第三十一旅團第五中隊ハ依然^{ニコポリ} Nikopoli^ノ守備ニ任シ其騎兵ヲ以テ^{ヴィト} Vit^河ノ

下流ヲ警戒ス

八、歩兵第二百二十五聯隊ノ二中隊ハ *Sislov-Plevna* 大街道上 *Osma* 河ノ橋梁附近ニ在リテ輜重ノ掩護ニ任ス

九、*Sislov* 附近橋梁守備隊ノ内歩兵第二百二十四聯隊(第三大隊 撤兵第三欠)ハ

二十八日 *Sislov* ヲ出發ス 此部隊ハ二十九日 *Bigarane* ニ到着ス

二十八、二十九ノ兩日ニ互リ西部兵團各部隊長及參謀將校ハ *Plevna* 附近敵陣地ノ偵察ニ從事シ殊ニ少將スコベレフハ中將クリエデネルヨリ *Lovca* 本街道南方ノ地區ヨリ *Plevna* ノ敵陣地ヲ偵察スヘキ訓令ヲ受領シ二十九日 *Plevna-Lovca* 街道方面ヨリ偵察ヲ施行セリ即チ高加士哥薩克騎兵旅團ハ *Bohot* ニ前進シ同地ニ旅團ノ主力ヲ殘置シ少將スコベレフ自ラ騎兵四中隊、騎山砲二門ヲ率キ綠山第一嶺 *Plevna* 南 方高地 ニ前進セシカ敵ノ騎兵ニ逢フテ爾後ノ前進ヲ許サス同高地ニ於テ *Tucenica* 川ノ左岸地區ニハ防禦工事ノ全ク無キコトヲ確認シ *Bohot* ニ歸來セリ

七月二十九日
西部兵團
ノ位置

是夜少將スコベレフハ中將クリエデネルニ *Plevna-Lovca* 街道ノ西方ヨリ敵ヲ攻撃スルニハ高加士哥薩克騎兵旅團ノ外歩兵二三大隊及少クモ砲兵一中隊ヲ増加スルヲ要ストノ意見ヲ具申セリ同二十九日騎兵第九師團ノ主力ハ *Brosljanica* 附近ニ集合シ又一時騎兵第九師團長ノ令下ニ在リシ歩兵第二百二十二聯隊、砲兵第三十一旅團第四中隊モ亦 *Kojilovei* ニ到リ所屬師團ニ復歸シ兵團ノ爾餘ノ諸隊ハ概ネ二十八日ノ位置ニ駐止シ攻撃ノ準備ヲ爲ス即チ同夜ニ於ケル西部兵團諸隊ノ位置左ノ如シ

槍騎兵第九聯隊

[下] 哥薩克騎兵第九聯隊

[下] 哥薩克騎砲兵第二中隊

計騎兵十中隊、砲六門

Kojilovei 附近

步兵第三十一師團ノ第二百二十一、第二百二十二及第二百二十三聯隊(第百二十一、第百二十三聯隊ノ各二中隊欠)
砲兵第三十一旅團第五中隊欠

計步兵九大隊、四中隊欠、砲四十門

ツルスキトレステニク
Turski Trestenik 附近

第九軍團司令部

步兵第五師團ノ第十七、第十八及第二十聯隊

砲兵第五旅團(第三中隊欠)

工兵第五大隊ノ一中隊

計步兵九大隊、砲四十門、工兵一中隊

ブルガルスキカラガチ
Bigarski Karagac 附近

步兵第三十師團第二旅團(第百十九、第百二十聯隊)

砲兵第三十旅團第二、第四、第六中隊

ポルディム
Pordim 附近
計步兵六大隊、砲二十四門

第十一軍團司令部

步兵第三十師團第一旅團(第百十七、第百十八聯隊)

步兵第三十二師團第一旅團(第百二十五、第百二十六聯隊、第百二十五聯隊ハ所屬隊ニ合セリ)

砲兵第三十旅團第一、第三、第五中隊

砲兵第三十二旅團(第二、第五中隊欠)

計步兵十二大隊、砲五十六門

シガジュベグ
Zgaljuveg 附近

騎兵第十一師團第一旅團(龍騎兵第十一聯隊、槍騎兵第十一聯隊)

騎砲兵第十八中隊

計騎兵八中隊、砲六門

ボホト
Bohot 附近

高加士哥薩克騎兵旅團ウラジミル高加士哥薩克騎兵聯隊、クバン哥薩克騎兵聯隊及騎山砲兵中隊
「ドン」哥薩克騎砲兵第八中隊

計騎兵十二中隊、砲十二門

「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊ハ其一中隊ヲ第九軍團司令部及步兵第五師團司令部ニ分屬シ同聯隊ノ四中隊ハ Nikopoli ニ主力ヲ置キテ Vit 河下流ノ監視ニ任シ步兵第二百二十四聯隊ノ第三大隊撤兵第三「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ一中隊砲兵第五旅團ノ第三中隊ハ Zilov ニ、步兵第三百二十四聯隊四中隊欠ハ Bigarene ニ到著シ步兵第十九聯隊、砲兵第三十一旅團ノ第五中隊ハ Nikopoli ニ在リ又步兵第二百二十一聯隊及第三百二十三聯隊ノ各二中隊ハ依然 Nikopoli ノ捕虜ヲ Zistov ニ護送スルノ任ニ膺レリ

之ヲ要スルニ二十九日西部兵團ハ Plevna ノ東北ヨリ東南ニ互ル約二十五吉米ノ正面ヲ以テ概シテ敵前七乃至十五吉米迄近接セリ

Плевна 附近地形ノ概要(地形圖第一参照)

其二 Плевна 第二會戰

兩軍ノ部署

Плевna ハ四周高地ヲ以テ圍繞セラレ Grivica 川ト Iucenica 川トノ谷地内ニ横タハレリ兩川ハ Plevna ノ西北方ニ流レ相合シテ Vit 河ニ注ク Vit 河ノ右岸ハ概シテ斷崖ニシテ Plevna 附近高地ノ西方限界ヲ形成ス Iucenica 川ハ Plevna ノ戰場ヲ東西ニ兩分シ其西部地區ハ東部地區ヨリ小ニシテ Kossin 地區ト稱ス東部地區ハ Grivica 川及 Bukovlog 川ニテ更ニ三部ニ分レ北方ノモノヲ Opancec 地區、中間ノモノヲ Grivica 地區、南方ノモノヲ Radisevo 地區ト稱ス Opancec 高地ハ一獨立地區ヲ成スモ Plevna ノ守兵北方ニ對シ Vit 河ノ渡過點ヲ掩護スル爲ニハ之ヲ堅固ニ占領スルノ必要アリ
Janik Bajir 高地ハ第一會戰ニ於テ露軍ノ失敗セシ戰場ニシテ Bukovlog 川同高地北端ノ南方ハ Grivica 川ヲ以テ界シ東ハ Grivica ノ北側ニ於テ幅約二百米突ノ鞍部ヲ以テ南北ニ綿互セル一高地ニ接續シ高地ノ全正面約七吉米

以上ニ互レリ而シテ中部 Janik Bajir ハ Plevna 東方ノ高地ヨリ稍高シ此地
區ノ北正面ハ北方ニ在ル一帯ノ高地ヨリ瞰制セララルノ不利アルモ甚々
堅固ナル陣地ナリ

Radisevo 地區ノ東部 Grivica 川ノ左岸ニ沿フ高地ハ Radisevo 東方標高一三
六附近ニ於テ Plevna ノ東南面ヲ包圍セル高地團ヨリ分離ス此山背ハ最初
可ナリノ傾斜ヲ以テ降り次テ標高一三六ノ西北方約二吉米半ニ於テ一高
地ヲ成形シ其高地脈ハ西北方ニ延互シ Plevna ノ東端ニ於テ盡キ南方ニ對
シテ良好ナル防禦線ヲ劃セリ同高地脈ヨリ直角ニ北方 Grivica 川ニ向ヘル
三個ノ短山背アリテ東力ニ對シ防禦線ヲ成ス其最西部ノ山背ヲ Bara-Bajir
ト稱シ Plevna ノ東方ニ對スル最後ノ防禦線ヲ成セリ Radisevo 地區ニ於テ
ハ Radisevo ノ東南方附近最モ高ク同高地ハ標高一三六附近ヨリ同地ノ東
方ヲ繞回シテ西方ニ延長シ緩徐ナル斜面ヲ以テ西北方ニ降り Suliki 川ノ
左岸ニ於テ少シク突起シ遂ニ Plevna ノ東南端ニ終ル Radisevo 北方高地脈

近土軍防禦
陣地(附圖
照)第三十參

ハ Suliki 川左岸突起部ヨリ高キコト約六十米突トス
Kosin 地區ニ於テハ Zelenobreski 川 Plevna 南端ニ於テ
テ防禦線ヲ成形スレトモ其右翼ハ西南方ニ延長シテ際涯無シ

前記各地區ヲ横斷セル Grivica 川 Bukovlog 川及 Iucenica 川ハ河幅共ニ狭キモ
其谷地ハ斷崖ヲ成シ Iucenica 川ノ谷地ハ殊ニ甚タシク Bukovlog 川ノ谷地
之ニ次キ嶮阻ニシテ共ニ南又ハ北ニ對シ土軍ノ防禦ヲ容易ニセリ

附記 土軍ハ Opancec 高地ニ二個ノ獨立堡壘ヲ設ケ Vit 河渡過點掩護ニ
供シ Janik Bajir 高地ニ第三乃至第八號堡壘ヲ設ケ第三號堡壘ハ Bukov-
log 川ノ谷地ヲ制スル爲ニ前進堡ヲ成形シ第七第八號堡壘ハ東方ニ對
シ其他ハ凡テ北方ニ對セリ第七第八號堡壘ノ前方鞍部ノ前方ニハ更
ニ二線ノ前進陣地アリ

Plevna 東側高地 (Bara-Bajir 高地)上ニハ第九乃至第十二號堡壘アリ第十
一號堡壘前ニ突出シテ更ニ第十四號堡壘アリ斯クテ第八號ト第十四

號兩堡壘間ノ *Orivica* 川谷地ハ全ク開放セリ

Radi'ev'o 地區ノ *Suluki* 川左岸ノ高地突起部ニハ土軍ノ前進陣地アリ

Kö'n 地區ニハ *Zelenobrevski* 川ノ斷崖ヲ前ニシ *Plevna* 西南側ノ第十

八號堡壘ニ始マリ西方ニ延長セル陣地アリ此方面ハ *Bozha* ニ通スル

退路ニ近クシテ土軍ノ爲ニ緊要ナル地點ナルモ既ニ述ヘタル如ク其

右翼ハ限界無カリキ

之ヲ要スルニ土軍ノ陣地ハ北及南正面ハ主トシテ天險ニ據リ東正面

ハ人工的ニ依リ堅固ニセラレタルモノト謂フヲ得ヘシ而シテ *Orivica*

地區ノ南端ト *Radi'ev'o* 地區ノ第十四號角面堡トノ中間約二千米突間

ハ何等ノ工事ヲ施サス單ニ *Orivica* 西側地區ヨリノ射撃ヲ以テ攻者ノ

進入ヲ防カントシ殊ニ *Bara Baja* 高地上ノ堡壘ハ之ニ對スル最終ノ任

務ヲ負擔セリ

土軍陣地ノ前方ニハ攻者ノ爲大軍ヲ動かスニ適當ナル道路多カラス

又土軍ノ陣地ヲ輪環狀ニ圍繞セル高地ハ敵陣地ト相距ル最モ近キ個
處ニ於テ二千米突ヲ間シ多クハ二千六百米突若シクハ其以上ニシテ
露軍ノ四斤砲ノ有效距離ヨリ遠ク九斤砲ニ於テモ尙十分ニ威力ヲ發
揚スルヲ得サル距離ニ在リ故ニ露軍ハ *Orivica* 地區ニ於テハ同村北方
ノ狹小ナル鞍部又 *Radi'ev'o* 地區ニ於テハ *Suluki* 川左岸ノ高地ニ在ル
土軍ノ前進陣地ヲ占領スルニ非サレハ良好ナル砲兵陣地ヲ得ル能ハ
サル情況ニ在リタリ

七月三十日オスマンパシアノ指揮下ニ *Plevna* ヲ防禦セル軍隊ハ歩兵
三十三大隊、砲五十八門、正規騎兵七中隊、不正規騎兵四百、其他乘馬又ハ
徒歩ノ民兵數百ニシテ總數二萬二千人ヲ算セリオスマンパシアハ軍
ヲ二師團ト總豫備隊ニ區分セリ即チ兩師團ハ各歩兵十二大隊、騎兵二
中隊、砲兵二中隊(十二門)ニシテ總豫備隊ハ殘餘ノ歩兵九大隊、騎兵三中
隊、砲三十四門ナリ而シテアゼルバシアノ指揮スル一師團ハ *Orivica* 川

北方地區ヲ守備シ他ノ一師團ハハッサン、サブグリ、パシアノ令下ニ屬シ同川ノ南方地區ヲ固守シ豫備隊ハオスマンパシアノ直轄ト爲リPlevnaノ東側ニ位置セリ此ノ如クシテ三十一日ノ戰鬪開始前ニ於ケル土軍ノ配備左ノ如シ

北正面(地區司令官アヂルパシア)

Opance 高地 第一第二堡

歩兵二大隊、砲四門

Janik Bajir 山頂 第三乃至第六號堡

歩兵四大隊、砲十二門

Grivica 堡 第七第八號堡

歩兵二大隊、砲四門

豫備隊

歩兵四大隊、騎兵二中隊、砲四門

計

歩兵十二大隊、騎兵一中隊、砲二十四門

南正面(地區司令官ハッサン、サブグリ、パシア)

第十四號堡指揮官イブラヒムバイ

歩兵二大隊、砲四門

第十一第九及第十號堡指揮官アトフパシア

歩兵三大隊、砲三門

第十二號堡指揮官ハッサン、サブグリ、パシア

地區司令官自ら指揮ス

歩兵三大隊、砲三門

前進陣地(指揮官タヒルパシア)

歩兵三大隊、砲四門 (總豫備隊ヨリ出セリ)

第十八號堡指揮官ユヌスバイ

歩兵四大隊、騎兵一中隊、砲六門

計歩兵十五大隊、騎兵一中隊、砲二十門

豫備隊

歩兵六大隊、騎兵四中隊、砲十四門

總計歩兵三十三大隊、騎兵七中隊、砲五十八門

二十九日西部兵團司令官中將クリュデネルハ三十日ニPlevnaヲ攻撃セントセシモ土軍ノ兵力ヲ五六萬人ト推定セシヲ以テ此ノ如キ優勢ナル敵ヲ堅固ナル陣地ニ攻撃スルノ可否ヲ遲疑シテ決セス再ヒ其情況ヲ軍司令官ニ報告シ更ニ之カ裁決ヲ仰ケリ然ルニ同夜中將クリュデネルハ來著セル軍司令部ノ傳令將校ヨリ攻撃ヲ斷行スヘキ口達命令ト左ノ要旨ノ訓令トヲ受領セリ

Plevnaニ對スル企圖ハ爲シ得ル限り迅速ニ終局セシムルノ必要アリ敵

我右側ニ在ルハ凡テ我軍ノ部署ヲ窘蹙セシム敵カ又 Plevna ヨリ Lovca Sevlijevo ニ多大ノ兵力ヲ送ルコトハ敢テ不可能ナラス敵若シ此動作ニ出ツルトキハ山間ニ在ル諸隊ハ之カ爲最モ困難ナル情況ニ陥ルニ至ラ

七月三十日
西部兵團ノ
Plevna 攻
擊命令(一)
覽圖第二參
照

是ニ於テ兵團司令官ハ翌三十日遂ニ Plevna 攻撃ノ爲左ノ命令ヲ下セリ
附錄
第二 Plevna 第二會戰露軍西部
兵團參加 兵力表參照

明三十日 Plevna ヲ占領ノ爲予ノ指揮下ニ在ル軍隊ハ左ノ方法ニ依リ前進ヲ始ムヘシ

一、中將ウエルヤミノフノ指揮スル右翼部隊

(一) 歩兵第三十一師團歩兵第二百二十四聯隊及砲兵第三十一旅團ノ第五中隊ヲ缺キ混成工兵隊ヲ附スハ少將ブエロコピトフノ指揮ニ屬シ午前五時 Kojilovci ヲ發シ Bigarene-Grivica 街道ノ北側 Plevna ニ通スル道路ヲ前進シ約七ウエルスト(約七吉米)ヲ前進シ Grivica

ヲ望見シ得ル高地ニ達セサル以前ニ歩兵ハ戰鬪隊形ニ移リ砲兵ヲ第一線ニ進マシメ有效射距離ニ達セハ砲撃ヲ開始スヘシ但シ爾後ノ前進ハ命令ヲ待チテ施行スルヲ要ス

(二) 歩兵第五師團歩兵第十九聯隊及砲兵第五旅團ノ第三中隊欠ハ師團長中將シルデル、シユルデネルノ指揮ニ屬シ午前五時半 Turski-Trostenik ヨリ Plevna ニ通スル道路ヲ前進シ豫備隊トシテ歩兵第三十一師團ノ後方 Bigarene-Plevna 街道ノ北側高地ニ位置スヘシ
(三) 龍騎兵第十一聯隊ノ二中隊 第三第四中隊 及歩兵第五師團ニ屬セル「ドン」哥薩克騎兵第三十四聯隊ノ一中隊ハ歩兵第三十一師團ノ戰鬪準備ト同時ニ同師團ノ右側ニ到リ警戒ノ爲斥候ヲ Plevna 及西方 Vit 河ノ方向ニ派遣スヘシ

一、中將シアコウスコエノ指揮スル左翼部隊

(四) 歩兵第三十師團ノ第一旅團、歩兵第三十二師團ノ第一旅團、砲兵第